

## 第2回新市将来構想策定小委員会次第

日時:平成15年4月8日(火)

午後6時30分から8時30分まで

場所:長岡市役所大会議室

### 1 開会

### 2 報告

小委員会委員の変更について

### 3 協議事項

- (1) 地域の現況調査結果について
- (2) 住民アンケート調査(事前調査)の結果について
- (3) 地域アンケート(本調査)について
- (4) 有識者ヒアリングについて
- (5) まちづくりワークショップについて
- (6) 新市将来構想策定小委員会平成15年度事業計画について

### 4 その他

- (1) 次回小委員会日程について

### 5 閉会

## 新市将来構想策定小委員会委員名簿

平成15年4月1日現在

	区分	役職名	氏名	備考
長岡市	行政	長岡市助役	二澤和夫	
	住民代表	企業教育ファシリテーター・産業カウンセラー	朝日由香	
見附市	行政	見附市助役	山本俊一	
	住民代表	見附青年会議所直前理事長	村上雅紀	
栃尾市	行政	栃尾市総務課長	山谷一郎	4月1日就任
	住民代表	栃尾市観光協会理事	北村公	
中之島町	行政	中之島町助役	佐々木保男	
	住民代表	中之島町土地改良区理事長	池田守明	
越路町	行政	越路町助役	熊倉幸男	
	議会	越路町議会地方分権推進等調査特別委員会委員長	石黒貞夫	
三島町	行政	三島町助役	米持昭次	
	住民代表	三島町まちづくりビジョン策定委員会副会長	小池進	
山古志村	行政	山古志村助役	坂牧宇一郎	
	住民代表	山古志村夢づくり村民会議代表	高野徳義	
小国町	行政	小国町助役	長谷川孝	
	議会	小国町議会地方分権に関する特別委員会委員長	野田幹男	
	学識経験者	長岡造形大学理事長・学長	豊口協	

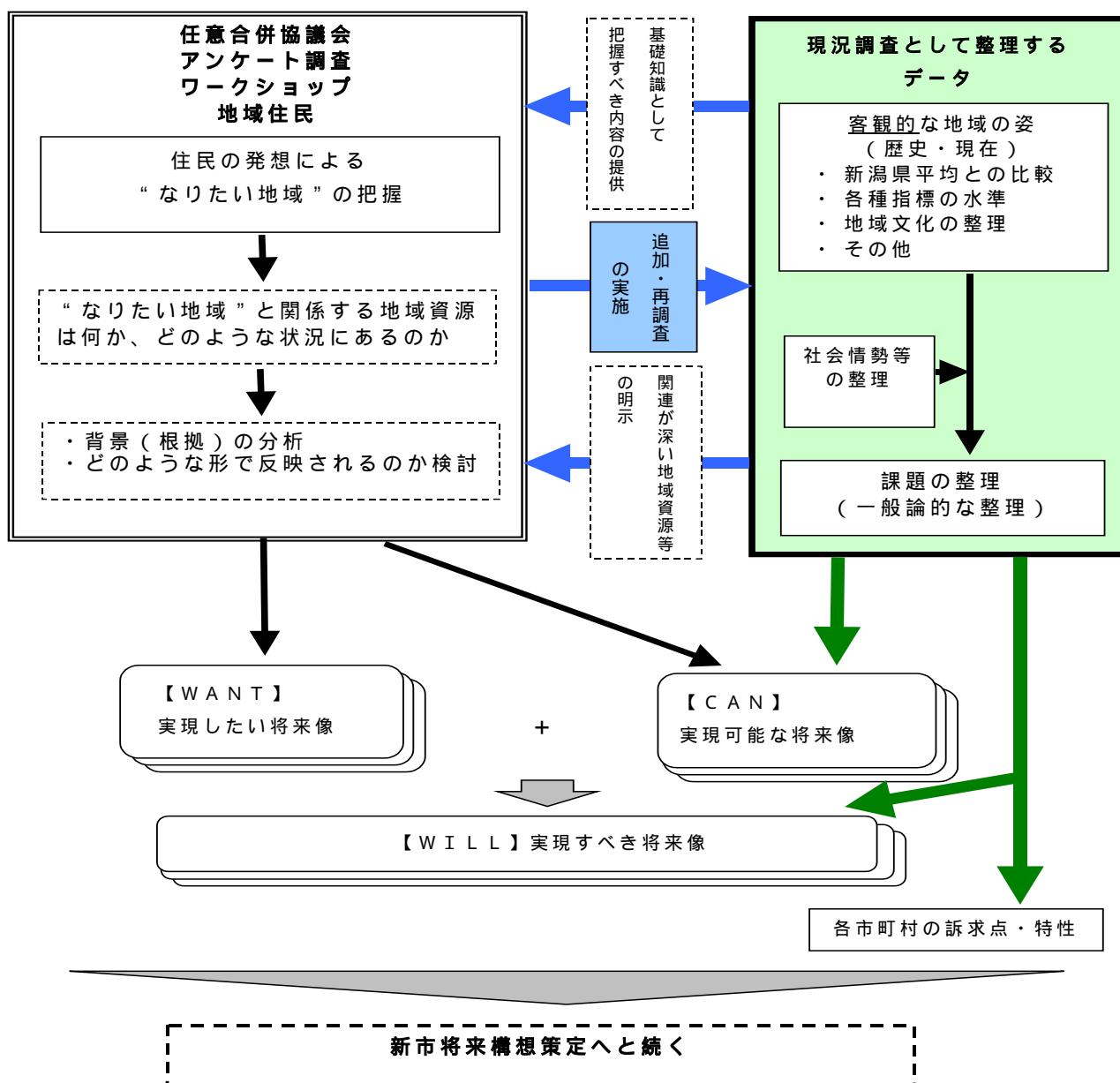
## 現況調査について（概要）

## .調査の目的と活用のイメージ

（目的）

- 現状認識の共有化
- 各自治体（地区）の特徴、課題を把握
- 合併後（地域）の姿に関する認識の共有化

（活用のイメージ）



## 調査項目の分類と今回提示するデータ

- ・ 今回提示するデータは、現況調査の結果のうち、地域の特性に関するものと地域資源として主なものを抽出しました。

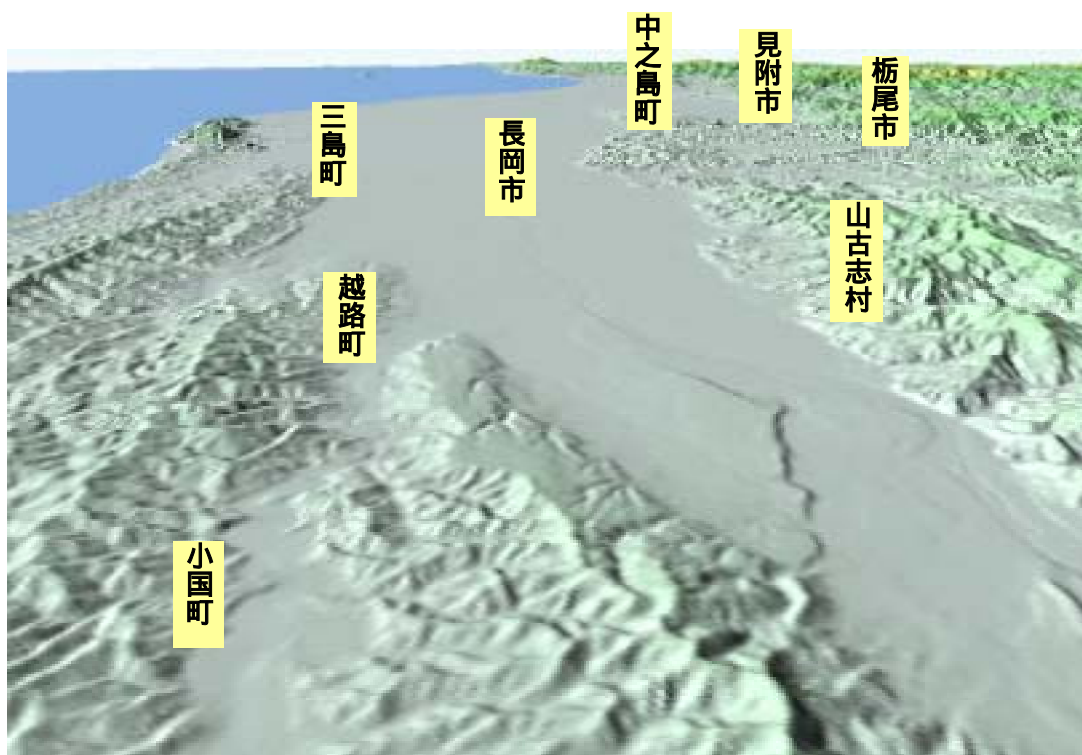
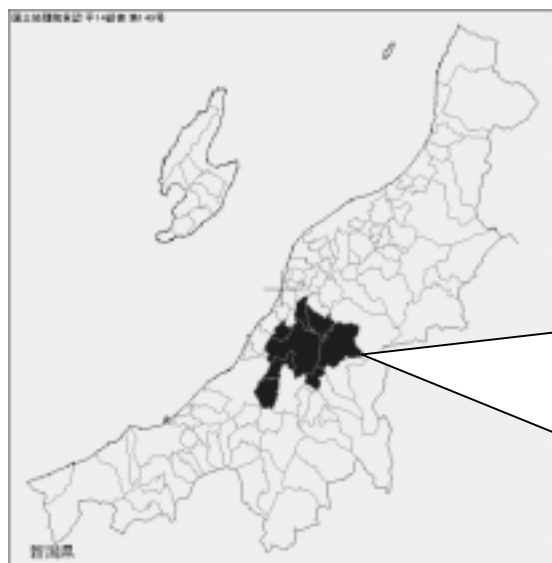
調査項目（案） （第1回小委員会資料）		今回提示する項目 （地域資源的な内容）	
大分類	小分類		頁
1. 自然・社会環境	・ 位置及び範囲	・ 位置及び範囲	3
	・ 気象	・ 面積	5
	・ 歴史・文化	・ 市町村の成り立ち	6
	・ 人口構造	・ 人口と世帯数	7
	・ 土地利用	・ 人口増減と少子高齢化	8
	・ 社会基盤施設	・ 人口の見通し	10
		・ 道路状況	12
2. 住む	・ 居住環境・公共公益施設	・ 医療施設	14
		・ 歳入・歳出構造	15
	・ 医療・福祉		
	・ 交通		
	・ 行政サービス		
3. 働く	・ 産業別概況	・ 産業別概況	17
	・ 農林水産業	・ 農林水産業	19
	・ 製造業	・ 製造業	20
	・ 商業	・ 商業	21
	・ 観光	・ 観光	22
4. 学ぶ	・ 教育	・ 教育文化施設	24
	・ 文化施設		
	・ 社会活動		
5. 交流する		・ 8市町村間移動	25

## 調査結果概要

### 1. 自然・社会環境

#### (1) 位置及び範囲

- ・ 長岡地域 8 市町村は、新潟県の中央部に位置しており、信濃川がつくる越後平野の始まりに位置しています。



小国町上空 5000m から長岡市方面を見たイメージ

- ・ 8市町村のほぼ中央に位置する長岡市の市役所とその他市町村の役所は、約30～40分の位置関係にあります。

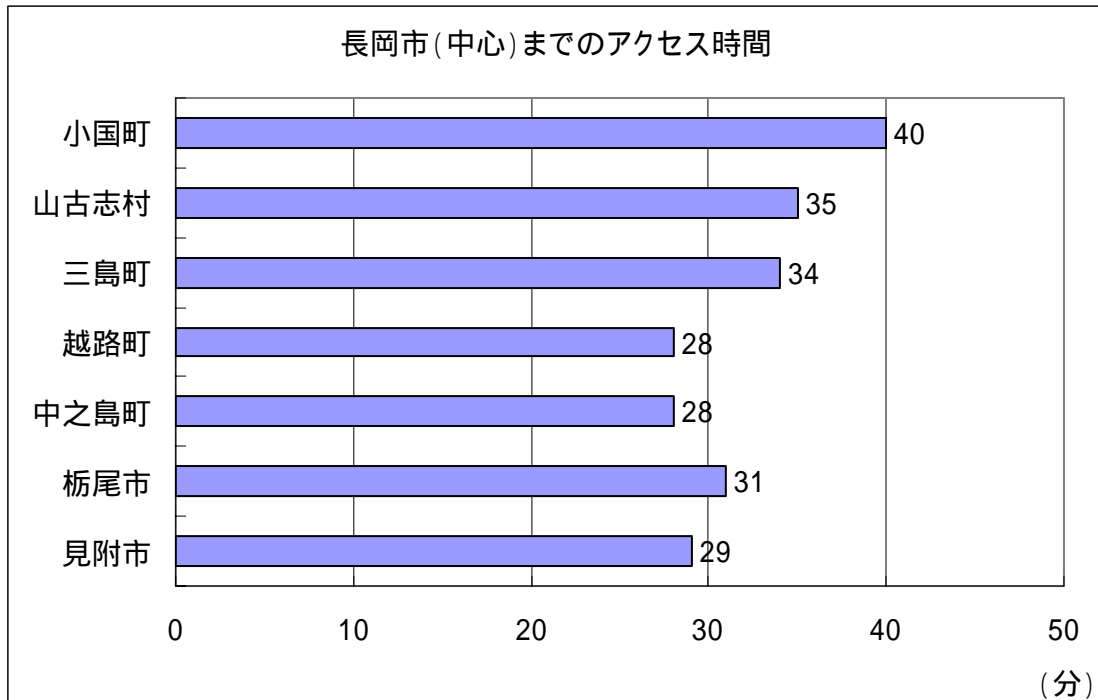


表 長岡市までのアクセス

市町村名	区間延長 (km)	旅行速度 (km/h)	所要時間 (分)	アクセスルート(路線名)
見附市 長岡市	16.0	33.1	29	・七軒町見附線～・長岡見附線～・8号～・404号～・352号～・長岡中之島見附線
栃尾市 長岡市	18.3	35.4	31	・351号～・17号～・404号～・352号～・長岡中之島見附線
中之島町 長岡市	16.1	34.5	28	・見附中之島線～・長岡中之島見附線～・8号～・404号～・352号～・長岡中之島見附線
越路町 長岡市	8.4	18.0	28	・柏崎高浜堀ノ内線～・山田中潟線
三島町 長岡市	10.3	18.2	34	・352号～・長岡和島線～・351号～・山田中潟線
山古志村 長岡市	17.9	30.7	35	・栃尾山古志線～・柏崎高浜堀之内線～・中之島見附線
小国町 長岡市	23.6	35.4	40	・404号～・351号～・山田中潟線

1. 区間延長は長岡市役所から各市町村役所まで。1:50,000地形図からのスケールアップである。
2. 旅行速度は、平成11年度道路交通センサスにおける平日混雑時平均旅行速度を用いた。
3. アクセスルートは最短のものを示した。

## (2) 面積

- ・ 8市町村の総面積は808.77km<sup>2</sup>です。
- ・ 8市町村の可住地面積は、平均で55%程度であり、地域のおよそ半分が豊かな自然となっています。
- ・ 参考までに、現在(H15.4.1時点)日本で一番大きい都市は静岡市(約1,374km<sup>2</sup>)ですが、第6位の仙台市(783.54km<sup>2</sup>)や7位の夕張市(763.36km<sup>2</sup>)より大きな市域となります。(なお、現在全国で検討されている合併によって、この順位は大きく変わることが予想されます。)

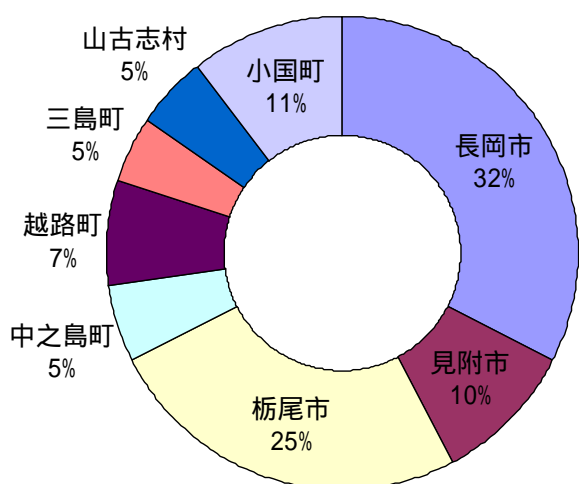
	行政面積 (km <sup>2</sup> )	可住地面積 (km <sup>2</sup> )	可住地面積 割合
	2001	2000	
長岡市	262.45	174.89	66.64%
見附市	77.96	50.03	64.17%
栃尾市	204.92	61.68	30.10%
中之島町	42.55	42.55	100.00%
越路町	58.44	33.72	57.70%
三島町	36.47	29.41	80.64%
山古志村	39.83	15.63	39.24%
小国町	86.15	29.41	34.14%
8市町村計	808.77	437.32	54.07%
新潟県	12,582.31	4,481.28	35.62%
全国	377,863.66	125,162.33	33.12%

		行政面積 (km <sup>2</sup> )
		1999
静岡市	静岡県	1,373.84
いわき市	福島県	1,231.13
札幌市	北海道	1,121.12
芦別市	北海道	865.07
紋別市	北海道	830.36
合併後		808.77
仙台市	宮城県	783.54
夕張市	北海道	763.36
稚内市	北海道	760.80
郡山市	福島県	757.06
旭川市	北海道	747.60

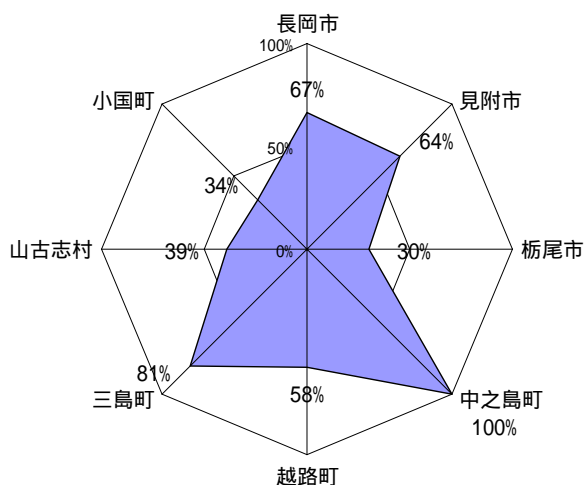
出典:地域経済総覧2002を参考に作成

1. 行政面積は、新潟県統計年鑑1997～2001
2. 可住地面積は、統計でみる市区町村のすがた(2002改訂版)
3. 可住地面積は、行政面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出。

8市町村の行政面積割合



8市町村の可住地面積比較



(3) 市町村の成り立ち

- ・ 8市町村を含むこの地方は、古くは上杉家の領地であったり、天領や長岡藩領、桑名藩領、上之山藩領、その他藩領となるなど、幾多の変遷を経て、明治4(1871)年の廃藩置県後も柏崎県を経て新潟県となりました。
- ・ 明治・昭和の大合併においても、中之島町をのぞく市町村は多くの合併を繰り返しており、明治以降現在に至るまでに、多くの合併・編入などを経験してきました。

表 合併・編入前の自治体数の概略

	明治34年以前の 構成自治体の数	昭和29年以前の 構成自治体の数	現在の姿になった時期
長岡市	36町村	17市町村	昭和35年9月
見附市	13町村	5町村	昭和31年9月
栃尾市	15町村	9町村	昭和31年9月
中之島町	8村	1村	明治34年11月 (昭和61年10月町制施行)
越路町	8村	4村	昭和32年7月
小国町	10村	4村	昭和32年7月
山古志村	5村	4村	昭和31年10月
三島町	6村	3村	昭和31年9月

- ・ 下表は、明治以降に同じ村から別々の市町に分離したケースです。8市町村が合併した場合、これらの地区はまた同じ市となります。

表 明治以降の同じ町村等からの分離・編入状況

時期	関係した市町村(現在の 行政区分)		分離・編入
S29.3	見附市	栃尾市	上北谷村のうち、 小貫・土ヶ谷は栃尾市に、その他は見附市に
S31.3	長岡市	山古志村	山古志村の蓬平・濁沢が長岡市に
S31.9	長岡市	三島町	日吉村のうち、 雲出が関原町を経て長岡市に、その他は三島町に
S31.11	長岡市	見附市	長岡市の一部(下新町・漆山)が見附市に
S32.7	越路町	小国町	千谷沢村のうち、 通称菅沼・小坂・袴沢が越路町に、 通称原小屋・千谷沢・鷺之島が小国町



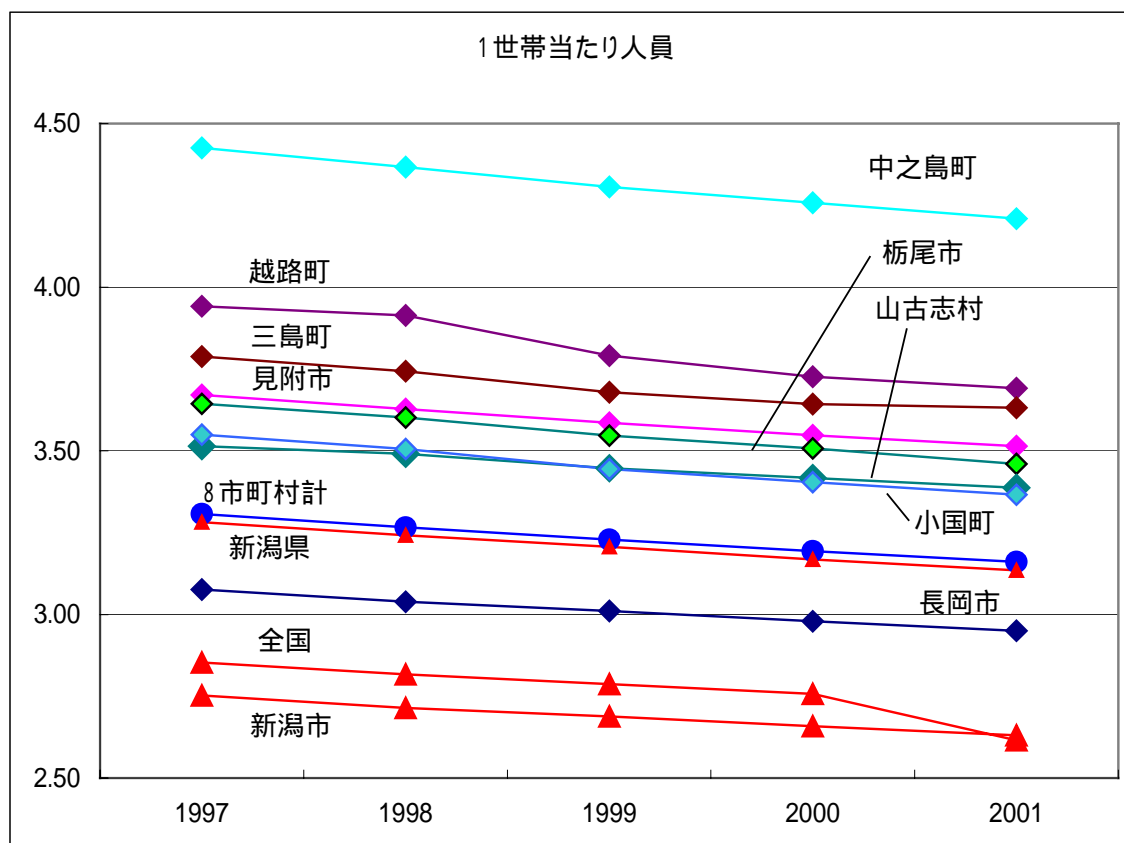
(4) 人口と世帯数

- ・ 8市町村合計の人口は、305,039人で30万人を超えることから、合併した場合には、中核市としての指定を受けることが可能になります。
- ・ 世帯当たりの人口は、いずれの自治体も全国平均より多くなっていますが、核家族化の進行が読みとれます。

表 人口と世帯数の変化

	1997		1998		1999		2000		2001	
	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
長岡市	188,792	61,369	189,561	62,390	190,183	63,162	190,053	63,799	190,417	64,545
見附市	44,581	12,147	44,544	12,280	44,497	12,408	44,455	12,531	44,422	12,643
栃尾市	26,649	7,314	26,373	7,323	26,003	7,332	25,684	7,322	25,340	7,324
中之島町	13,130	2,967	13,070	2,993	13,130	3,049	13,114	3,080	13,031	3,096
越路町	14,687	3,726	14,680	3,751	14,637	3,861	14,573	3,911	14,508	3,931
三島町	7,194	1,899	7,299	1,950	7,288	1,981	7,460	2,048	7,498	2,065
山古志村	2,558	728	2,496	715	2,447	710	2,402	703	2,371	700
小国町	7,909	2,228	7,776	2,218	7,671	2,227	7,534	2,213	7,452	2,214
8市町村計	305,500	92,378	305,799	93,620	305,856	94,730	305,275	95,607	305,039	96,518
新潟県	2,491,315	759,091	2,490,637	768,342	2,487,980	776,011	2,482,386	783,615	2,476,900	790,262
新潟市	508,337	178,187	510,025	181,070	511,553	183,525	512,527	185,864	513,217	196,214
全国	125,257,061	45,498,173	125,268,035	46,156,796	125,860,006	46,811,712	126,071,305	47,419,905	126,284,805	48,015,251

1. 人口は、民力(住民基本台帳)  
2. 世帯数は、新潟県統計年鑑1997～2001(住民基本台帳)

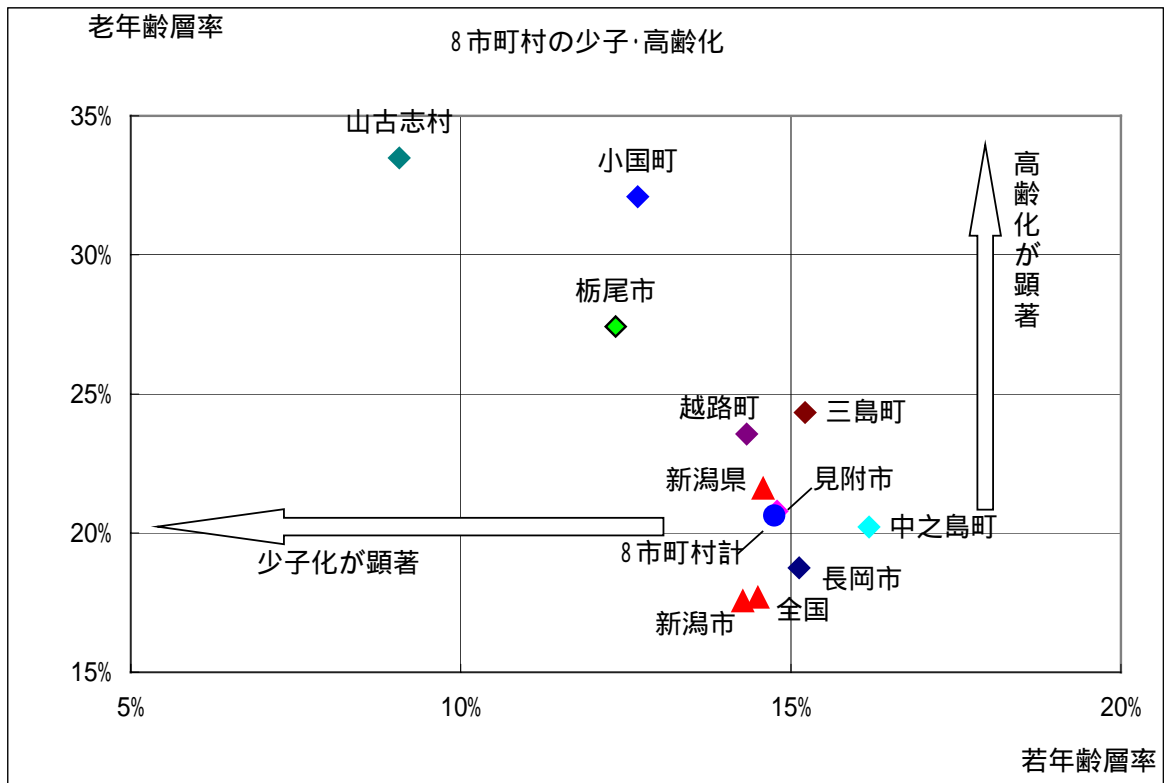


( 5 ) 人口増減と少子・高齢化

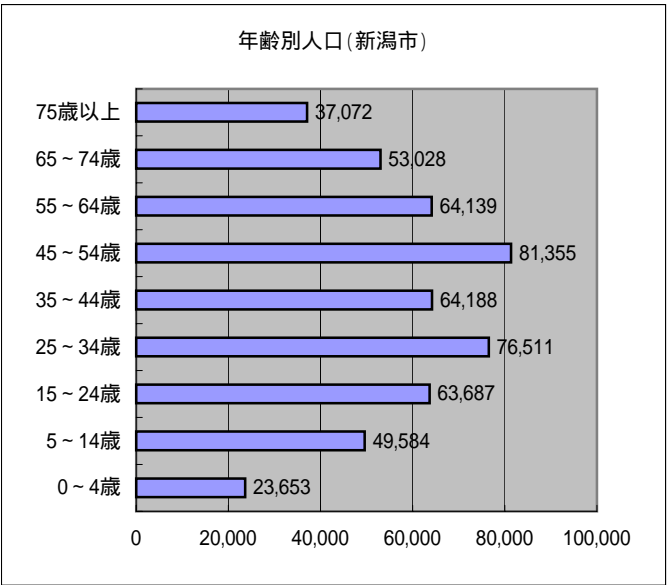
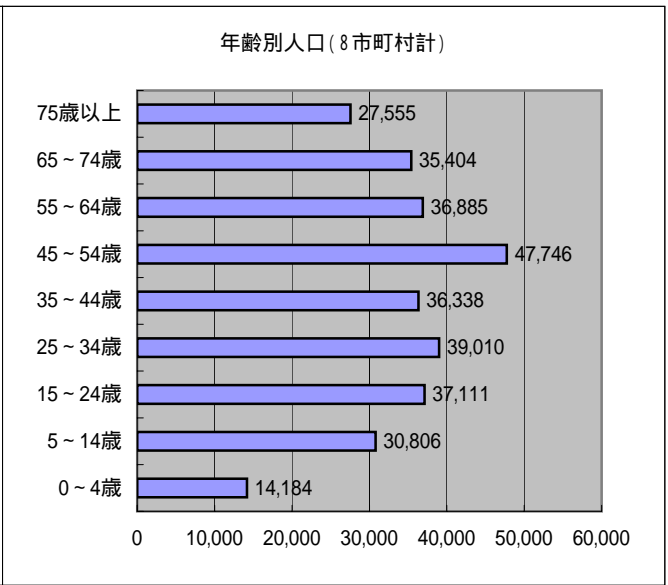
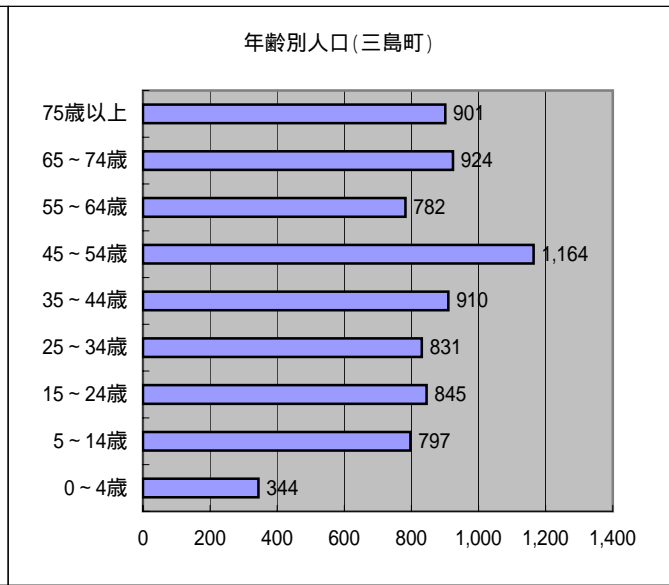
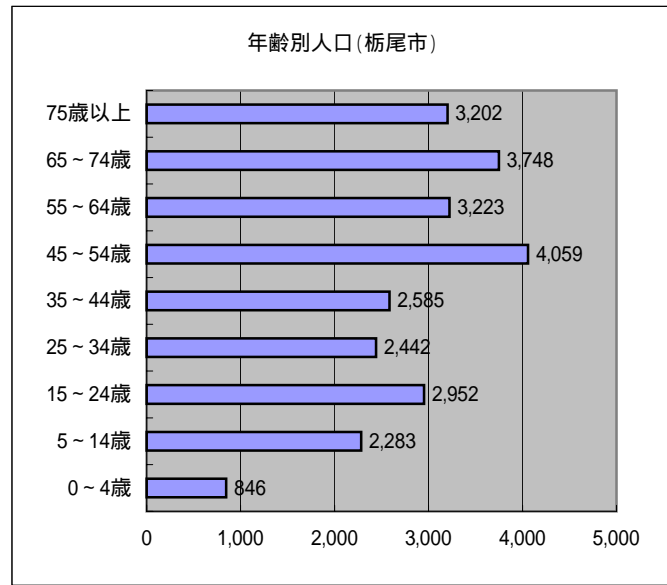
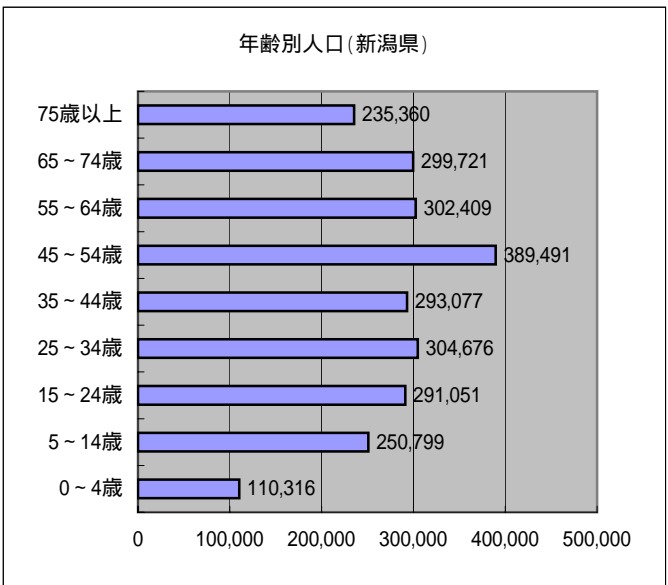
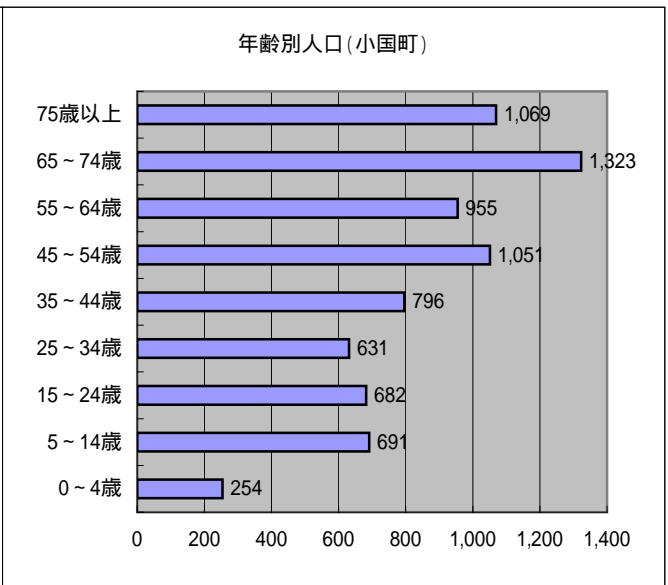
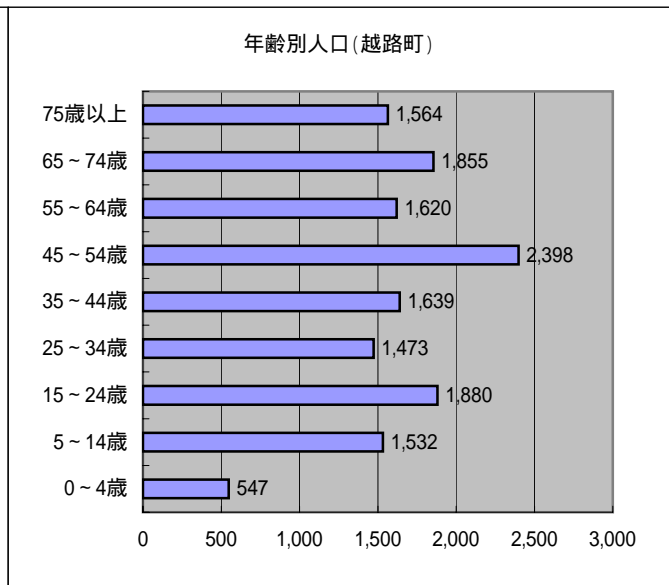
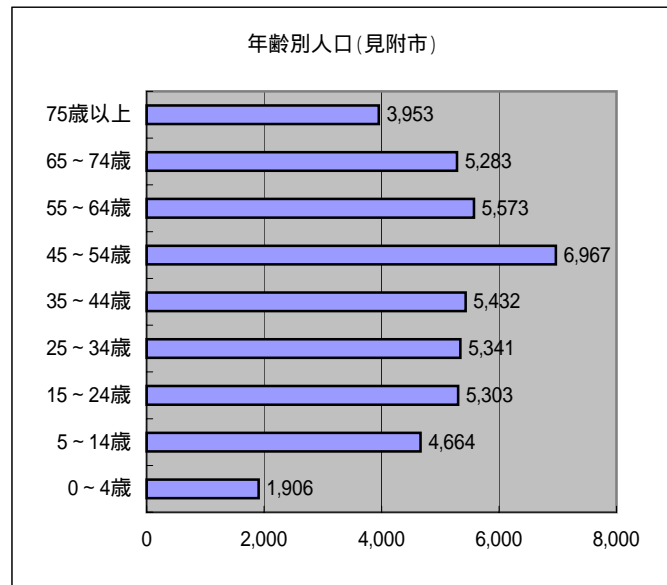
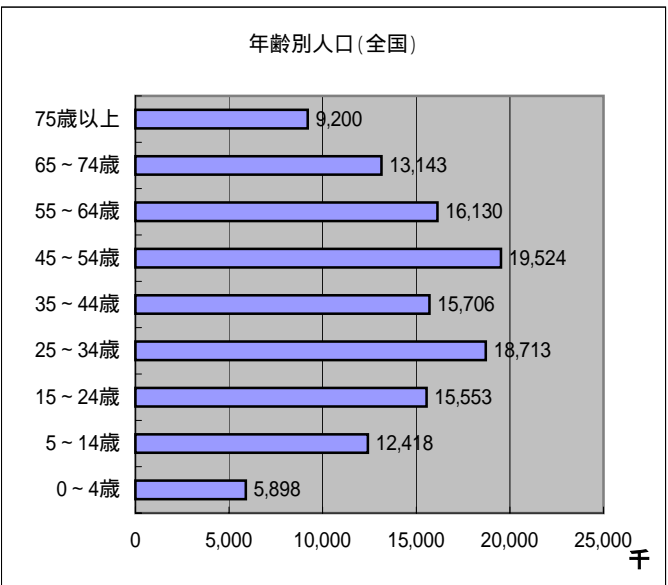
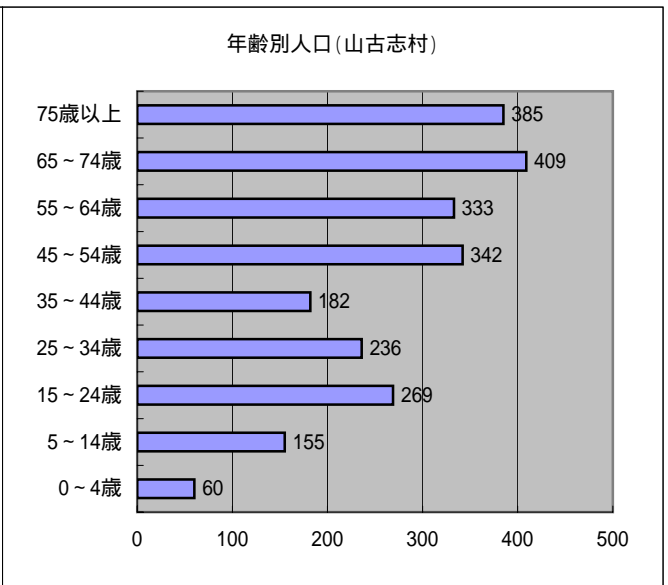
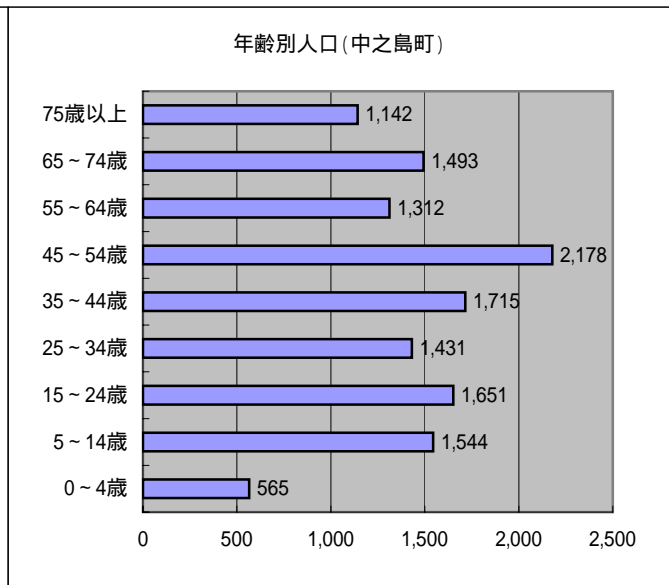
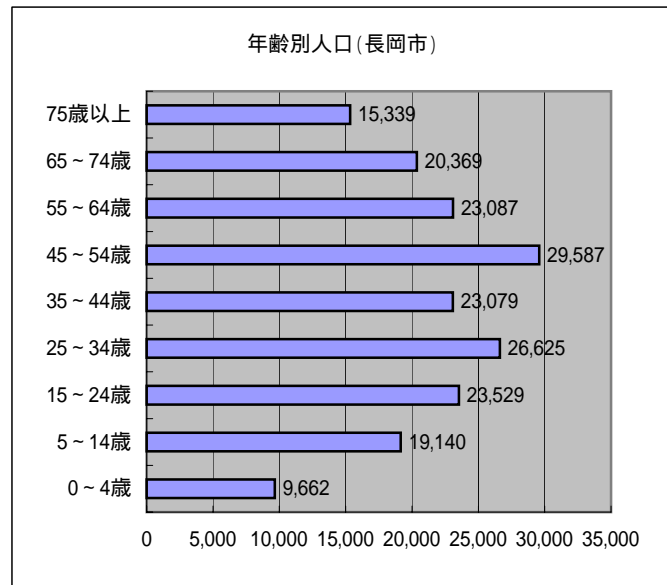
- ・ 若年齢層率と老年層率では、全国や新潟県の平均と比べて少子化・高齢化の傾向が見られる市町村があります。少子化の進んだ地区ほど高齢化も進んでいることから、この傾向は今後さらに顕著になると考えられます。

若年齢層率：14歳以下の人口の割合

老年層率：65歳以上の人口の割合



( 地域経済総覧 2002 の 2000 年年齢層別人口を元に作成 )

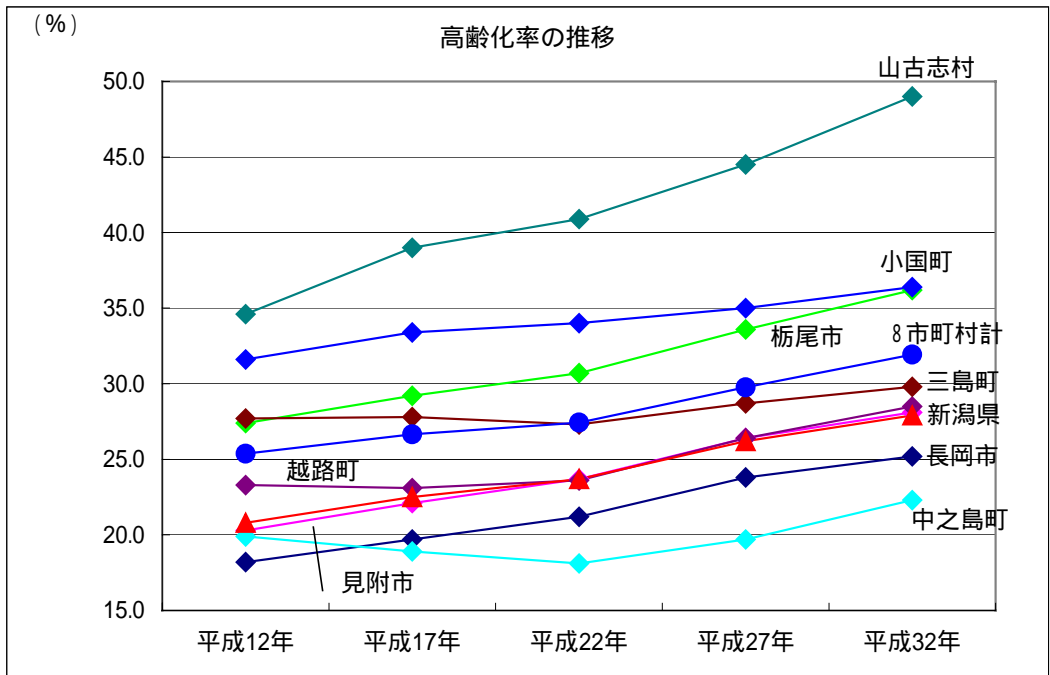
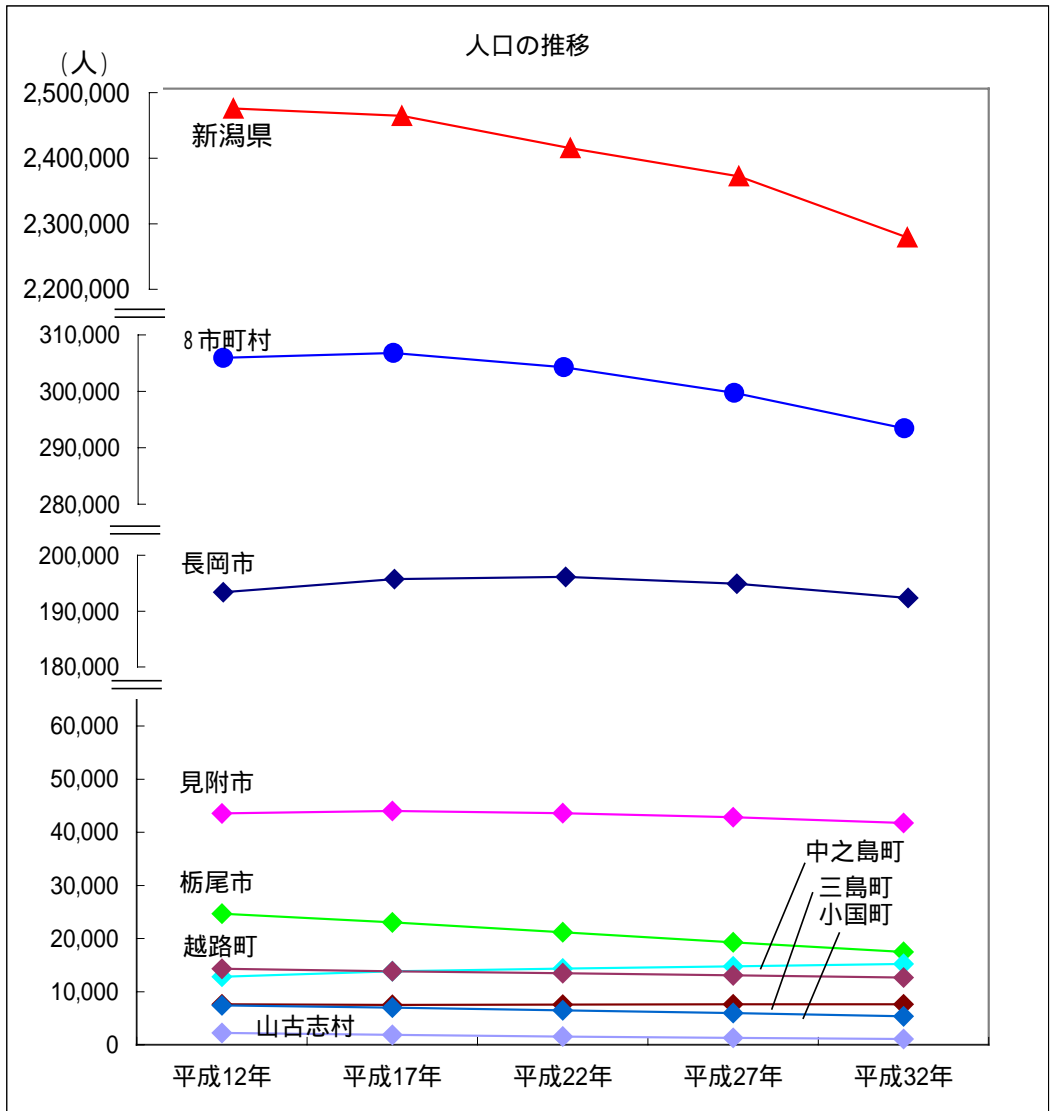


(6) 人口の見通し

- ・ 過去と同じような人口の増減があった場合に、将来の人口がどうなるかを推計しました。これは「必ずこうなる」というものではなく、参考値です。
- ・ 人口の社会移動が現在と同じように推移すると想定した場合、8市町村では平成27年には30万人を下回ります。
- ・ 高齢化率も増加し、山古志村では平成32年には50%近くになると推計されます。

	人口の推移(単位:人)					高齢化率(65歳以上人口の割合)の推移(単位:%)				
	国勢調査	推 計				国勢調査	推 計			
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年
長岡市	193,414	195,750	196,154	194,933	192,362	18.2	19.7	21.2	23.8	25.2
見附市	43,526	43,996	43,583	42,818	41,771	20.3	22.1	23.7	26.4	28.1
栃尾市	24,704	23,014	21,162	19,283	17,468	27.4	29.2	30.7	33.6	36.2
中之島町	12,804	13,815	14,319	14,767	15,208	19.9	18.9	18.1	19.7	22.3
越路町	14,271	13,850	13,493	13,076	12,623	23.3	23.1	23.6	26.4	28.5
三島町	7,618	7,511	7,570	7,595	7,600	27.7	27.8	27.3	28.7	29.8
山古志村	2,222	1,857	1,559	1,291	1,063	34.6	39.0	40.9	44.5	49.0
小国町	7,389	7,013	6,464	5,983	5,340	31.6	33.4	34.0	35.0	36.4
8市町村計	305,948	306,806	304,304	299,746	293,435	25.4	26.7	27.4	29.8	31.9
新潟県	2,475,733	2,464,679	2,415,260	2,372,426	2,279,278	20.8	22.5	23.7	26.2	27.9

出典:長岡地域振興計画「明日をささえるにいがた未来拠点の創造」より



( 7 ) 道路整備状況

- 市町村道の改良率や舗装率などはまちまちです。

改良率：道路構造令の規格に適合している道路延長の割合。計画交通（主に自動車）に対する適応状況の目安になります。

舗装率：舗装された道路延長の割合。走行の円滑性の目安になります。

- 8市町村内の国道や県道などの主要道路は、大部分が舗装されています。

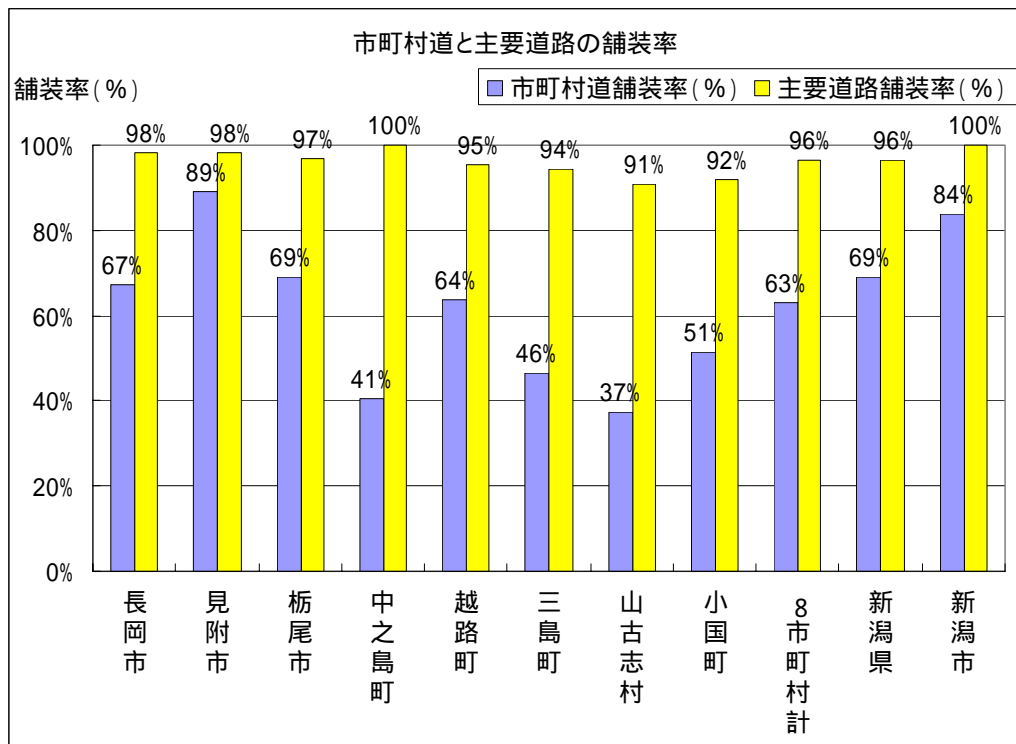
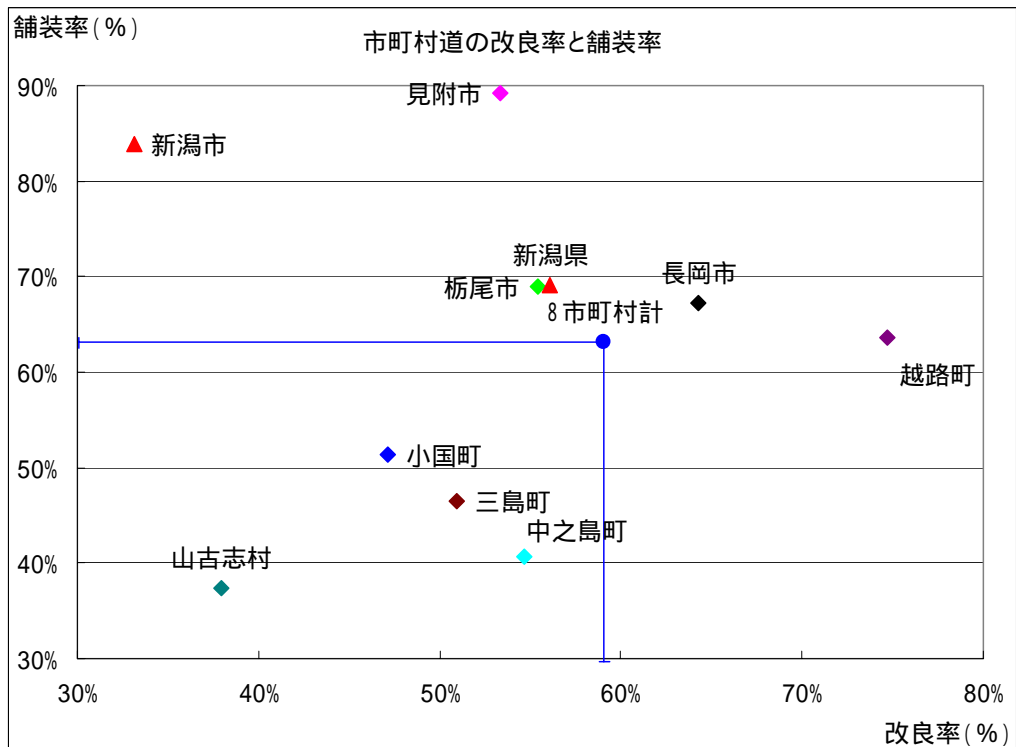


表 道路整備概況

道路種別	市町村	実延長 (km)	改良済延長 (km)	舗装済延長 (km)	歩道延長 (km)	改良率(%)	舗装率(%)
市町村道	長岡市	1,390.2	893.9	934.7	302.7	64.3%	67.2%
	見附市	332.6	177.5	296.8	54.2	53.4%	89.2%
	栃尾市	413.3	229.1	284.9	15.9	55.4%	68.9%
	中之島町	356.0	194.6	144.6	9.7	54.7%	40.6%
	越路町	283.7	212.1	180.4	5.4	74.7%	63.6%
	三島町	157.1	80.0	73.0	5.4	50.9%	46.4%
	山古志村	150.4	57.1	56.3	0.5	37.9%	37.5%
	小国町	192.8	90.8	99.1	1.3	47.1%	51.4%
	8市町村計	3,276	1,935	2,070	395	59.1%	63.2%
	新潟県	29,387.6	16,485.6	20,287.6	2,231.2	56.1%	69.0%
新潟市	2,379.3	788.2	1,995.9	540.2	33.1%	83.9%	

道路種別	市町村	実延長 (km)	舗装済延長 (km)	舗装率(%)
主要道路	長岡市	237.6	233.2	98.1%
	見附市	58.2	57.1	98.1%
	栃尾市	122.2	118.5	97.0%
	中之島町	34.2	34.2	100.0%
	越路町	50.3	48.0	95.4%
	三島町	27.7	26.1	94.2%
	山古志村	52.0	47.2	90.8%
	小国町	75.1	69.0	91.9%
	8市町村計	657.3	633.3	96.3%
	新潟県	6,592.4	6,360.0	96.5%
新潟市	229.6	229.6	100.0%	

1. 市町村道のデータは、「平成12年度 市町村公共施設の状況」による。
2. 主要道路のデータは、国土交通省道路局「道路統計年報」による。（「統計でみる市町村のすがた 2002(改訂版)」）
3. 市町村道：市町村の区域内に存する道路とする。
4. 主要道路：一般国道、主要地方道（主要市道を含む。）及び一般都道府県道を主要道路とする。
5. 改良率：改良済延長の総延長に対する割合
6. 舗装率：舗装済延長の総延長に対する割合

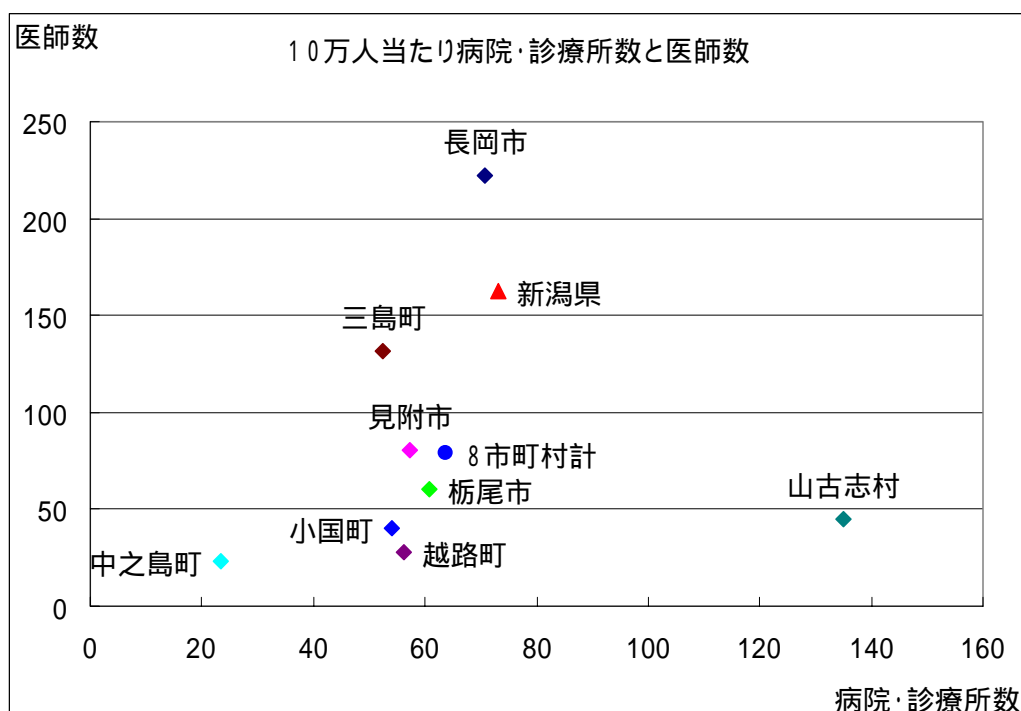
## 2. 住む

### (1) 医療施設

- ・ 長岡市は、病院や診療所の数が多く、長岡保健医療福祉圏（二次保健医療福祉圏）での中心的都市となっています。
- ・ 県の二次保健医療福祉圏では、8市町村のうち見附市、中之島町、小国町は、長岡保健医療福祉圏とは別の保健医療福祉圏となっています。

市町村	病院		一般診療所		医師数 (人)	人口10万人当たり		
	施設数 (施設)	病床数 (床)	施設数 (施設)	病床数 (床)		病院・ 診療所数 (施設)	病床数 (床)	医師数 (人)
長岡市	10	3,994	127	110	429	70.8	2,121.9	221.8
見附市	1	100	24	52	35	57.4	349.3	80.4
栃尾市	1	144	14	0	15	60.7	582.9	60.7
中之島町	0	0	3	0	3	23.4	0.0	23.4
越路町	0	0	8	0	4	56.1	0.0	28.0
三島町	1	355	3	0	10	52.5	4,660.0	131.3
山古志村	0	0	3	0	1	135.0	0.0	45.0
小国町	0	0	4	23	3	54.1	311.3	40.6
8市町村計	13	4,593	186	185	500	63.8	1,003.2	78.9
新潟県	119		1,689		4,209	73.0	1,001.2	162.5
全国							1,166.7	191.6

1. 病院、一般診療所、歯科診療所の施設数と病床数は、「第111回新潟県統計年鑑」(基資料は「医療施設調査H10.10.1現在」)による。
2. 医師数、歯科医師数は、「平成10年医師・歯科医師・薬剤師調査(新潟県福祉保健部)」による。
3. 人口10万人当り病院・診療所数は、(病院施設数＋一般診療所数)÷平成12年度国勢調査人口で算出した。
4. 人口10万人当り病床数は、(病院病床数＋一般診療所病床数)÷平成12年度国勢調査人口で算出した。
5. 人口10万人当り医師数は、医師数÷平成12年度国勢調査人口で算出した。
6. 新潟県の人口10万人当り病床数と全国のデータは「新潟県100の指標」(平成14年度版)より抽出した。
7. 新潟県の病院施設数、一般診療所施設数、医師数は「統計で見える市町村のすがた2002」総務省統計局より抽出した。





## 保健医療福祉圏設定の目的

地域のニーズに対応して総合的な保健・医療・福祉サービスを提供していくための区域であり、併せて、サービス対象者に応じた保健・医療・福祉資源の適正な配置を図る区域を設定するものです。

### (1) 一次保健医療福祉圏

県民の日常生活に密着した保健・医療・福祉サービスが提供される区域であり、市町村を単位とします。

### (2) 二次保健医療福祉圏

特殊なサービスを除き、専門性の高い保健・医療・福祉活動が概ね完結できる区域であり、保健・医療・福祉サービス提供体制を計画的に整備する基本的な区域として、13の圏域を設定します。

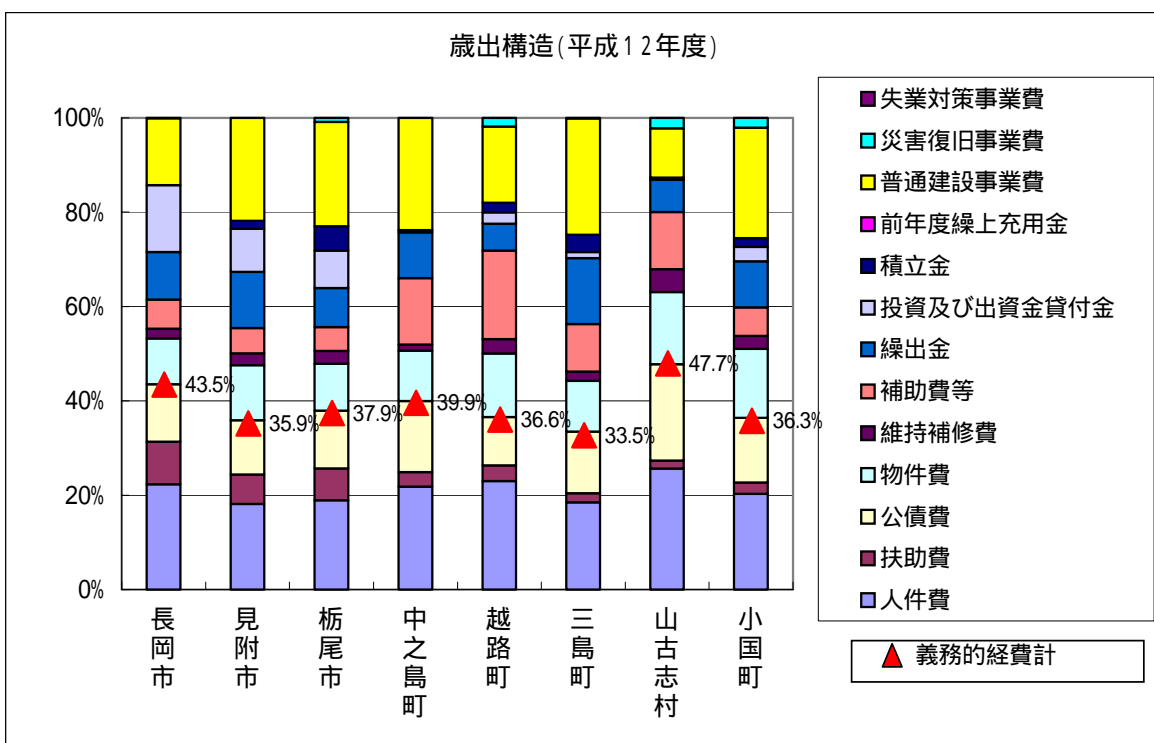
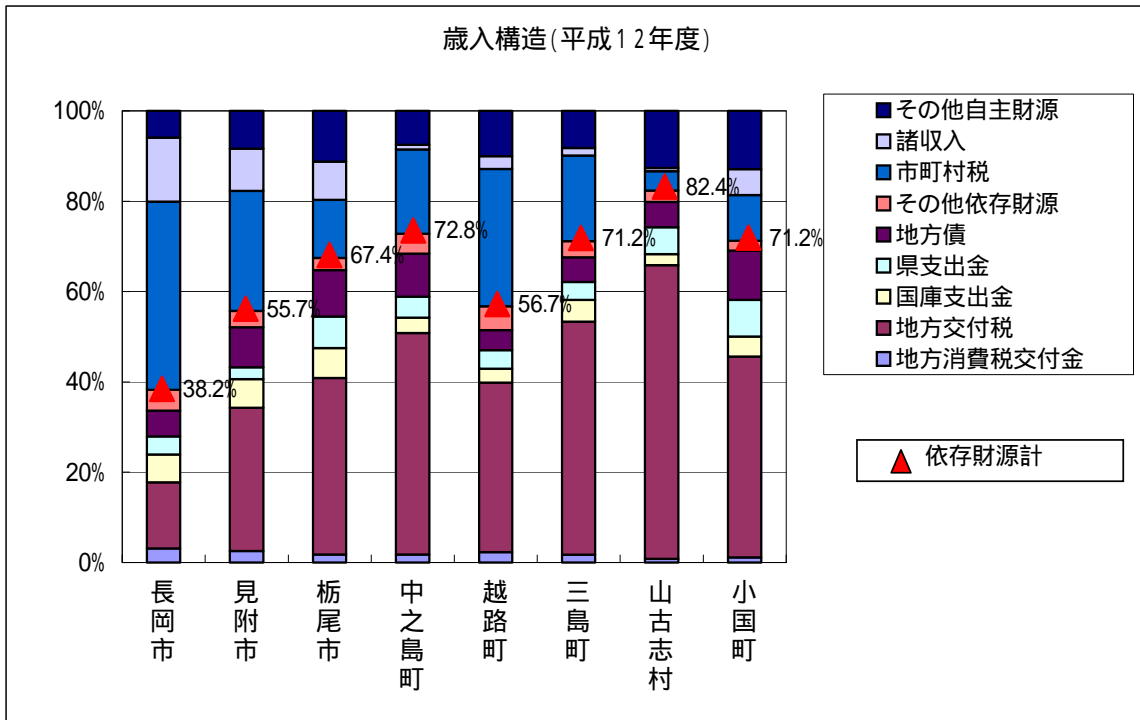
### (3) 三次保健医療福祉圏

高度で特殊な技術や設備を要する保健・医療・福祉サービスが提供される区域であり、全県を範囲とします。  
また、医療機能整備に関しては、県土が長大であるという本県の地理的条件を踏まえ、複数の二次保健医療福祉圏で構成する区域を設定し、それをサブ三次保健医療福祉圏とします。

(新潟県健康福祉計画より抜粋)

## (2) 財政の歳入・歳出構造

- ・ 歳入構造では、依存財源（地方交付税、国庫支出金、県支出金など）の割合が高い市町村が多く見受けられます。一般に、地方税などの自主財源の割合が高いほど財政運営を自主的・自律的に行うことができ望ましいものです。
- ・ 歳出構造では、義務的な経費（人件費、扶助費、公債費）の割合が高いと財政の硬直化の懸念があります。



### 3. 働く

#### (1) 産業別概況

- ・ 従業者数の構成率を見ると、越路町や三島町、山古志村、小国町では農林業従事者の割合が高くなっています。
- ・ 見附市や栃尾市では、製造業従事者の割合が高くなっています。
- ・ 中之島町や越路町、三島町、山古志村、小国町では建設業従事者の割合が高くなっています。
- ・ 8市町村の全従業者数のおよそ7割を長岡市が占めているため、8市町村合計での構成比は長岡市の構成比と似ています。また、長岡市は新潟県や全国などと似た構成になっています。

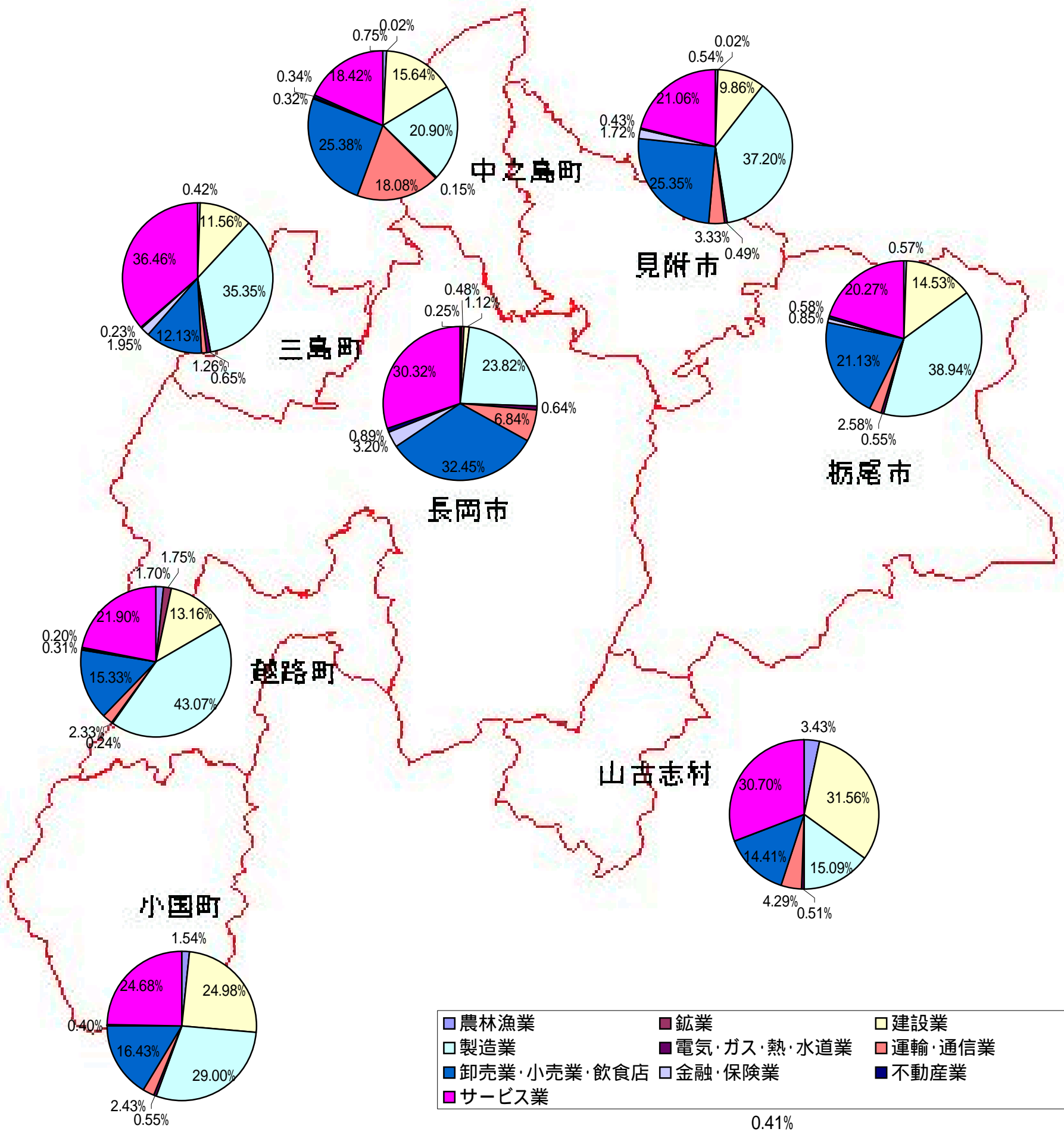
	産業別事業所数										
	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱・水道業	運輸・通信業	卸売業・小売業・飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業	合計
長岡市	20	19	1,306	1,353	16	270	5,032	216	363	3,418	12,013
見附市	9	1	315	579	6	34	816	28	36	640	2,464
栃尾市	12	-	235	351	5	29	514	12	26	381	1,565
中之島町	2	1	110	63	2	19	160	5	3	141	506
越路町	11	5	123	67	1	18	175	4	10	211	625
三島町	4	-	58	44	1	6	94	3	3	95	308
山古志村	2	-	42	8	1	7	30	-	-	37	127
小国町	8	-	101	47	2	8	105	2	-	83	356
8市町村計	68	26	2,290	2,512	34	391	6,926	270	441	5,006	17,964
新潟県	756	219	18,155	16,494	352	3,394	53,743	1,982	3,729	42,001	187,281
新潟市	32	10	2,802	1,387	43	886	12,524	553	1,021	8,986	28,244
全国	18,420	4,160	612,150	689,194	3,609	166,251	2,666,732	101,731	285,341	1,655,661	8,425,102

出典：平成12年国勢調査

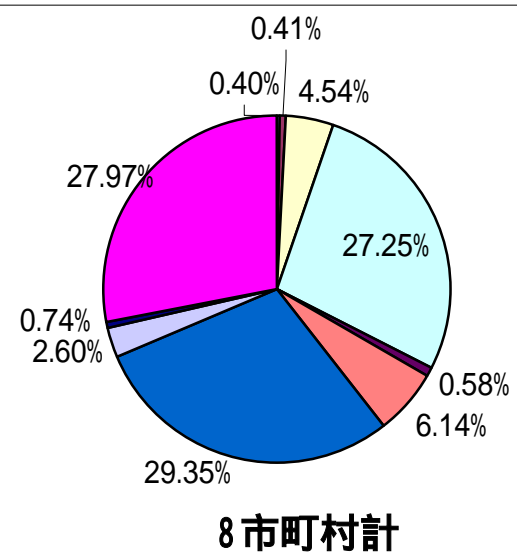
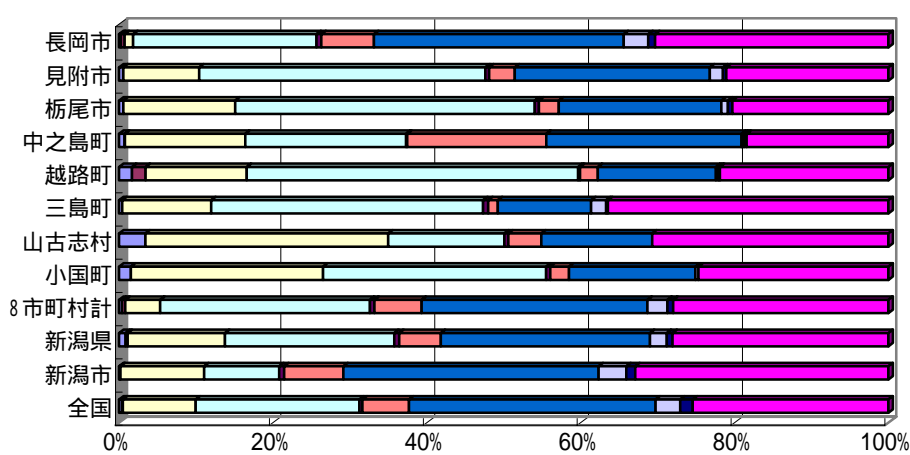
	産業別従業者数										
	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱・水道業	運輸・通信業	卸売業・小売業・飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業	合計
長岡市	250	489	1,137	24,256	647	6,967	33,039	3,255	903	30,875	101,818
見附市	87	4	1,598	6,030	79	540	4,109	278	70	3,414	16,209
栃尾市	54	-	1,378	3,693	52	245	2,004	81	55	1,922	9,484
中之島町	31	1	645	862	6	746	1,047	13	14	760	4,125
越路町	92	95	713	2,334	13	126	831	17	11	1,187	5,419
三島町	11	-	303	927	17	33	318	51	6	956	2,622
山古志村	20	-	184	88	3	25	84	-	-	179	583
小国町	31	-	503	584	11	49	331	8	-	497	2,014
8市町村計	576	589	6,461	38,774	828	8,731	41,763	3,703	1,059	39,790	142,274
新潟県	9,767	3,063	144,619	251,357	7,435	61,845	310,635	25,015	8,548	320,626	1,365,582
新潟市	317	231	29,752	26,743	1,751	21,085	90,857	9,828	3,212	90,108	273,884
全国	216,267	54,934	5,089,500	11,452,317	214,550	3,253,946	17,244,891	1,723,382	869,424	13,687,369	66,292,889

出典：平成12年国勢調査

8市町村の産業別従業者割合



産業別従業員構成比

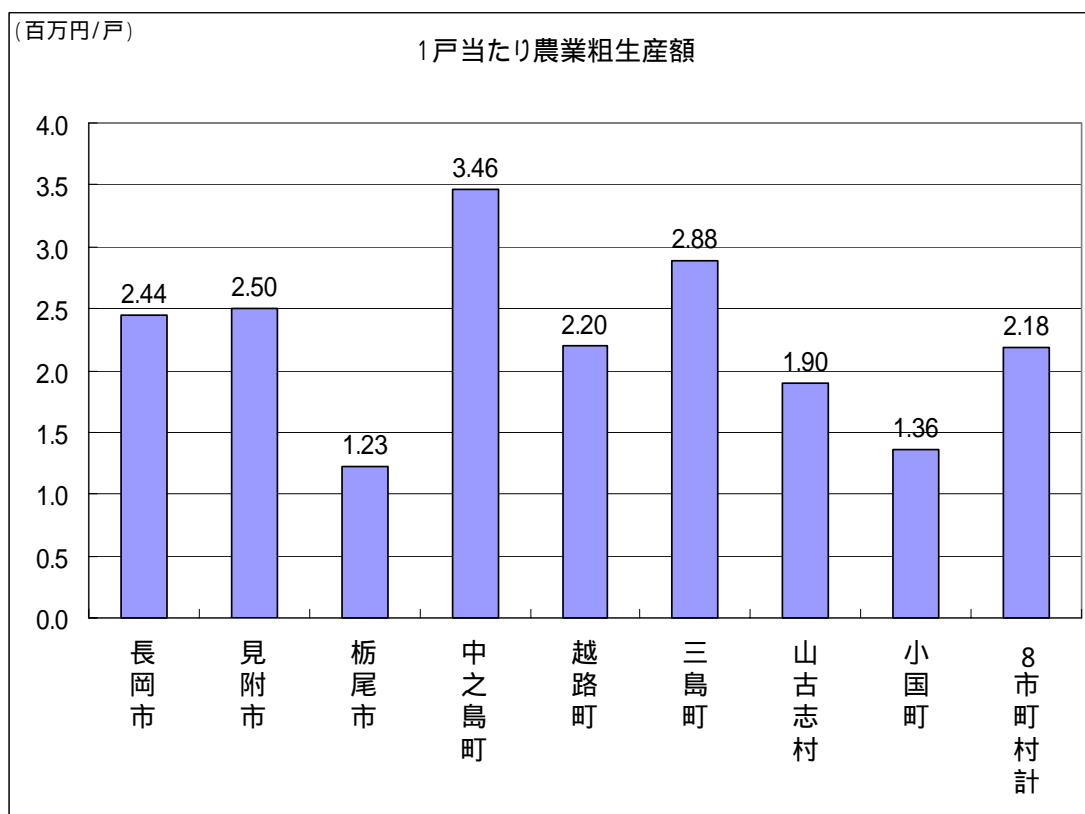


(2) 農林水産業

- ・ 農業粗生産額は、長岡市が最も多く、次いで見附市と中之島町がほぼ同じになっています。
- ・ 中之島町では、一戸当たりの農業粗生産額が高くなっています。

	農業粗生産額 (百万円)					農家数 (戸)			1戸当たり生産額 (百万円/戸)
	1997	1998	1999	2000	2001 (速報値)	1990	1995	2000	
長岡市	11,929	11,338	11,432	10,438	10,191	5,585	4,886	4,271	2.44
見附市	4,409	4,095	3,931	3,978	3,965	1,844	1,686	1,592	2.50
栃尾市	3,323	3,100	3,060	2,894	2,837	2,976	2,724	2,362	1.23
中之島町	4,646	4,197	4,029	3,965	3,985	1,295	1,229	1,145	3.46
越路町	2,458	2,351	2,181	2,174	2,207	1,432	1,203	986	2.20
三島町	1,342	1,266	1,224	1,277	1,284	611	519	443	2.88
山古志村	798	682	782	739	718	562	473	389	1.90
小国町	1,940	2,000	1,672	1,712	1,655	1,540	1,396	1,256	1.36
8市町村計	30,845	29,029	28,311	27,177	26,842	15,845	14,116	12,444	2.18
新潟県			315,700						
新潟市			17,680						
全国			9,471,800						

出典：北陸農政局新潟統計情報事務所「新潟農林水産統計年報(農林編)」  
 速報値：北陸農政局新潟統計情報事務所「農業産出額及び生産農業所得(新潟)」  
 出典：農林水産省統計情報部「1990年世界農林業センサス第1巻新潟県統計書(農業編)」  
 農林水産省統計情報部「1995年農業センサス第1巻新潟県統計書」  
 農林水産省統計情報部「2000年世界農林業センサス第1巻新潟県統計書(農業編)」



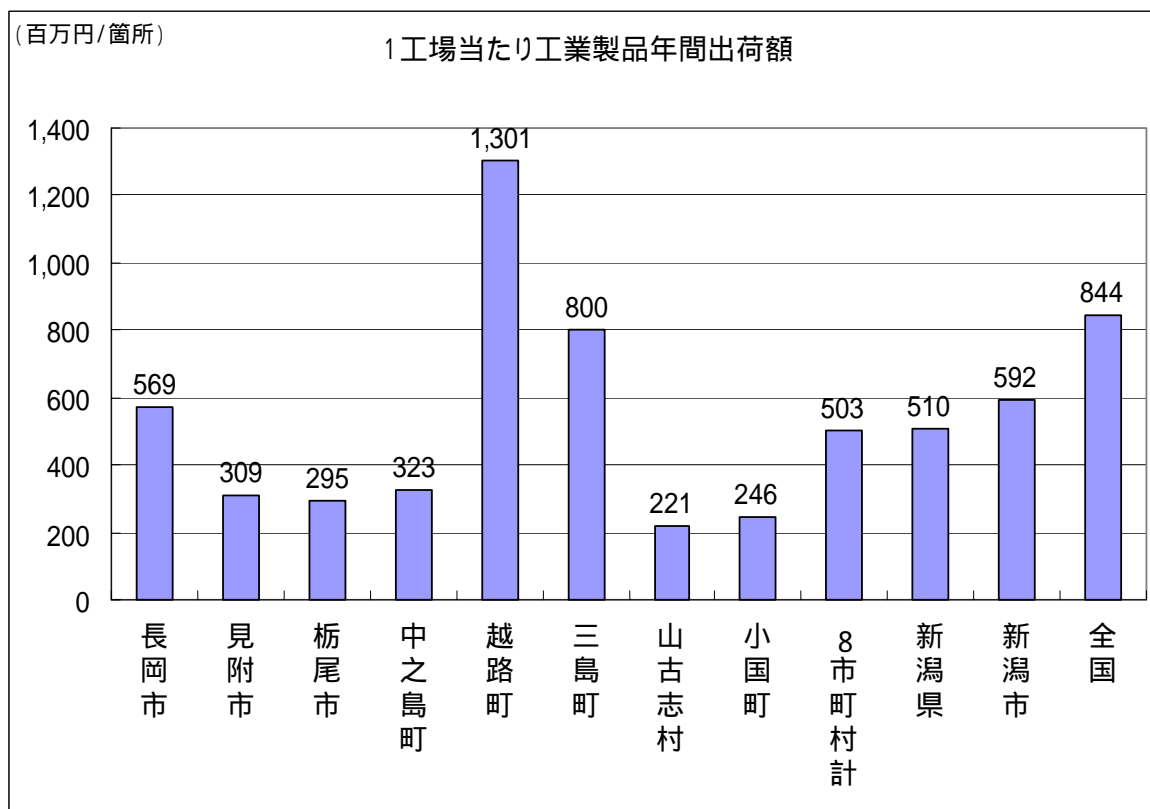
(3) 製造業

- ・ 工業製造品年間出荷額では、長岡市が最も多く、次いで見附市となっています。
- ・ 越路町では、一工場当たりの年間出荷額が全国平均以上となっています。

	工業製造品年間出荷額等(百万円)					工場数 1999	1工場当たり 年間出荷額 (百万円/箇所)	従業者数 1999	1人当たり 年間出荷額 (百万円/人)
	1995	1996	1997	1998	1999				
長岡市	465,406	491,178	519,029	513,931	456,710	802	569.46	21,862	20.89
見附市	100,259	96,326	96,210	87,610	79,113	256	309.04	5,681	13.93
栃尾市	43,667	43,489	44,663	38,935	36,925	125	295.40	3,479	10.61
中之島町	8,904	8,525	10,292	10,191	10,671	33	323.36	654	16.32
越路町	39,976	43,304	48,493	48,174	48,144	37	1,301.19	2,426	19.85
三島町	15,058	16,955	19,013	16,185	20,800	26	800.00	885	23.50
山古志村	2,083	1,835	1,948	1,954	1,771	8	221.38	101	17.53
小国町	6,207	6,802	7,205	6,909	6,649	27	246.26	552	12.05
8市町村計	681,560	708,414	746,853	723,889	660,783	1,314	502.88	35,640	18.54
新潟県			5,201,529	4,916,940	4,595,237	9,015	509.73	231,979	19.81
新潟市			696,225	666,252	543,658	919	591.58	23,523	23.11
全国			323,071,831	305,839,992	291,449,554	345,457	843.66	9,377,750	31.08

出典:民力

出典:地域経済総覧2002



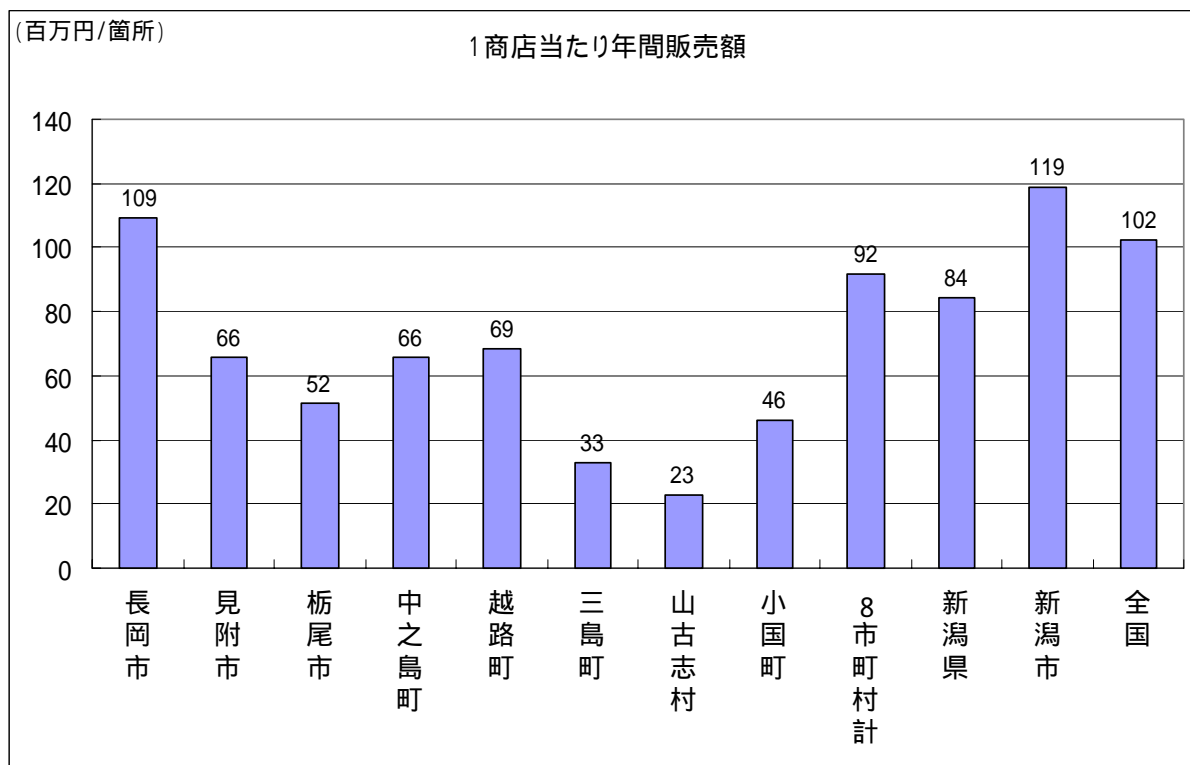
(4) 商業

- ・ 年間販売額は、長岡市が最も多く、次いで見附市となっています。
- ・ 一商店当たり、一人当たりとも長岡市の年間販売額が最も多くなっています。

	小売業商店年間販売額(百万円)					商店数 1999	1商店当たり年 間販売額 (百万円/箇所)	従業者数 1999	1人当たり年間 販売額 (百万円/人)
	1988	1991	1994	1997	1999				
長岡市	215,125	251,119	262,850	295,361	277,835	2,545	109.17	14,549	19.10
見附市	30,946	32,587	33,373	33,700	36,070	550	65.58	2,586	13.95
栃尾市	15,209	15,558	16,916	18,108	17,940	348	51.55	1,199	14.96
中之島町	7,107	9,133	9,141	9,053	8,114	123	65.97	452	17.95
越路町	6,840	9,303	9,877	9,450	9,952	145	68.63	581	17.13
三島町	2,965	3,336	3,665	3,162	2,358	72	32.75	210	11.23
山古志村	990	886	819	803	568	25	22.72	62	9.16
小国町	3,722	3,539	3,931	3,936	3,680	80	46.00	267	13.78
8市町村計	282,904	325,461	340,572	373,573	356,517	3,888	91.70	19,906	17.91
新潟県				2,889,021	2,736,948	32,487	84.25	156,843	17.45
新潟市				750,495	729,801	6,152	118.63	37,609	19.40
全国				147,743,116	143,832,551	1,406,884	102.23	8,028,558	17.92

出典:民力

出典:地域経済総覧2002



(5) 観光

- ・ 8市町村合計では、まつり・イベントが最も多く、140万人以上の入り込み客数となっています。
- ・ 最も観光入り込み客数が多いのは、長岡市の長岡まつりです。
- ・ その他では、長岡市内の温泉や、長岡市の国営越後丘陵公園や栃尾市の杜々の森名水公園などの自然景観、長岡市の悠久山公園や越路町の宝徳山稲荷大社などの名所・旧跡、栃尾市の道の駅 R290 とちお他の産業観光(施設)に20万人以上の入り込み客数となっています。

(単位:人)

市町村	温泉	自然景観	名所・旧跡	文化施設	産業観光	まつり・イベント	スキー	登山など	その他のレク施設	合計
長岡市	202,900	347,710	391,030	479,170	5,490	1,079,500	43,100	82,600	122,270	2,753,770
見附市	3,730	0	8,000	3,230	0	80,000	0	28,230	0	123,190
栃尾市	8,440	311,020	34,300	11,260	386,150	91,690	14,010	12,290	8,280	877,440
中之島町	0	0	0	360	0	72,000	0	0	0	72,360
越路町	8,240	0	241,090	0	0	12,500	0	0	39,720	301,550
三島町	0	0	11,890	2,270	12,530	14,950	0	14,170	0	55,810
山古志村	3,050	7,300	800	990	34,300	56,700	8,610	0	30,150	141,900
小国町	34,520	0	0	0	0	0	0	0	59,540	94,060
8市町村計	260,880	666,030	687,110	497,280	438,470	1,407,340	65,720	137,290	259,960	4,420,080

平成13年度新潟県観光動態の概要(新潟県産業労働部観光振興課)

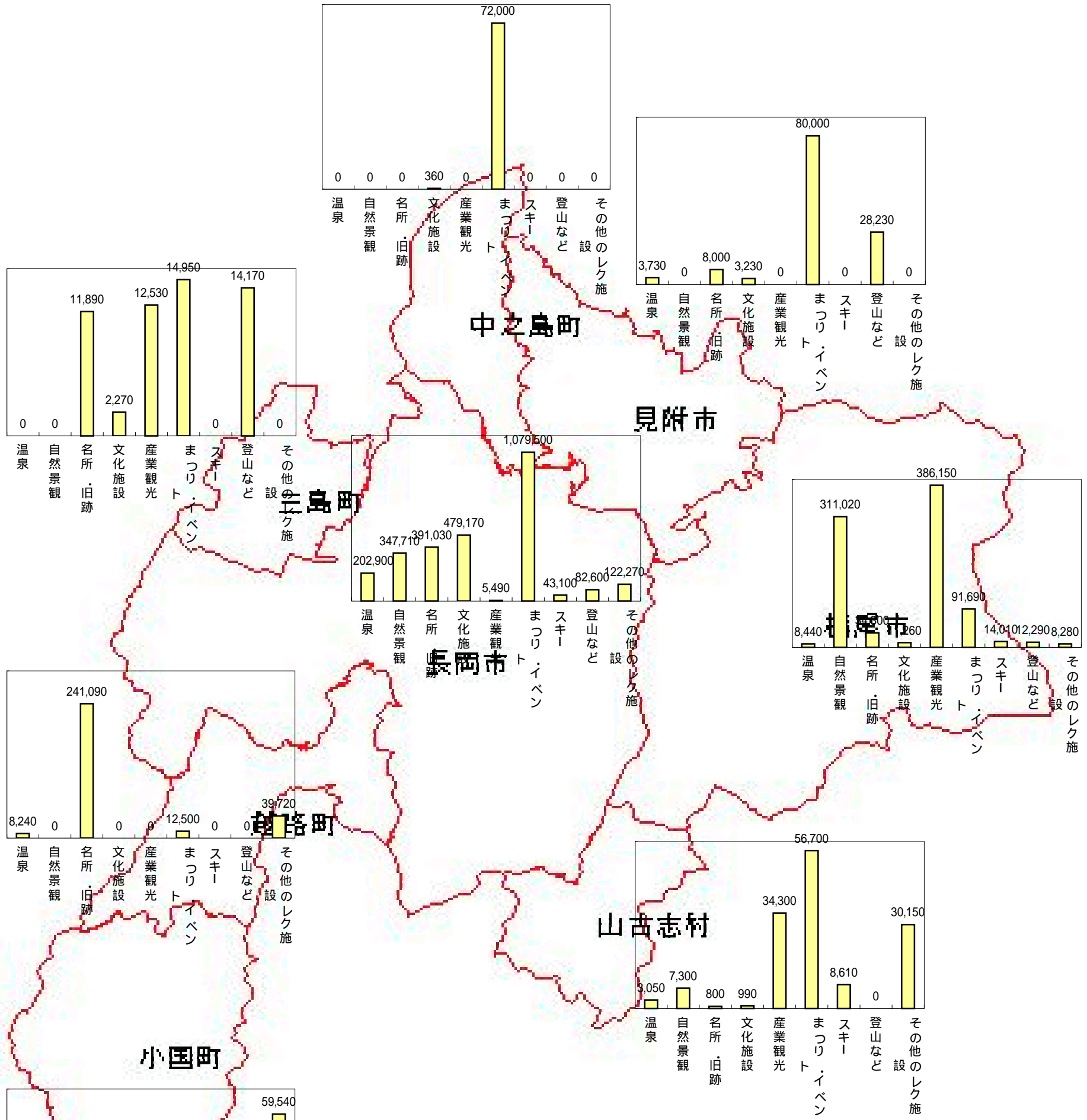
市町村別「主要」観光地入込数(平成13年度)

市町村	観光地点名	観光目的	入込数	対前年度比
長岡市	温泉	温泉	202,900	100.7
	国営越後丘陵公園	自然景観	323,080	151.3
	悠久山公園	名所・旧跡	347,660	132.5
	青少年文化センター	文化施設	131,810	96.9
	県立歴史博物館	文化施設	116,490	110.4
	県立近代美術館	文化施設	115,900	259.2
	産業展示室(ハイブ長岡内)	文化施設	73,210	100.9
	長岡まつり	まつり・イベント	871,000	104.9
	悠久山桜まつり	まつり・イベント	113,500	103.2
	雪しか祭り	まつり・イベント	60,000	92.3
栃尾市	東山ファミリーランド	登山・ハイキング・キャンプ	64,880	120.1
	ゴルフ場	その他	77,600	103.3
	杜々の森名水公園	自然景観	311,020	163.7
	道の駅 R290とちお 他	産業観光	259,300	122.1
越路町	その他(おりなす)	産業観光	82,850	62.2
	あぶらげまつり・遊雪まつり他	まつり・イベント	91,690	122.3
	宝徳山稲荷大社	名所・旧跡	230,000	106.5

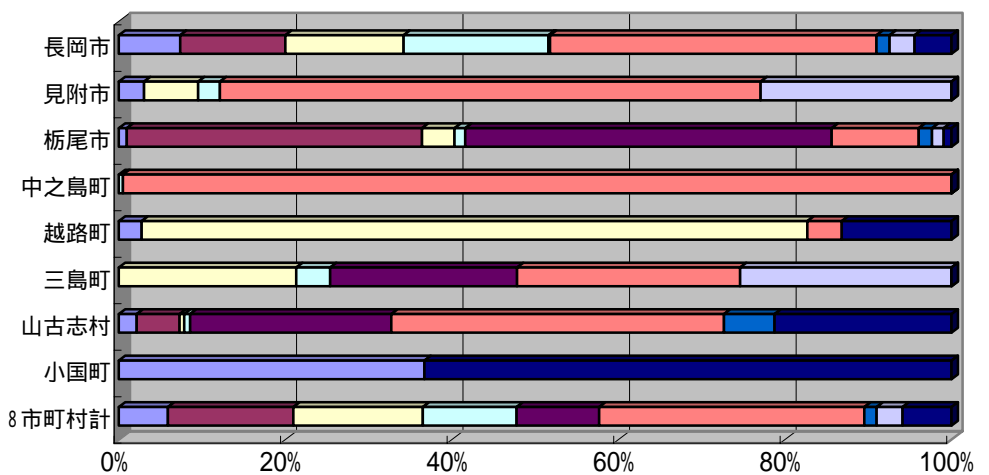
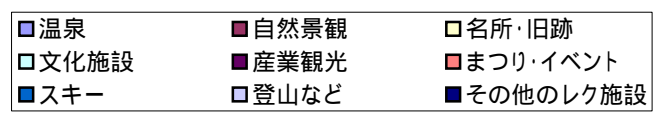
平成13年度新潟県観光動態の概要(新潟県産業労働部観光振興課)に掲載のもののみ



8市町村の観光資源別入れ込み数



観光資源別入込数構成比



## 4. 学ぶ

### (1) 教育・文化施設

- ・ 博物館や体育館、レクリエーション施設は各市町村に整備されています。

	長岡市	見附市	栃尾市	中之島町	越路町	三島町	山古志村	小国町	8市町村計	
学校	幼稚園	17	3	1	0	0	0	0	21	
	小学校	38	8	12	3	3	2	1	70	
	中学校	16	4	2	1	2	1	1	28	
	高等学校	9	1	1	0	0	0	1	13	
	大学	2	0	0	0	0	0	0	2	
	短期大学	1	0	0	0	0	0	0	1	
	専修学校	1	0	0	0	0	0	0	1	
	教育施設	84	16	16	4	5	3	3	5	136
公民館 児童館	本館の数	60	6	1	3	1	1	1	74	
	分館の数		1	8	8	25		5	2	49
	施設数	60	7	9	11	26	1	6	3	123
図書館	施設数	6	1	1	1	1		1	12	
	蔵書数合計(単位:冊)	601,758	130,447	42,992	25,798	7,808	4,085		9,370	822,258
博物館	施設数	13	2	2	3	1	1	1	2	25
	入場者数(単位:人)	20,963	2,284	14,514		389	720	100	291	39,261
体育施設	体育館	4	2	2	1	5	1	1	1	17
	プール	2	1			1			1	5
	運動公園他	13	9	6	3	3	3	3	4	44
	施設数	19	12	8	4	9	4	4	6	66
文化芸術施設(ホール等)	3	2	2	1	0	0	0	0	8	
レクリエーション施設	27	7	9	14	10	2	4	4	77	

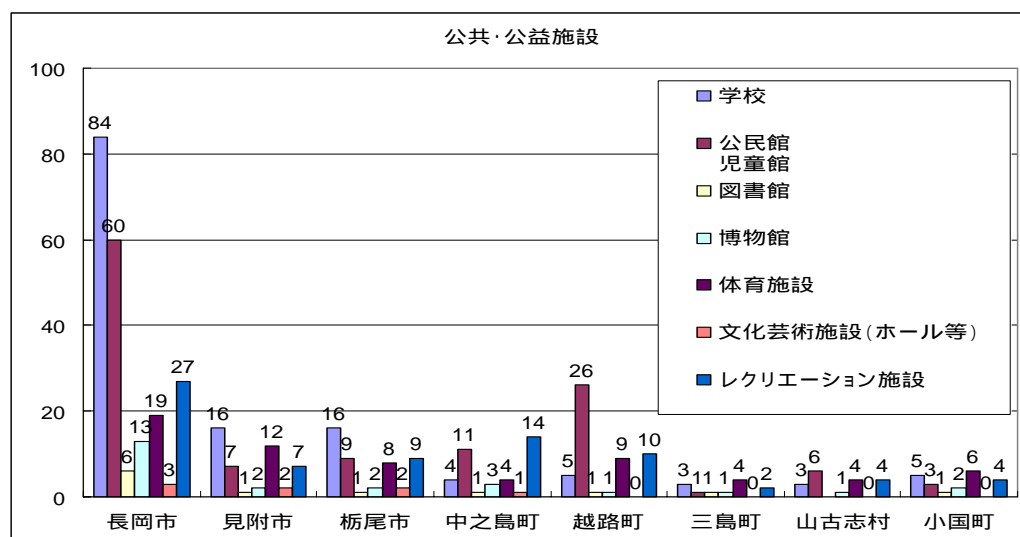
重複する施設もあります。

資料:長岡地域広域行政組合作成「行財政現況調査」より

学校は、「平成12年度学校基本調査結果報告書 新潟県総合政策部統計課」による。

博物館、文化芸術施設は、「平成11年度市町村文化行政の現状 新潟県教育庁文化行政課」による。

レクリエーション施設は、「平成12年度 新潟県社会体育の現状 新潟県教育委員会」による。



## 5. 交流する

### (1) 8市町村間移動

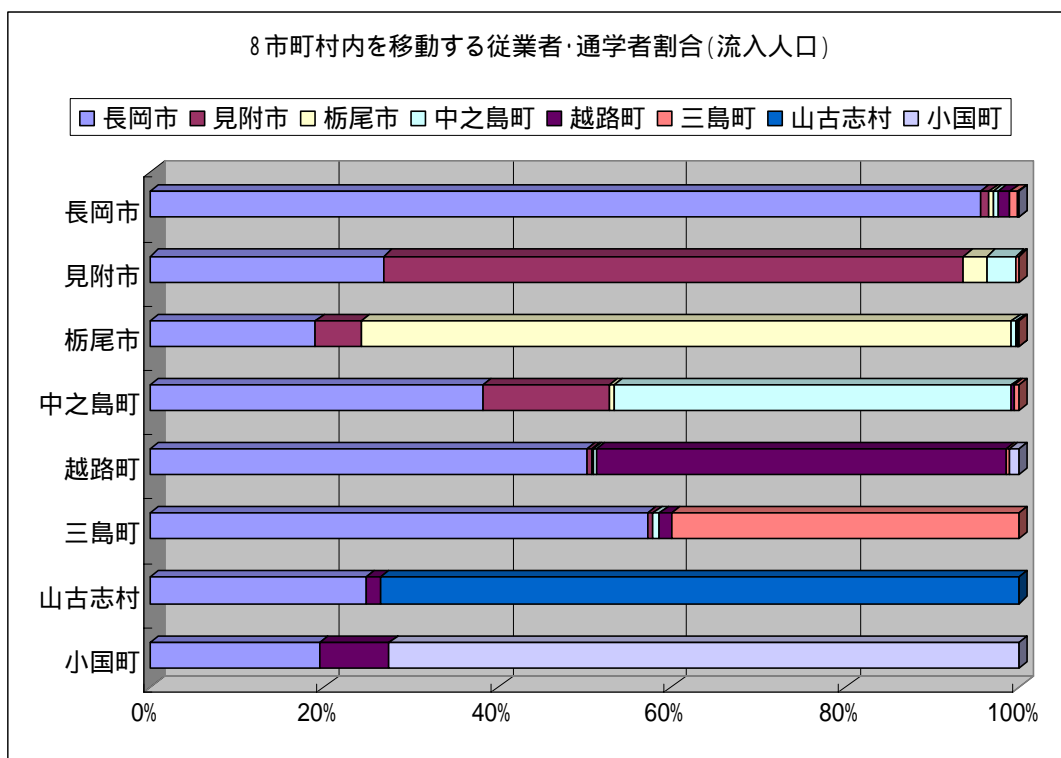
- ・ 通勤・通学の移動では、自市町村以外では、いずれの都市でも長岡市との行き来が最も多くなっています。
- ・ 越路町や三島町では自町内より長岡市への移動のほうが多く、長岡市のベッドタウンとしての性格が読みとれます。

長岡市から見附市への通勤・通学者数

	通勤・通学地								流出人口 小計
	長岡市	見附市	栃尾市	中之島町	越路町	三島町	山古志村	小国町	
長岡市	<b>98,847</b>	1,100	457	532	1,445	932	75	75	4,616
見附市	5,898	<b>14,612</b>	586	714	32	56			7,286
栃尾市	2,596	713	<b>10,206</b>	78	21	15			3,423
中之島町	2,325	881	34	<b>2,780</b>	15	36			3,291
越路町	3,565	43	10	26	<b>3,345</b>	29		77	3,750
三島町	2,033	23		26	50	<b>1,417</b>			2,132
山古志村	273				18		<b>805</b>		291
小国町	677				280			<b>2,515</b>	957
流入人口 小計	17,367	2,760	1,087	1,376	1,861	1,068	75	152	
その他 市区町村	15,546	1,951	217	597	487	428	89	207	
県外	368	16	8	4	1	3	4	2	

出典：平成12年国勢調査

7市町村から見附市への流入人口



## 地域資源

表 地域に共通または代表する地域資源

分類	共通または代表的要素
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信濃川などの河川</li> <li>・山岳と平野の変化に富んだ自然</li> <li>・梅雨の大雨や融雪の雪崩災害</li> </ul>
生活・余暇・商業施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山や森の緑、田園風景、都市景観</li> <li>・施設は長岡市に集中</li> </ul>
伝統・歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縄文・戊辰等歴史史跡</li> <li>・城下街並み</li> <li>・各地の寺社仏像文化財</li> <li>・牛の角突きや・手掘りずい道などの歴史</li> <li>・大凧や花火でにぎわう祭り</li> <li>・各地に残る神楽舞など</li> </ul>
経済活力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米(米作)</li> <li>・酒造</li> <li>・和紙や鋸・手まり等の伝統工芸</li> <li>・郷土菓子</li> <li>・米作以外の農業</li> <li>・錦鯉の養殖</li> <li>・機械工業</li> <li>・繊維工業</li> <li>・機械・繊維以外の工業</li> </ul>
地域イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蛍の飛ぶ風景</li> <li>・米百俵の精神</li> <li>・棚田など山間地域</li> </ul>
立地条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の中央</li> <li>・高速交通体系による利便性</li> </ul>

表 8 市町村の個性

	総合計画キャッチフレーズ	市町村勢要覧サブタイトル
長岡市	「個性豊かな国際文化都市」	新ながおか主義 新世紀を築く「自立」と「個性」
見附市	「トータルファッションシティの創造」	このまちで私らしく暮らす
栃尾市	「自然と人が共生する、うるおいのあるまち」	湧水・楽園
中之島町	「うるおいと活力にあふれる田園都市(ふるさと)」	ひとが主役です
越路町	「人と自然にやさしい田園都市 こしじ」	雪ぼたる舞う里
山古志村	「夢を集めて力に変えて新世紀(あした)に伸びる文化村・山古志！」	ぬくもりのかたち
小国町	「人は元気 自然が薫る 小国町」	心があたたかくなるまち小国からの手紙
三島町	「人の和で 未来につなぐまちづくり ～人が人を育て人がまちを創る～」	未来へ。人が人を育て、人がまちを創る

地域資源

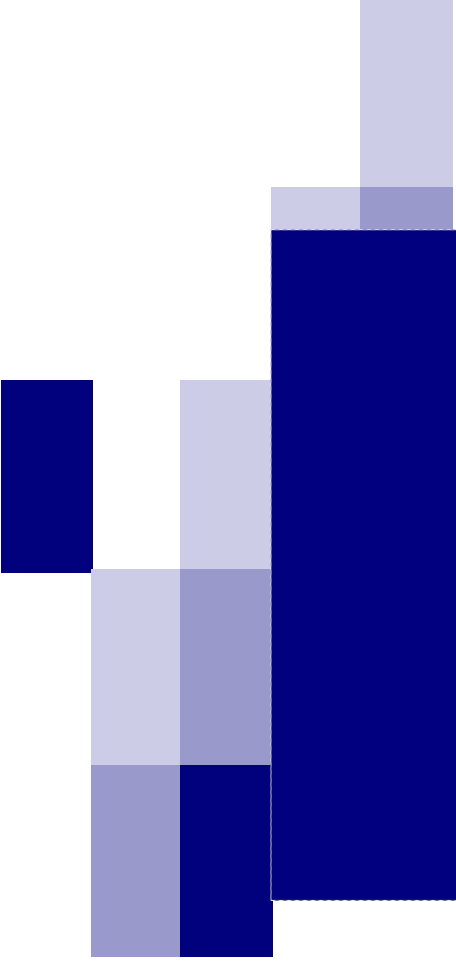
			長岡市	見附市	栃尾市	中之島町	越路町	山古志村	小国町	三島町	長岡地域共通	
大分類	中分類	小分類										
自然資源	自然的資源	景勝、自然景観	信濃川	刈谷田川 守門山、栗ヶ岳、弥彦山の眺望	刈谷田川 名峰守門岳	信濃川、刈谷田川、猿橋川	信濃川、洪海川		八石山、洪海川	西山連峰	信濃川	
	自然現象	気象	融雪による地滑り		融雪による地滑り			雪 融雪による地滑り			梅雨の大雨、融雪の雪崩 (過去の災害)	
生活・余暇・商業施設	景観資源・生活様式		長岡市都市景観条例 水道タンク(国指定文化財) 悠久山の桜祭り 雁木	林道馬場本町線	四方を山に囲まれ緑が多い 雁木 道祖神(県内の1/3が市内にある)	四方を川に囲まれ緑が多い 田園	田園	厳しい地形的条件 棚田やはさ木、棚池	はざ木、田園	田園、丘陵		
	生活・余暇施設	公共施設	国営越後丘陵公園 悠久山公園 千秋が原ふるさとの森	大平森林公園 観音山・水道山公園 新田公園	杜々の森名水公園			四季の里 古志	越後おぐに森林公園(県景勝百選)			
		文化施設等	県立近代美術館 県立歴史博物館	アルカディア				蜜の保全活動(環境保全活動)	民俗資料館			
	教育福祉		高等教育機関の集積(大学3, 高専1)	医療・福祉の里								
	商業・産業施設		東山ふれあい農業公園 市営スキー場			道の駅(おりなす、はーもにー他)			種学原温泉	芸術村		
伝統・歴史	歴史資源	史跡	長岡城、馬高遺跡(縄文)	耳取遺跡	栃倉遺跡(縄文時代の痕跡)		朝日遺跡、松並遺跡他 栢形山城址他多数			千石原遺跡(縄文時代)	縄文文化の遺跡多数	
		歴史	戊辰戦争、 長岡空襲による壊滅的な被害と復興	戊辰戦争跡			上杉 天領 長岡藩 柏崎県 新潟県(変遷の歴史)		変遷の歴史			
		寺社仏閣		小栗山不動院(獅子舞)		鞍掛神社(県文化財) 薬師如来(県文化財)	宝徳山稲荷大社(日本四大稲荷)					
		記念物(日本初など)			栃尾城跡(県文化財)	大竹邸記念館(新潟県景勝) S23米作り日本一	長谷川邸(越後最古の民家)	白鬚神社の樹林(県文化財) 牛の角突き(本州で唯一伝承)国の重要無形民族文化財 手彫り山中隧道(日本一の規模)	小国和紙(県文化財)	国重文親鸞、県記念物の大杉		
	伝統的資源	伝統芸能、民謡			神楽舞	池之島神楽、中野東村神楽			巫女節舞、神楽舞	神楽舞	各地に伝わる神楽など	
		伝統行事、祭り	長岡まつり(大花火)	大風合戦(巨大な六角風) 見附まつり「樽はやし」(県で唯一)	灯ろう流し、石積み(子供の行事、 伝統の継承) とちお祭り 大名行列 ほだれ祭り(越後随一の奇祭)	大風合戦、夏祭り(民謡流し) 灯籠押し合い祭り		牛の角突き				
経済活力	特産物・地場産業		長岡米ブランド化 電子機械工業 県下2位の商業都市	ニット・織物製品	栃尾綿、てまり 杜々の社湧水(名水百選) あぶらげ(ジャンボ揚げ) 米、清酒、繊維、	大口レンコン 稲作、コシヒカリの一大産地 機械・金属工業 物流企業	有機農作物物流協定 酒造、製菓 スポーツメーカー ガス田	錦鯉 観光農園	小国和紙 体験型観光(借農地事業:八石米) ぎんなん、八石なす	金属製品(鋳)、酒、みそ、そうめん	米どころ 米菓や酒造の立地 繊維や機械工業	
	集積魅力		チャレンジショップ運営事業 自由広場ながおかホコ天	見附六斎市、今町八歳市	土地区画整理事業、若者向け賃貸住宅事業(定住政策)	IC付近に流通基地、住宅団地				土地区画整理による宅地造成で人口増加		
	労働力		長岡オフィスアルカディア	県営中部産業団地								
	イベント			Tシャツデザインコンテスト	あぶらげまつり・遊雪まつり	ジャンボおにぎり(ギネス)			牛の角突き		三島まつり(花火大会、全日本丸太早切選手権) 西山連峰登山マラソン大会	
地域特性	イメージ資源		繊維のまち 若者が定着できる産業都市		山紫水明の地、湧水 「伝説と民謡の里」 「石仏と道祖神の宝庫」 「機と綿のまち」 住みたくなるまち、住きたくなるまち	田園都市	蜜舞う里(保護運動) 越の国に通じる路という由来、 田園都市	一群一村、古志郡の山間	標高300-500mの山脈に囲まれた盆地でまさに小国	長岡のペットタウン		
	人的資源	市民、人情	時代を担う人材育成への思い:米百俵の精神(小林虎三郎) 反骨精神(河井継之助:司馬遼太郎「峠」) 大正時代に市民がお金を出し合っ てつくった悠久山公園	矢沢幸(詩)		大竹貫一(記念館) 入澤記念庭園 与茂七地蔵「今はよしあらね濡れる 身に負えど清き心は知る人ぞ知る」		坂牧善辰(漱石の「野分」のモデル)				
	著名人		山本五十六	コシノジュンコ(まちづくりアドバイザー)	上杉謙信		三波春夫					
立地条件	立地条件		県内第2の都市、城下町、中越地区の中心	県のへそ(ど真ん中)	県のほぼ中央	県のほぼ中央 川に囲まれた	越後平野の南西端	県の中央	県の中部	県の中央	県の中央	
	交通条件		交通の要衝	信越本線		高速道路のIC						
その他	行政指針	総合計画キャッチフレーズ	「個性豊かな国際文化都市」	「トータルファッションシティの創造」	「自然と人が共生する、うるおいのあるまち」	「うるおいと活力にあふれる田園都市(ふるさと)」	「人と自然にやさしい田園都市 こしじ」	「夢を集めて力に変えて新世紀(あした)に伸びる文化村・山古志!」	「人は元気 自然が薫る 小国町」	「人の和で 未来につなぐまちづくり - 人が人を育て人がまちを創る -」		
		市町村勢要覧サブタイトル	新ながおか主義 新世紀を築く「自立」と「個性」	このまちで私らしく暮らす	湧水・楽園	ひとが主役です	雪ぼたる舞う里	ぬくもりのかたち	心があたたかくなるまち小国からの手紙	未来へ。人が人を育て、人がまちを創る		
		市民活動	長岡市民センター NPO法人「地域循環ネットワーク」 他	里山の森づくり、団塊くじら、めだかの学校 他	よったかりうゑーぶ(よったかり:寄り集まるの方言) 他							

(分類は「出田肇:地域イメージの構造分析-東京都墨田区におけるケーススタディ」筑波大学受託研究員研究報告書(1992)を参考に構築)

資源抽出の参考資料

合併研究会報告書の8市町村の概要  
8市町村のホームページ  
長岡地域振興計画(新潟県地域振興調整会議)

平成14年度版長岡市市勢要覧 他 2000年見附市勢要覧 他 2001年栃尾市勢要覧 他 2003年中之島町勢要覧 他 2000年越路町勢要覧 他 山古志村勢要覧 他 2001年小国町勢要覧 他 2001年三島町勢要覧 他

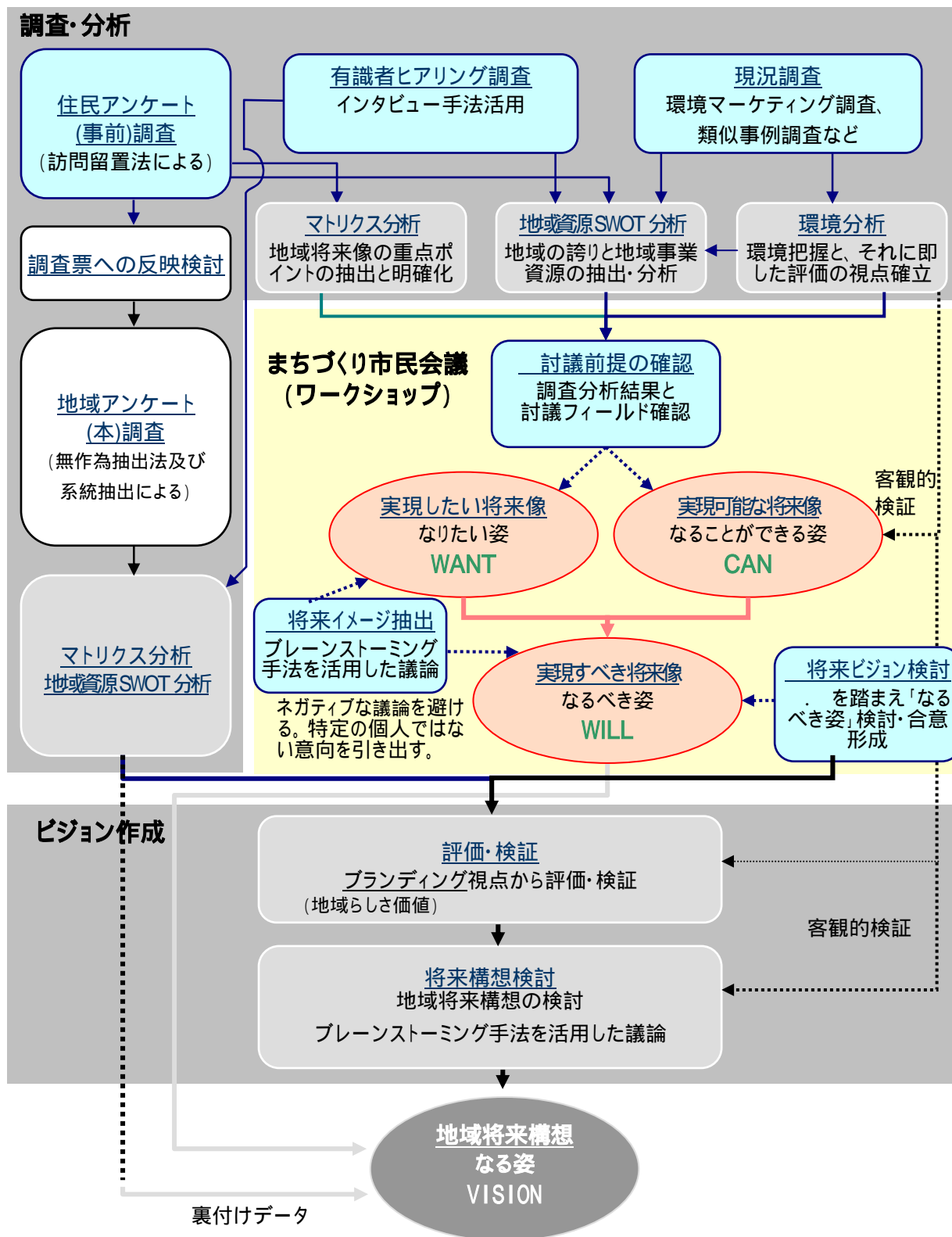


地域アンケート調査実施に向けての  
事前調査(住民アンケート)結果  
及び経過資料  
(要旨)

2003.4.8  
長岡地域任意合併協議会事務局

# 1. 新市将来構想策定手法の流れ

新市将来構想は、以下のような調査や分析により作成します。



## 2. 住民アンケート調査（事前調査）実施概要

### (1) 調査目的

新市将来構想にあたって、地域の総意ではないが、一般住民の各属性（性別、年齢、地域）の志向を把握することにより、本調査（地域アンケート調査）の際の問題点提起（自由記述を分析した本調査票設計への反映）とワークショップでの議題（客観データ）を提供することを目的として実施する。

### (2) 調査方法（訪問留置調査）

調査員が直接対象者のお宅を訪問し、調査趣旨、内容の説明をする。調査票は後日回収する旨を伝え調査票を留置き対象者に記入してもらう。回収時、その場で調査票の点検をし、不備を訂正、調査票を回収する。

### (3) 対象者およびサンプル数と抽出方法

対象市町村居住の住民を対象とする。

調査カテゴリーは、男女別、年齢別（20代、30・40代、50代以上）、市町村別とする。抽出は、エリアサンプリング法とし各カテゴリーを5人とする。

調査対象者数は、2(男女別) × 3(年齢別) × 8(市町村) × 5人 = 240人とした。

抽出方法はエリアサンプリング法とし、次のように抽出した。

各市町村5地区(1サンプル×6属性)で偏りがないように設定。

乱数を発生させ、選ばれた町字を抽出。

(\*地域数については、調査期間内で終われる地域数として5地区に区分した。)

### (4) 実施時期

平成15年3月下旬

### (5) 調査内容及び調査結果(要旨)

属性別の市町村合併に関連する考え方、問題点、要望事項、改善点、行政に対する意見などの収集。



## 調査対象者の属性

居住市町村	実数	%
長岡市	30	12.4
見附市	30	12.4
栃尾市	31	12.8
中之島町	30	12.4
越路町	30	12.4
三島町	30	12.4
山古志村	30	12.4
小国町	31	12.8

勤務・通学先市町村	実数	%
長岡市	80	33.1
見附市	19	7.9
栃尾市	24	9.9
中之島町	9	3.7
越路町	14	5.8
三島町	18	7.4
山古志村	16	6.6
小国町	12	5.0
その他	25	10.3
無回答	25	10.3

職業	実数	%
農業・林業・漁業	14	5.8
鉱業	1	0.4
建設業	20	8.3
製造業	36	14.9
卸売・小売・飲食業	38	15.7
金融・保険・不動産業	4	1.7
運輸・通信業	12	5.0
サービス業	35	14.5
公務	14	5.8
その他の有識者	11	4.5
主婦	30	12.4
学生	5	2.1
無職	13	5.4
その他	8	3.3
無回答	1	0.4

就業形態	実数	%
会社員(常勤被雇用者)	102	42.1
パート・アルバイト	32	13.2
会社役員・経営者	3	1.2
公務員	11	4.5
自営	35	14.5
家族従業者	8	3.3
家庭内職者	4	1.7
就業していない	41	16.9
無回答	6	2.5

性別	実数	%
男	121	50.0
女	121	50.0

年齢	実数	%
20歳代	81	33.5
30歳～40歳代	81	33.5
50歳以上	80	33.1

現在市町村居住年数	実数	%
5年未満	16	6.6
5～9年	11	4.5
10～19年	27	11.2
20～29年	80	33.1
30年以上	105	43.4
無回答	3	1.2

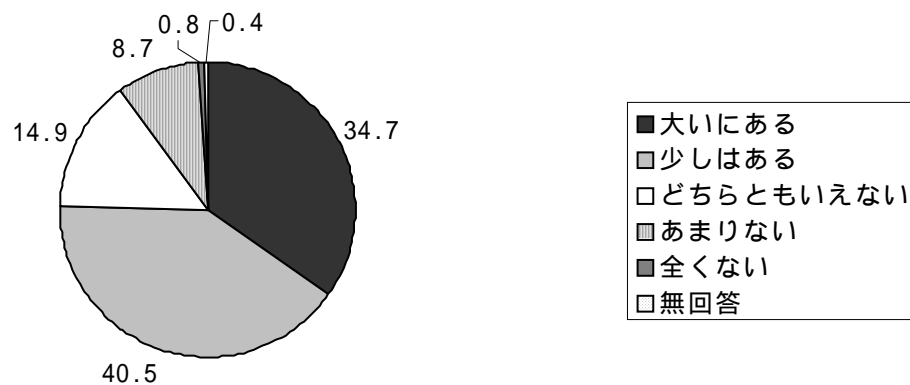
家族構成	実数	%
単身	6	2.5
夫婦(子供なし)	15	6.2
親子(2世代)	116	47.9
親子孫(3世代)	101	41.7
その他	1	0.4
無回答	3	1.2

栃尾市、小国町については予備票として収集した票についても集計した。

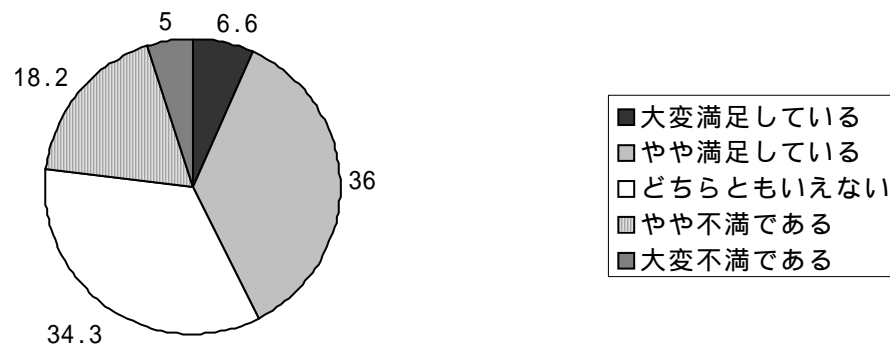
### 結果要旨

- 「地域に対する愛着は高く、現在の行政サービスに対する満足も一定あり、今後への期待もそれなりにある」という、今後の新たな地域行政展開に向けて、好ましい結果が出たといえる
- 世代による回答傾向差は高くなく、若い世代の愛着・期待も十分にある

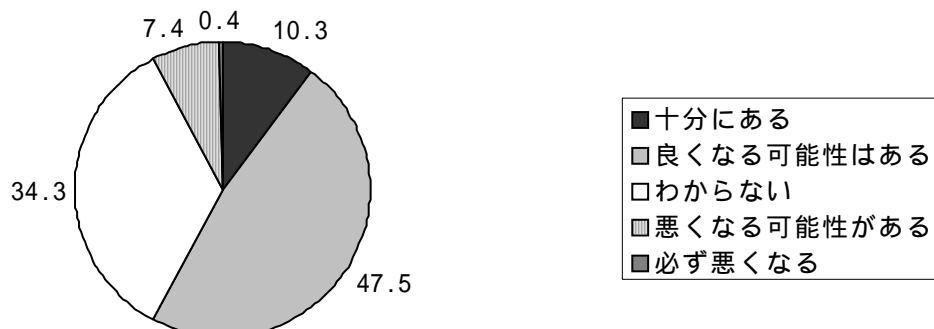
1-1 お住まいの地域または市町村に、愛着や誇りはありますか(%)



1-2 市町村のあり方や行政サービスに満足していますか(%)



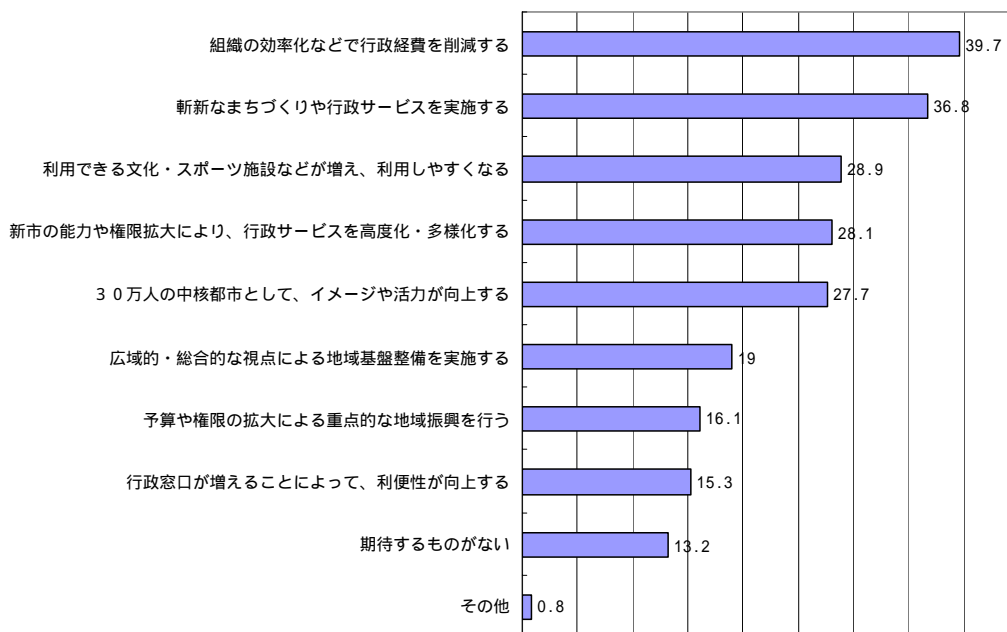
1-3 もっと良くなる可能性は(%)



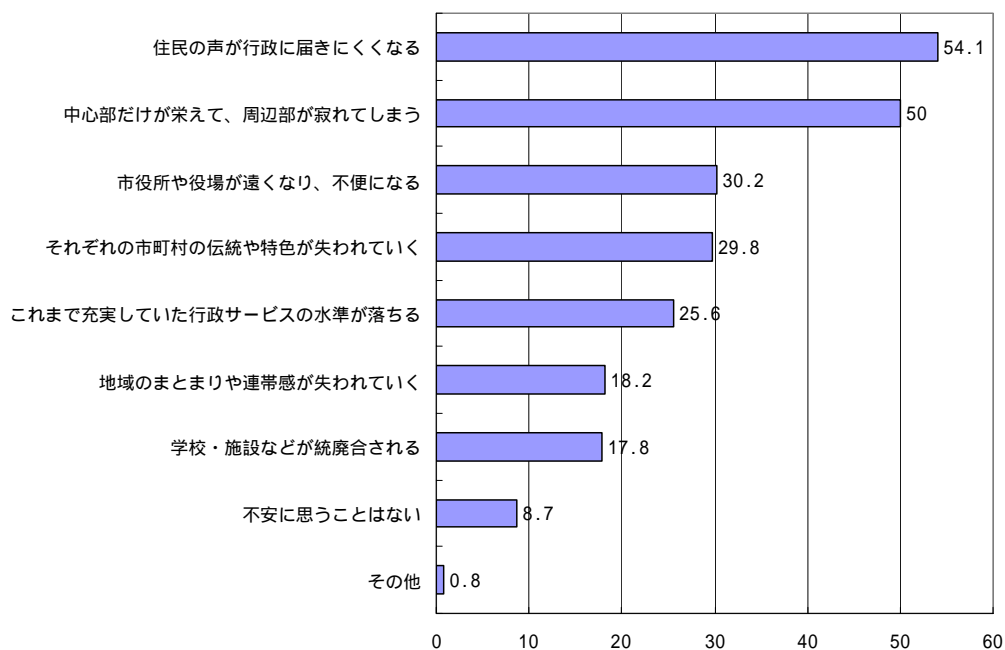
### 結果要旨

- 期待するものは「組織の効率化などで行政経費を削減する」「斬新なまちづくりや行政サービスを実施する」ことであり、旧来の市町村のやり方にこだわらない改革や新鮮な活動を求めている
- 不安は「住民の声が行政に届きにくくなる」「中心部だけが栄えて、周辺部が寂れてしまう」こと。将来構想策定に関しては、この不安を払拭するためにも、行政への住民の声の反映や参加の保障、および市中心部だけでなく周辺部にも配慮したきめ細かな考察が必要となる
- 「住民の声が行政に届きにくくなる」不安は、長岡市以外での回答が高く、「中心部だけが栄えて、周辺部が寂れてしまう」不安は、長岡市と三島町以外での回答が高い

2-1 合併に際し、期待すること(%)

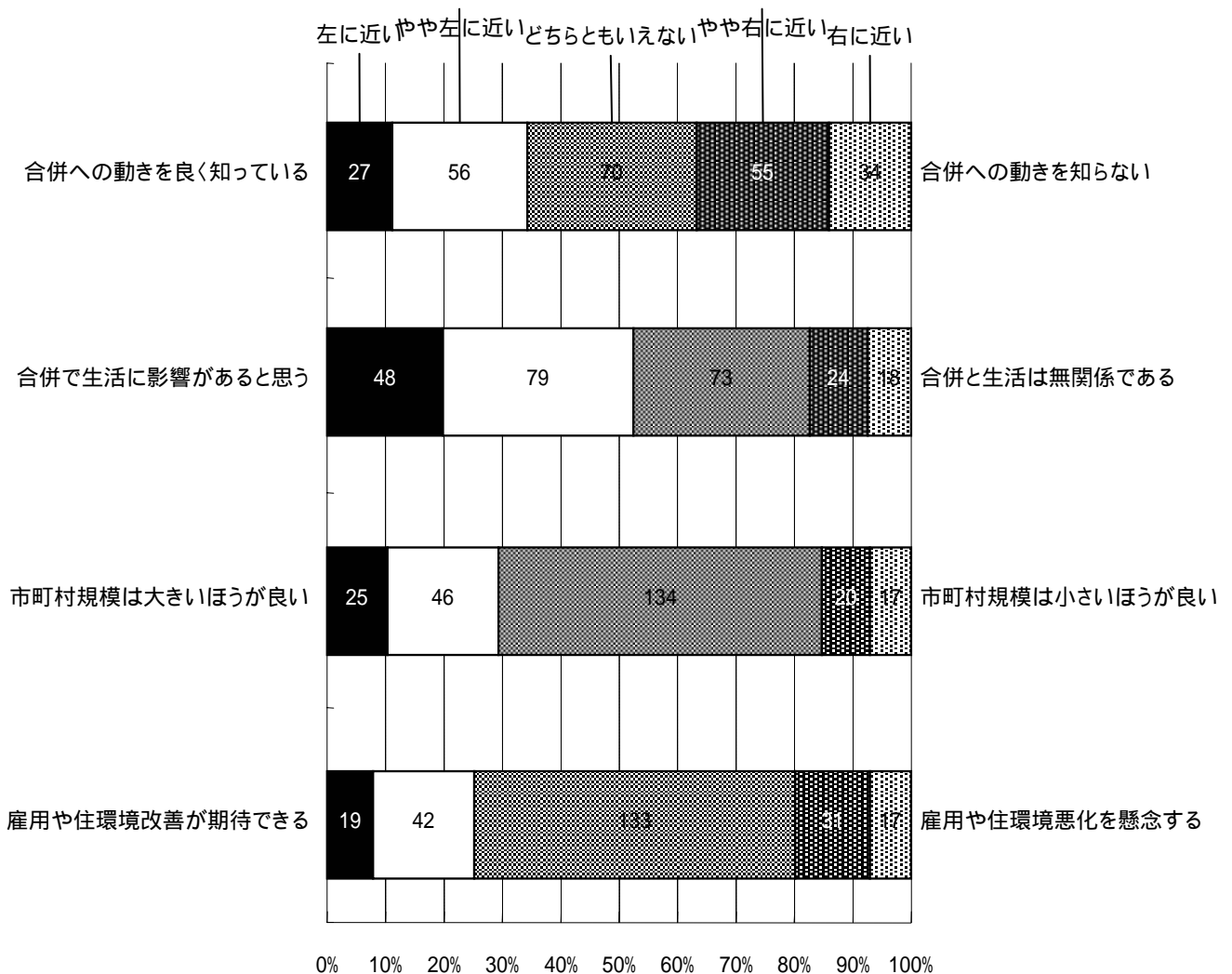


2-2 合併に際し、不安に思うこと(%)



結果の要旨

- 左右項目対比による「合併に対する認識」設問についての回答は分散し、いずれの回答も特に偏りのあるものとはならなかった
- 加重集計結果は、設問順に、「3.05」「2.52」「2.83」「2.94」（数値が大きいほど右の項目に近い）であり、ほぼ中間値となっている
- 市町村規模および雇用・住環境変化に関する設問には、半数以上が「どちらともいえない」の回答であり、立場のはっきりした住民はそれほど多くないことが伺える
  - （特に合併認識別のクロス集計分析は必要ないとも考えられる）
- 若い世代、女性ほど合併への動きに対する認識が低い
  - 今後の広報・啓発施策の重点ポイント



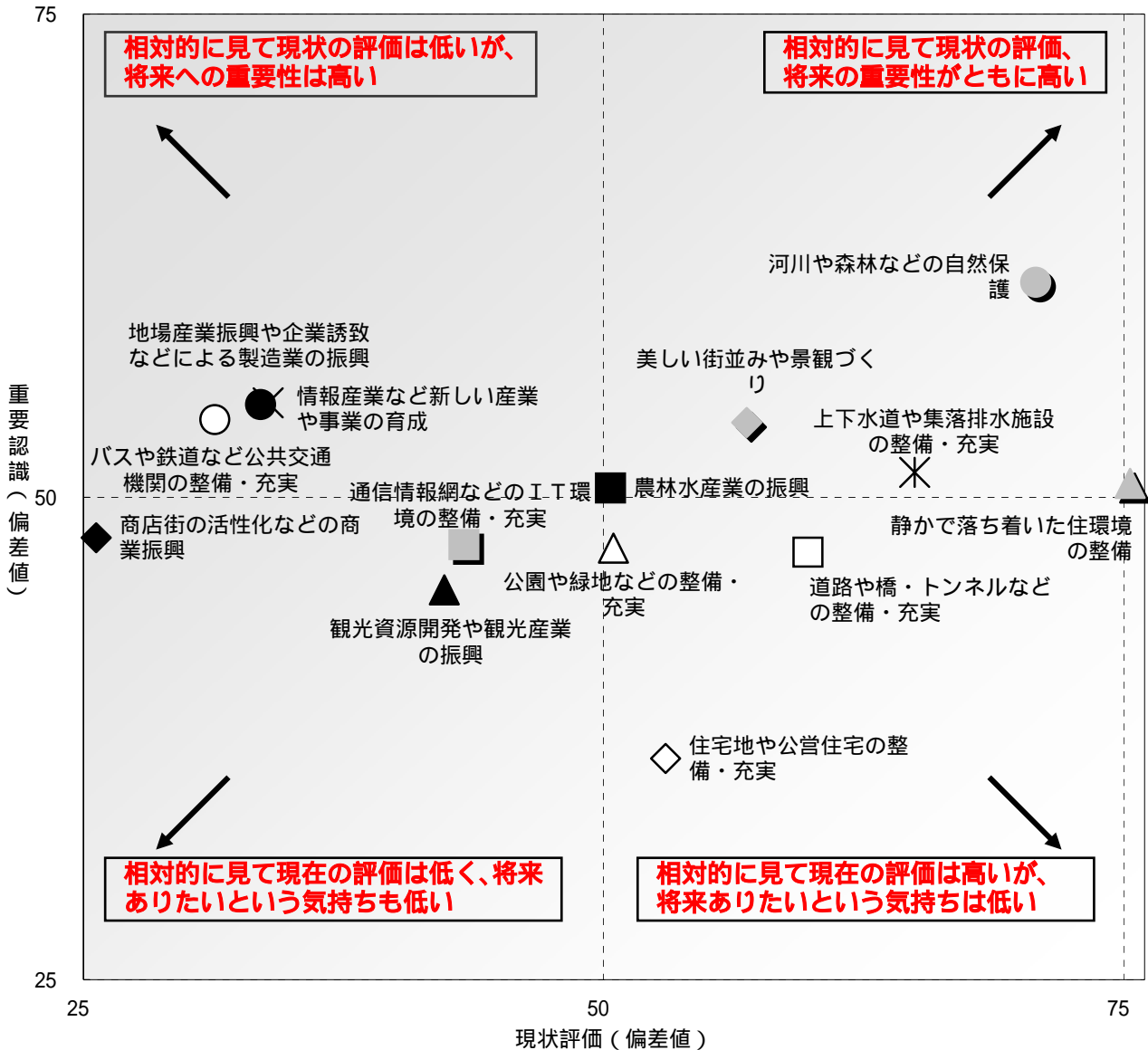
### 個別行政テーマのマトリクス分析総合表

- 個別行政テーマの現状評価と今後の重要性認識を偏差値で示し、4つに分類すると以下のようになる  
 （課題度 = 重要性認識と現状評価の偏差値差 = 数値が大きいほど、そのギャップが大きい = 課題度大）

	現状の弱み			現状の強み				
	課題事項	現状評価	重要認識	課題度	強みを伸ばす	現状評価	重要認識	課題度
重要	地域医療体制の整備・充実・高度化	45.0	72.7	27.8	安全で安心できる防犯・防災対策	58.5	67.4	8.9
	バスや鉄道など公共交通機関の整備・充実	31.3	54.0	22.7	ごみの回収・分別・リサイクル化	55.2	62.6	7.3
	地場産業振興や企業誘致などによる製造業の振興	33.5	54.8	21.3	生活習慣病の予防や健康づくり活動の促進	54.0	55.9	1.9
	情報産業など新しい産業や事業の育成	33.9	54.9	21.0	保育所や幼稚園の整備を始めとする子育て支援施策	54.5	55.4	0.9
	道路やバリアフリーの推進	39.6	57.9	18.3	農林水産業の振興	50.3	50.5	0.1
	老人・障害者福祉施設の整備・充実	49.9	66.5	16.6	美しい街並みや景観づくり	56.9	53.9	-3.0
	老人や障害者に対する在宅サービスの充実	49.8	62.6	12.8	河川や森林などの自然保護	70.8	61.1	-9.7
	プライバシーや個人情報保護	48.9	55.2	6.3	上下水道や集落排水施設の整備・充実	64.9	51.3	-13.7
	公害防止や省エネルギー化への取り組み	48.9	53.4	4.5	静かで落ち着いた住環境の整備	75.3	50.7	-24.6
	学校教育の施設整備や教育内容の高度化・充実	47.2	51.4	4.3				
非重要	弱みを克服する	現状評価	重要認識	課題度	特に問題なし	現状評価	重要認識	課題度
	商店街の活性化などの商業振興	25.6	47.9	22.3	公園や緑地などの整備・充実	50.5	47.3	-3.1
	通信情報網などのIT環境の整備・充実	43.3	47.5	4.2	スポーツ施設の整備充実やスポーツ振興	50.3	38.8	-11.5
	観光資源開発や観光産業の振興	42.3	45.2	2.8	市町村の情報公開や広報活動	54.1	41.6	-12.5
	生涯教育などの学校教育以外の地域教育の推進	47.6	43.0	-4.5	道路や橋・トンネルなどの整備・充実	59.8	47.1	-12.7
	大学などの高度教育・研究機関の充実	46.4	37.9	-8.6	地域の伝統継承や文化財の保護	57.1	44.1	-13.0
	市町村施策の企画運営に対する住民参加の推進	48.4	36.5	-11.9	男女平等・男女参画社会の推進	51.4	37.8	-13.6
	公共文化施設の整備・充実や文化振興	49.3	36.3	-13.0	コミュニティ活動やボランティア活動の支援	52.0	37.2	-14.8
					住宅地や公営住宅の整備・充実	53.0	36.5	-16.5
					海外との交流拡大や地域の国際化の推進	50.6	33.3	-17.3

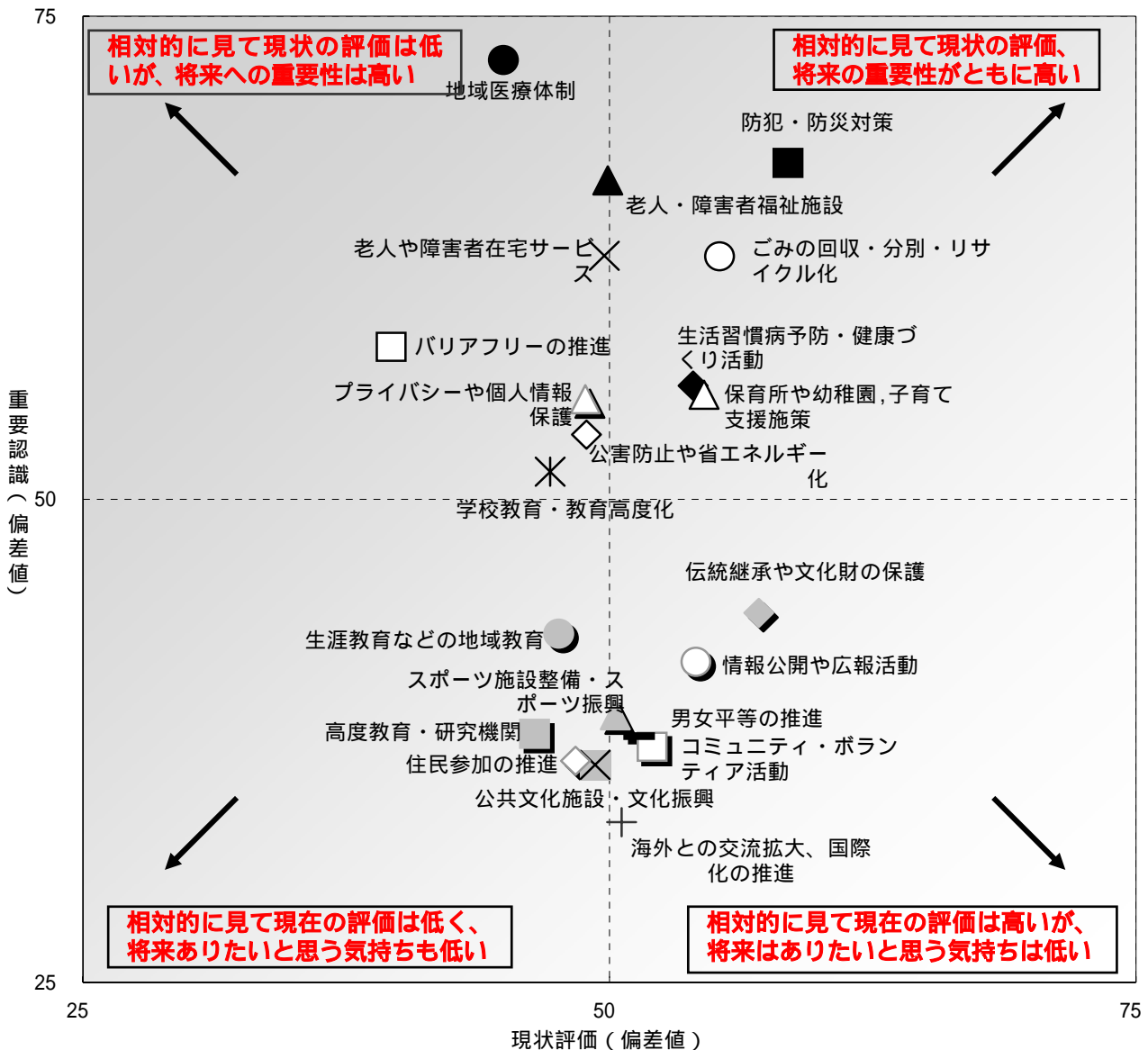
結果の要旨

- 前頁で示した個別行政テーマのうち、産業振興とハード系のインフラテーマをマトリクス図表で示すと以下ようになる（前記・総合表参照。偏差値は行政テーマ 35 項目全体を母集団とした偏差値処理）
- 最も重要だとされたのは、「河川や森林などの自然保護」。現在評価も高いため、その課題度はマイナス 9.7 となる。現在の市町村での施策を基本的に継続し、現状を維持・向上する（強みを伸ばす）ことが求められる。逆に言えば、新しい対策が急務というものではない
- 「美しい街並みや景観作り」「上下水道や集落排水施設の整備充実」についても同様である
- 新しい対策が必要なものは、現状評価が低く、今後の重要度が高いものであり、課題度順にあげると、「バスや鉄道など公共交通機関の整備・充実」「地場産業振興や企業誘致などによる製造業の振興」「情報産業など新しい産業や事業の育成」となる



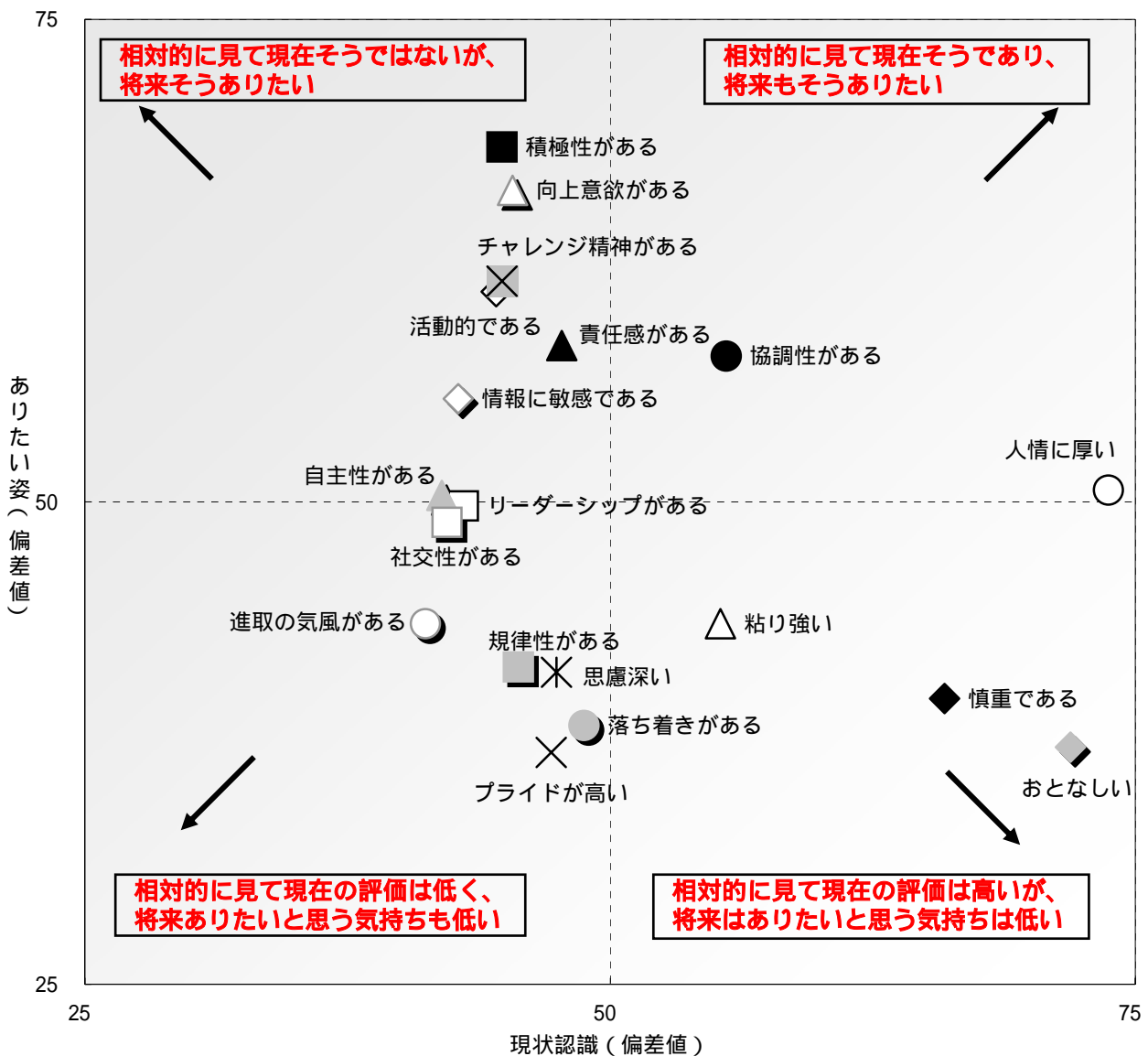
結果の要旨

- 前々頁で示した個別行政テーマのうち、ソフト系および行政運営に関するテーマをマトリクス図表で示すと以下ようになる（前記・総合表参照。偏差値は行政テーマ35項目全体を母集団とした偏差値処理）
- このうち、右上の領域にある「安全で安心できる防犯・防災対策」「ごみの回収・分別・リサイクル化」「生活習慣病の予防や健康づくり活動の促進」「保育所や幼稚園の整備を始めとする子育て支援施策」については、強みを伸ばす重点テーマとして、現状の維持・強化が望まれているといえる
- 左上領域の「地域医療体制の整備・充実・高度化」を始めとする「バリアフリーの推進」「老人・障害者福祉施設の整備・充実」「老人や障害者に対する在宅サービスの充実」「プライバシーや個人情報保護」「公害防止や省エネルギー化への取り組み」「学校教育の施設整備や教育内容の高度化・充実」は、現状評価が低く、今後の重要度が高いものであり、新しい対策が必要となる
- 全体的に重要とされているのは、医療・福祉・教育および環境関連テーマが中心になっているといえる



結果の要旨

- 2次元マトリクス上の位置から、以下のことがわかる
  - 現在そうであり、将来もそうありたい = 「人情に厚い」「協調性がある」
  - 現在はそうではないが、今後そうなりたい = 「積極性がある」「向上意欲がある」「チャレンジ精神がある」「活動的である」「情報に敏感である」「責任感がある」「自主性がある」
  - 現在そうであるが、将来はそうありたいとあまり思わない = 「粘り強い」「慎重である」「おとなしい」
- それぞれの「ありたい姿」と「現状認識」の対比で、大きなギャップのあるのは「積極性がある」「向上意欲がある」「チャレンジ精神がある」「活動的である」の4項目となる
- 「人情に厚く協調的である」というという特性を伸ばしつつも、現在の「おとなしく慎重で粘り強い」姿から「(将来に向かって)積極的かつチャレンジングに活動する」姿へ自己変革したいという意向が表れている。このことは、新市の今後のあり方においても重要な地域パーソナリティの方向性となる

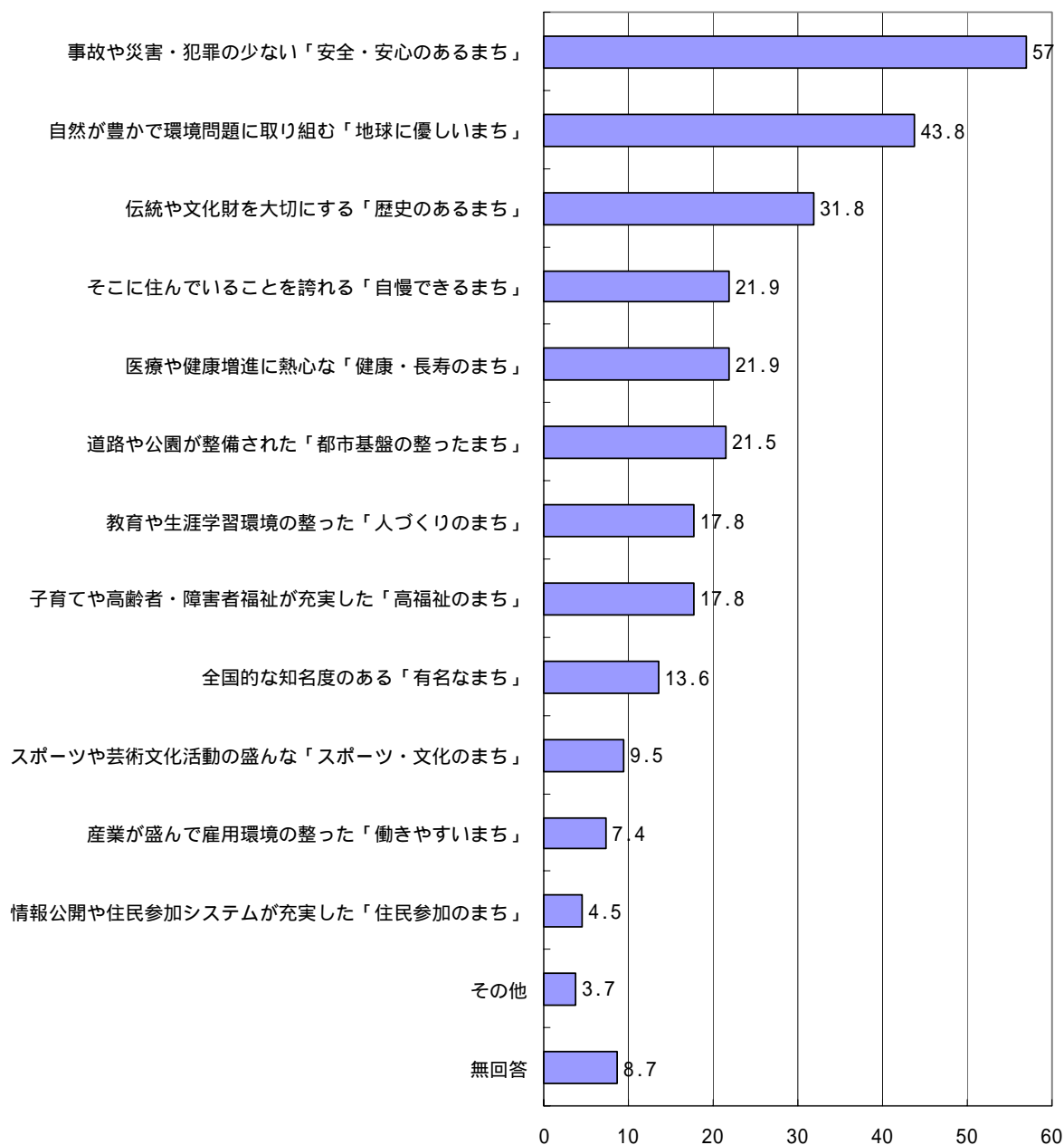




### 結果要旨

- 現在居住する市町村は、「安全・安心のあるまち」であり、続いて「地球に優しいまち」という認識を多くの住民が持っている
- 市町村別のトップはいずれも「安全・安心のあるまち」だが、第2位は以下のように異なっている
  - 長岡市 = 都市基盤の整ったまち    見附市 = 都市基盤の整ったまち・地球に優しいまち
  - 栃尾市 = 地球に優しいまち       中之島町 = 歴史のあるまち
  - 越路町 = 歴史のあるまち       三島町 = 地球に優しいまち
  - 山古志村 = 地球に優しいまち    小国町 = 地球に優しいまち

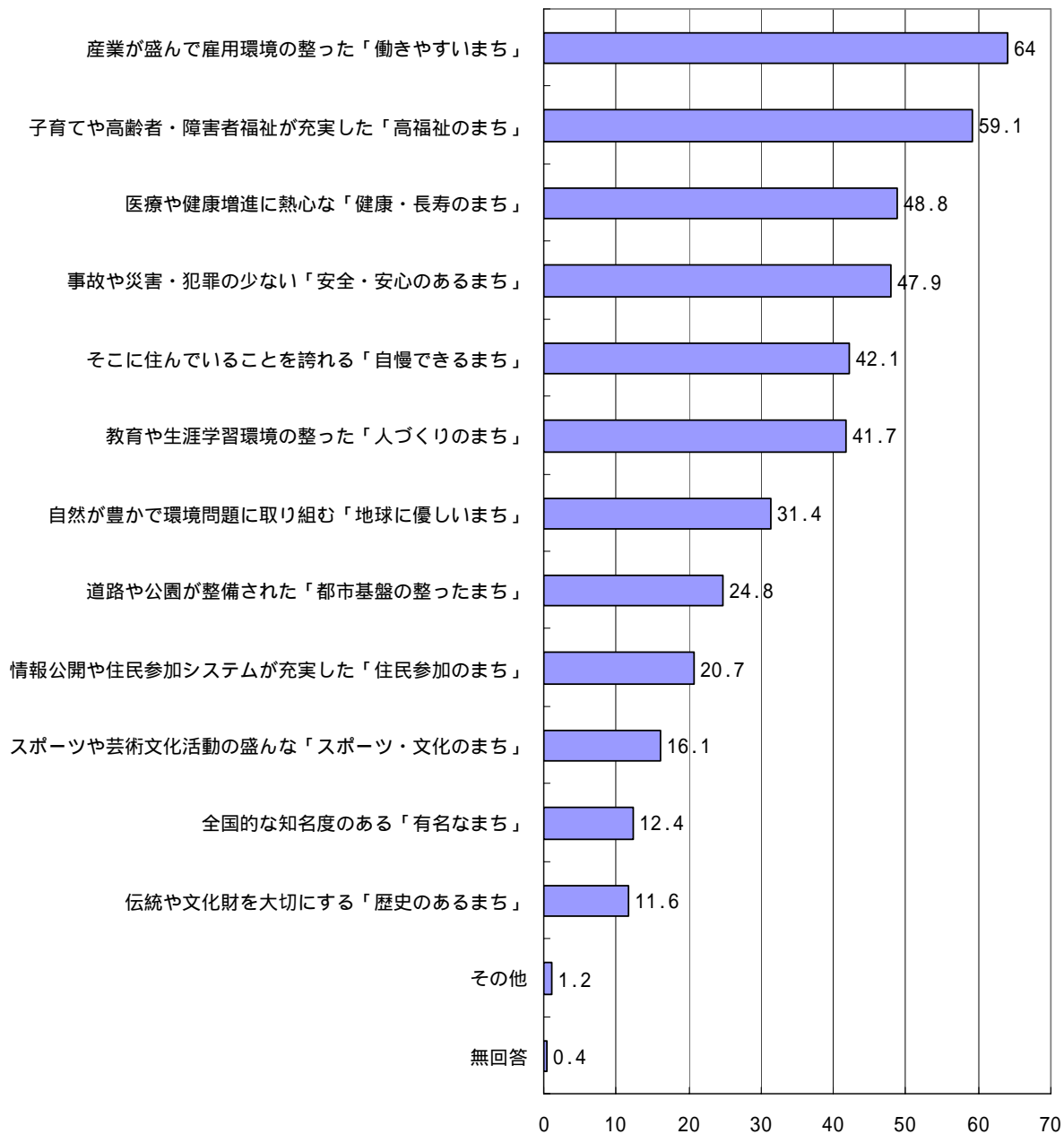
5-2-1 現在の市町村にあてはまる特徴(%)



### 結果要旨

- 今後ありたい姿は、「働きやすいまち」「高福祉のまち」であり、続いて、「健康・長寿のまち」「安全・安心のあるまち」が続いており、多くの市町村の1・2位も、この上位4項目の中にある
- ただし、山古志村では「人づくりのまち」が、「働きやすいまち」と並んで同率トップであり、長岡市では「地球に優しいまち」が第二位となっている
- 将来像として、まずは産業振興・雇用環境整備による働きやすさを求めるものの、基本的には「高福祉、健康・長寿、安全・安心」といった「平穏かつ安定的な暮らし」を求めていると考えられる

5-2-2 新市のあるべき姿(%)

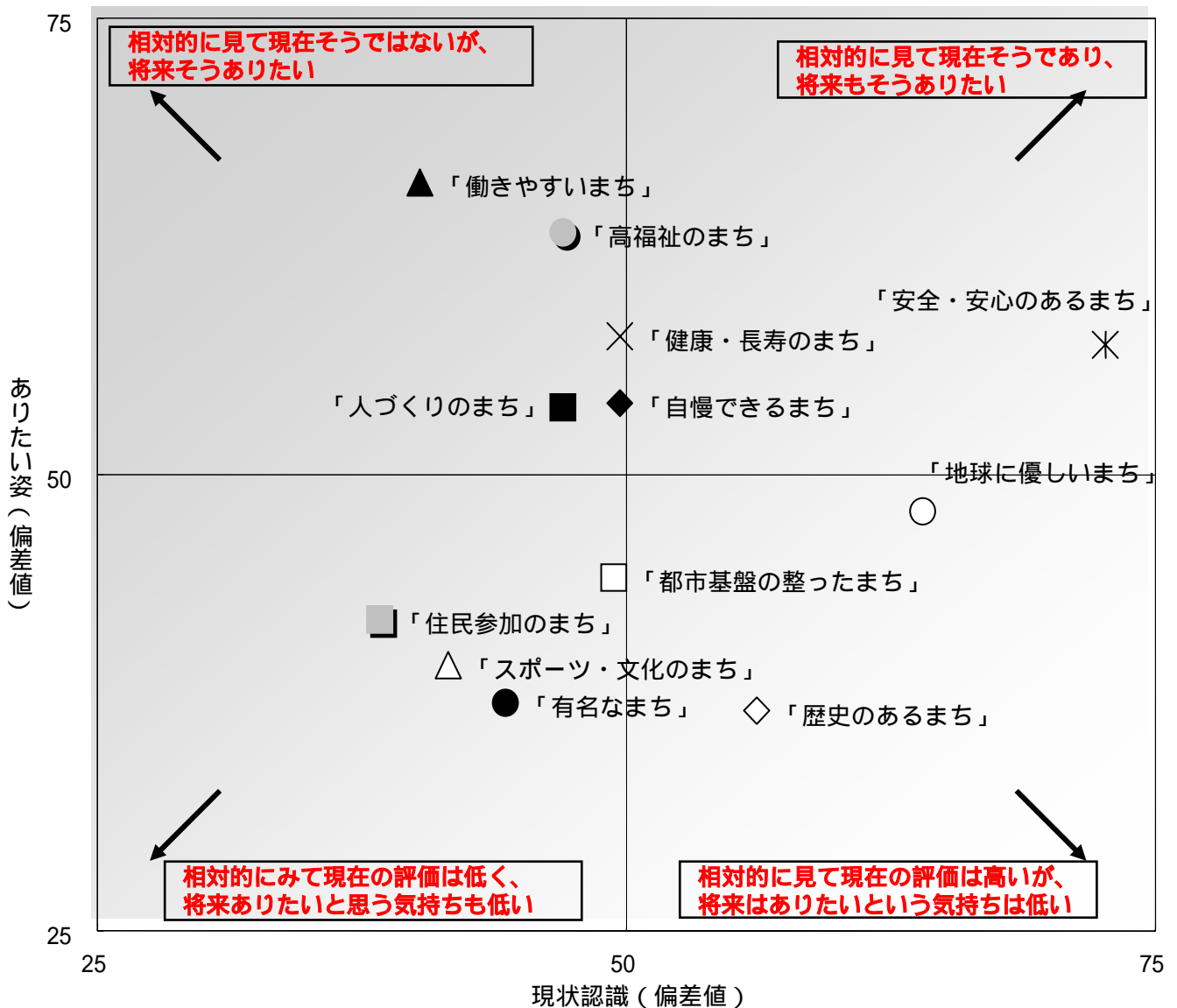


### マトリクス分析の方法

- 地域の現状認識とありたい姿の回答率を、それぞれ偏差値処理(50が中間値となる)
- 現状認識を横軸、ありたい姿を縦軸として、2次元マトリクスとして示す(下の図表)

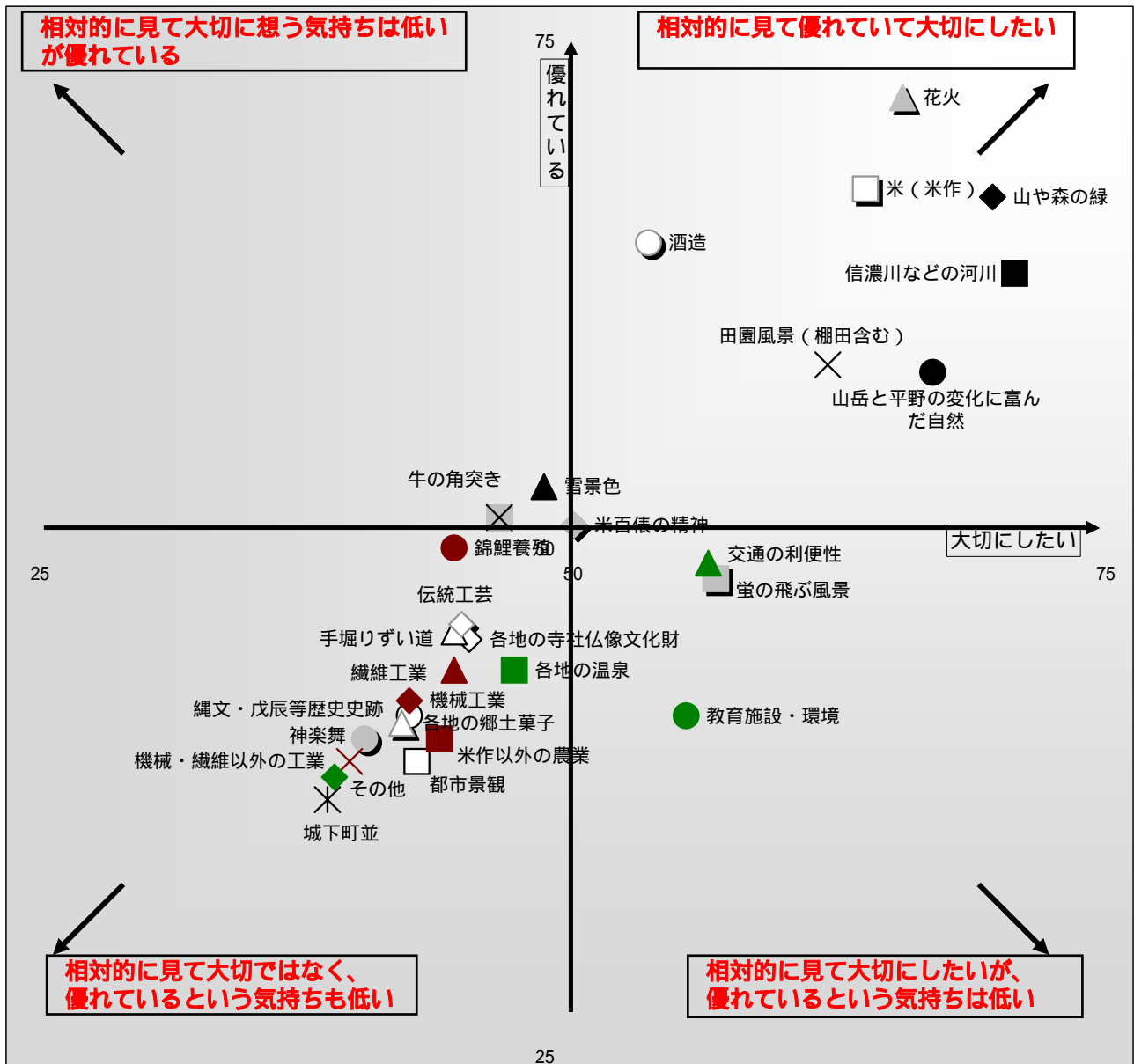
### 結果の要旨

- 2次元マトリクス上の位置から、以下のことがわかる
  - 現在そうであり、将来もそうありたい姿 = 「安全・安心のあるまち」
  - 現在はそうではないが、今後そうなりたい姿 = 「働きやすいまち」「高福祉のまち」「健康・長寿のまち」「人づくりのまち」「自慢できるまち」
- それぞれの「ありたい姿の偏差値」と「現状認識偏差値」を対比させると、大きなギャップのあるのは「働きやすいまち」「高福祉のまち」であり、その実現は今後に向けて大きな課題となる

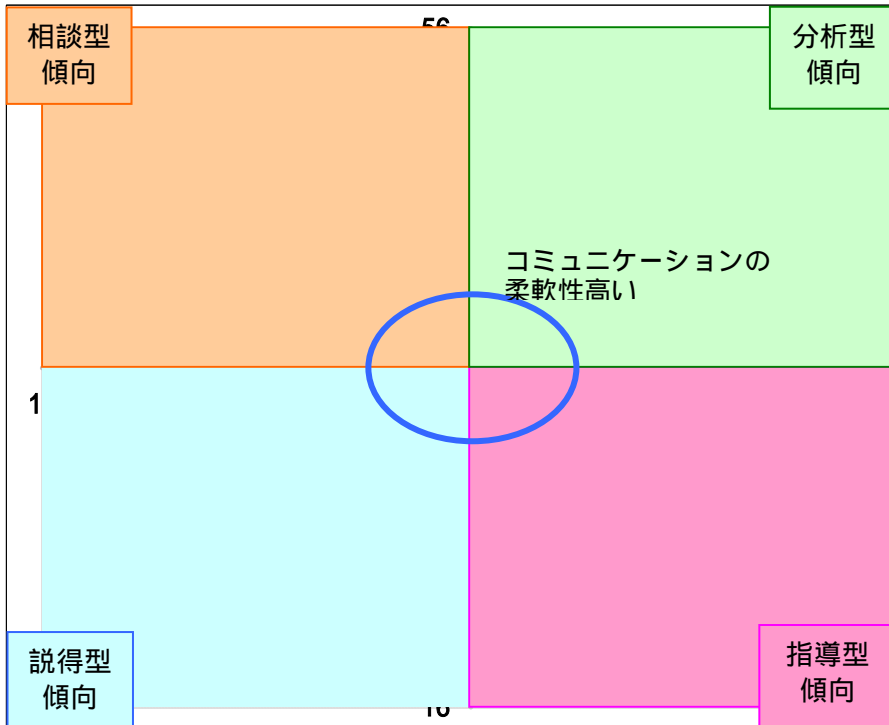


結果の要旨

- 主要な地域資源について、住民にとって大切なものと、他の地域に比べて優れているものは、ほぼ一致している（強い正の相関関係がある）
  - 地域住民の意向に即した地域発展のための資源となりうるものは、「花火」「米（米作）」「山や森の緑」「酒造」「信濃川などの河川」「田園風景（棚田含む）」「山岳と平野の変化に富んだ自然」がある
  - 「交通の利便性」「蛍の飛ぶ風景」「教育施設・環境」は、特に優れてはいないかもしれないが、地域住民にとっては大切なものであり、今後も維持・充実させるものとしてある
  - 「雪景色」「牛の角突き」は、地域住民にとっての価値はそれほど大きくはないが、優れたものとして、今後の観光を始めとする地域振興の資源となる可能性がある



### 地域のコミュニケーションプロフィール(全国的評価・得点累積)



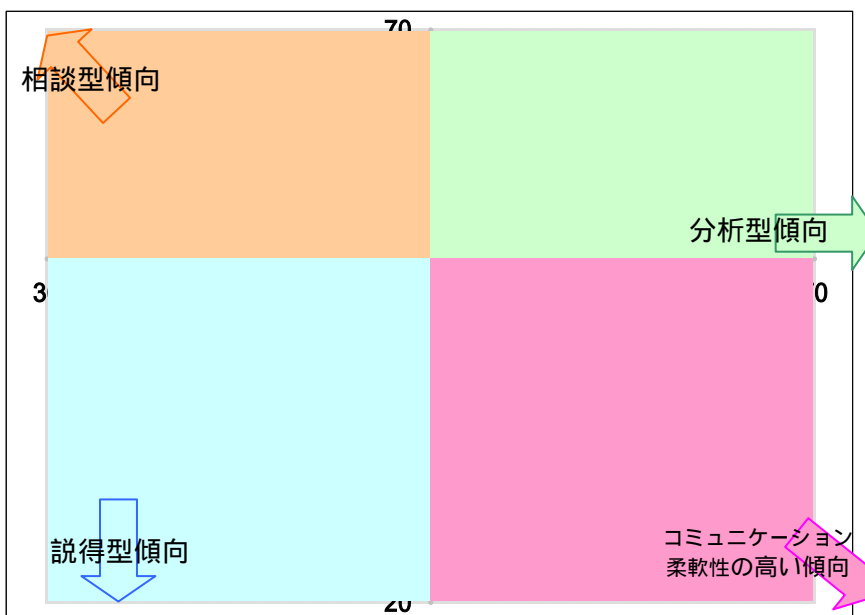
#### 結果の要旨

現時点までの大まかな分析結果を見ると、長岡地域の全体傾向は、次ページのプロフィール分析例から相談型であると判断される。

一方で地域間でのコミュニケーションプロフィールには開きが認められ、次のような地域差がある。

- コミュニケーション柔軟性高い傾向
  - …越路町
- 分析型傾向
  - …中之島町、見附市、長岡市
- 相談型の強い傾向
  - …山古志村、三島町、小国町
- 中間的…栃尾市

### プロフィールの地域特性(地域間評価・偏差値評価)



#### 構想に向けた考え方

マインドビジョン等の構想に活かすべきコミュニケーションプロフィールから導かれる特性は次の2点が想定される。

地域内における自己改革目標…協調性や柔軟性を活かしつつも、理論的な計画目標を定め、陳情的なコミュニケーションを是正して、意志的な発言や行動を重視した組織的な物事の進め方を明確化する。

対外的な訴求目標…堅苦しさがなく、親しみやすく、また競争心をあおったりする攻撃性がない地域の人間性、結論よりもプロセスを重視するなどの協調柔軟性を、地域資源の活かし方や対外的なコミュニケーション等に考慮して行く。

## 【コミュニケーション・プロフィールの例示】

相談型.....和や協調・柔軟性を重んじ、他の人へは援助的です。人との関わりも苦しさがなく親しみやすく、競争心を煽ったり、脅威を与えないので、人から受け入れられやすいタイプと言えます。仕事を進めるうえでも対立をなるべく避けて同意的でイニシアチブを他に与えながら成果を上げようと努めます。また、人の心や感情を大切にする一方、目標を立てたり、理論的に計画性をもって、組織的な物事の進め方をするのが苦手な面がある場合もあります。

分析型.....このタイプは思慮深く、対立や競争を好まない傾向が強く、物静かな印象を与えます。また、人の感情や気持ちよりも調査・分析といった実証的な理論を好むために一見冷たい人のように誤解される面もあります。しかし、誠実にデータを集めて課題解決にあたらうとする態度が信頼を集めます。また、慎重さゆえに行動のチャンスを逸してしまい、ストレスを高めることもあるため、おおらかにリラックスすることが成功の鍵ともなります。

説得型.....社交的でダイナミックなコミュニケーションを持つひとのグループです。肩のこらない友好的な面が周囲から受け入れられ、喜ばれます。インスピレーションやアイデアが豊富で、直ちに行動に移したり、表現するために刺激的な印象を与える反面、時に押し付けや独断となり、コミュニケーションの障害となることがあります。また、仕事や人間関係で認められるために競争的になり過ぎたり、イニシアチブをとることに急いで失敗することがあります。結論を急ぐよりもプロセスを楽しむゆとりが加わると、良い面が更に生かされます。

指導型.....行動的、活動的でテンポの速いコミュニケーションを志向する人です。ことに意志決定が速く、短時間で物事を処理する能力に長けています。しかし、相手のペースが遅かったり、予定時間に終わらないなど、コントロールできないときに苛立ったり、落ち込んだりします。一方、イニシアチブ、リーダーシップというキーワードに敏感で、特に集団の中での役割意識が強く、また、その立場から権威をもって行動します。ときとして、先を急ぐあまり、人の気持ちや感情の動きに鈍く、他の人々の話をじっくり聞き、耐えるという点において不十分となる場合もあります。

チャートの中心円.....コミュニケーションスタイルの柔軟性が高いタイプです

## 調査結果のまとめ

### 地域住民の基本スタンス

- 8市町村住民の地域への愛着は高く、現在の行政サービスに対する満足も一定あり、今後への期待も高い
- 合併や市町村のあり方に対して、立場性のはっきりした住民は少なく、ニュートラルな状態にある

### 合併新市に求める行政のあり方

- 基本的に住民は、現在の「安全・安心」を維持し、「平穏かつ安定的な暮らし」を求めていると考えられる
- 今後も、「人づくり」「地球に優しい」などの各市町村の地域特性を活かし、中心部のみの発展ではなくバランスの取れたまちづくりと、きめ細かな住民サービスを維持する必要があると考えられる
- 今後の課題は、「働きやすく高福祉のまち」を斬新かつ新しい施策展開によって、実現することにあると考えられる
- 具体的な個別行政テーマの展開としては、以下の要望がある
  - 現行施策の継続強化によるもの  
「自然保護」「街並み景観作り」「上下水道整備」「防犯・防災対策」「ごみ回収・分別・リサイクル化」「健康づくり活動」「子育て支援施策」
  - 新しい対策が必要な課題事項  
「公共交通機関の整備・充実」「製造業の振興」「新しい産業や事業の育成」「地域医療体制の整備」「バリアフリーの推進」「老人・障害者福祉施設整備」「在宅福祉サービスの充実」「個人情報保護」「公害防止や省エネルギー化」「学校教育の整備・高度化・充実」
  - 前述した求めるまちの姿に即し、産業振興と同時に、医療・福祉・教育・環境関連の充実が求められる傾向にある

### 地域資源の評価と活用

- 地域資源として活用すべきものは、以下の通り
  1. 維持・活用すべきもの  
「花火」「米(米作)」「山や森の緑」「酒造」「信濃川などの河川」「田園風景(棚田含む)」「山岳と平野の変化に富んだ自然」
  2. 維持すべきもの(1項に加えて)  
「交通の利便性」「蛍の飛ぶ風景」「教育施設・環境」
  3. 地域振興に活用すべきもの(1項に加えて)  
「雪景色」「牛の角突き」

### 合併新市に求めるパーソナリティ特性及び地域プロフィール

- 「人情に厚く協調的である」という特性を大切にしつつも、現在の「おとなしく慎重で粘り強い」姿から「(将来に向かって)積極的かつチャレンジングに活動する」姿への変革を求めている
- 現状の自己を冷静に分析・理解している。
- 現在の性格的な価値を認めながら、自己変革の意向を生かしたビジョン構築を考えていく。

### 本資料の留意点

- これまでの結果は、あくまでも事前アンケート調査の結果を、分析方法紹介例として明らかにしてものであるため、即座に最終評価とはならないことに留意していただく必要がある。
- 将来ビジョン構築には、調査票にある実態の言葉のみの側面に留まらない意味性の汲み上げが必要であるため、言葉 = ビジョンではないことを、理解していただく必要がある。

# 地域アンケート調査（本調査）概要

## (1) 調査目的

- “地域の総意”としての一般住民の意向を把握する。
- 将来構想素案作成時の裏付けデータとしての活用を図る。
- 合併協議の進捗をアナウンスする広報手段としての効果を考慮する。

## (2) 調査方法 (郵送調査)

調査対象者を構成市町村が住民基本台帳より無作為抽出法及び系統抽出法により抽出し、調査票を直接対象者に郵送、対象者が記入済み調査票を返送する。

## (3) 対象者およびサンプル数

対象市町村居住の住民を対象とし、母集団は約 30 万人(合併後人口規模)、有効回答数 3500 サンプル、発送数 7000(回収率 50%想定)と設定する。実際の配布については、合併前各市町村人口構成比を基本とした2段階抽出法による。(各市町村ごとにおける標本抽出率設定では、経済性の乖離が大きくなるため。)

サンプル数は、有効サンプルが多くなるように丸めた数字。

相対誤差	0.2	
信頼度	1.96	信頼度 95%
カテゴリー数	36	$a \times b$
母集団(N)	300000	
設問数(a)	12	
選択肢(b)	3	
標本抽出率(r)	0.011081	
有効サンプル数(n)	3324.154	$N \times r$
配布サンプル数	6648.308	$n/0.5$

市町村	人口(人)	人口構成比(%)	配布数(枚)
長岡市	193,414	63.2	4,425
見附市	43,526	14.2	996
栃尾市	24,704	8.1	565
中之島町	12,804	4.2	293
越路町	14,271	4.7	327
三島町	7,618	2.5	174
山古志村	2,222	0.7	51
小国町	7,389	2.4	169
合計	305,948	100	7,000

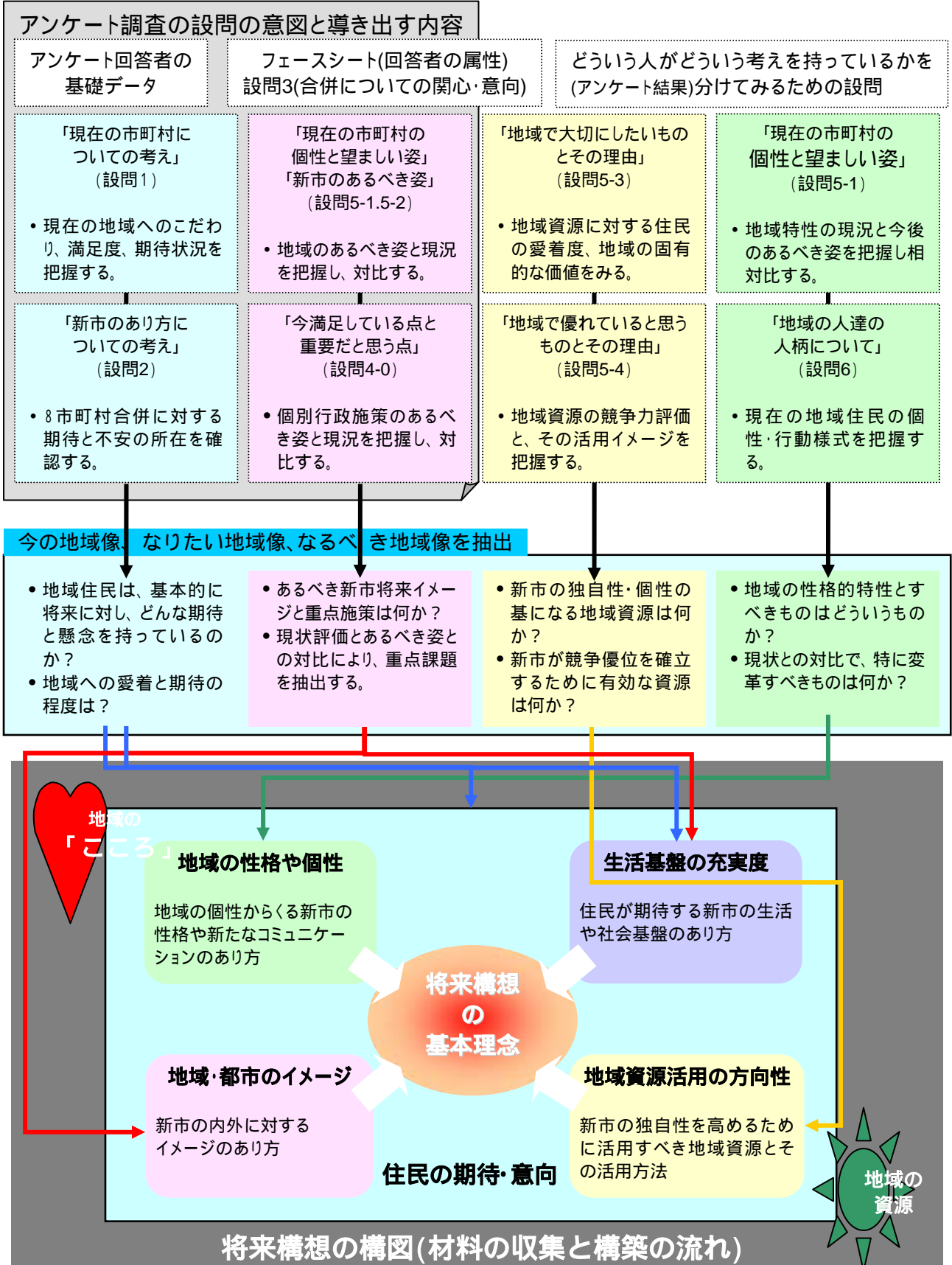
## (4) 実施時期スケジュール(案)

	4月																														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
調査票作成	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
印刷																															
抽出・ラベル作成																															
封入・ラベル貼り																															
発送																															
督促状発送																															
記入期間																															
回収																															



(5) アンケート調査結果の新市将来構想への活かし方

これまでの政策・基盤整備等の満足度や、地域への基本姿勢だけでなく、**地域の人間性**や地域資源の価値観などの**地域らしさ**の意味づけに必要な考え方を収集し、ビジョンを構築に活かして行きます。ここでは調査結果を材料として将来構想が構築される過程を説明します。



# 長岡地域における将来構想策定のための調査

市町村合併およびお住まいの地域について、以下のアンケートにお答えください。

回答結果は調査目的以外では一切使用いたしません。また統計的に処理し、集計のうえ使用しますので個人回答を見ることはありません。なお、わからない・判断できない設問は無記入でも構いません。記入上の不明ご意見、ご要望等ございましたら下記担当までご一報お願いいたします。

**【調査実施主体】**

長岡地域任意合併協議会事務局

〒940-8501 新潟県長岡市幸町2丁目1番1号(長岡市役所内)

TEL0258-39-2260 0258-39-2227 担当:竹見・土田・結城・米山

**【調査実施機関】**

株式会社 建設技術研究所 都市部

〒103-8430 東京都中央区日本橋本町4-9-11 第9中央ビル

TEL03-3668-0451(大代表)担当:牛来・金子

居住市町村	1.長岡市	2.見附市	3.栃尾市	4.中之島町	5.越路町	6.三島町	7.山古志村	8.小国町	
勤務・通学 先市町村	1.長岡市	2.見附市	3.栃尾市	4.中之島町	5.越路町	6.三島町	7.山古志村	8.小国町	9.その他
職業	1.農業・林業・漁業		2.鉱業	3.建設業	4.製造業	5.卸売・小売・飲食業			
	6.金融・保険・不動産業		7.運輸・通信業		8.サービス業				
	9.公務(他に分類されないもの)			10.その他の有職者		11.主婦			
	12.学生	13.無職	14.その他						
就業形態	1.会社員(常勤被雇用者)		2.パート・アルバイト		3.会社役員・経営者				
	4.公務員	5.自営(家族以外の雇用者がいない)			6.家族従業者				
	7.家庭内職者		8.就業していない						
性別	1.男	2.女	年齢	1.20歳代	2.30歳代	3.40歳代	4.50歳代	5.60歳以上	
現在市町村 居住年数	1.5年未満		2.5～9年		3.10～19年		4.20～29年		5.30年以上
家族構成	1.単身	2.夫婦(子供なし)		3.親子(2世代)		4.親子孫(3世代)		5.その他	

1. 現在お住まいの市町村について、あなたの考えに近い番号に をつけてください。

1) 現在お住まいの地域または市町村に愛着や誇りがありますか ( は1つ)

1.大いにある    2.少しはある    3.どちらともいえない    4.あまりない    5.全くない

2) 現在の市町村のあり方や行政サービスに満足していますか ( は1つ)

1.大変満足している    2.やや満足している    3.どちらともいえない    4.やや不満である    5.大変不満である

3) 今後、やり方によってもっと良くなる可能性があると思いますか ( は1つ)

1.十分にある    2.良くなる可能性はある    3.わからない    4.悪くなる可能性がある    5.必ず悪くなる

2. 現在、長岡市・見附市・栃尾市・中之島町・越路町・三島町・山古志村・小国町は、中越 30 万中核都市を実現すべく、合併を検討しています。合併後の新市のあり方について、あなたの考えに近い選択肢の番号に をつけてください。

1) 合併に際し、期待することは何ですか ( は 3 つまで )

1. 30 万人の中核都市として、イメージや活力が向上する
2. 予算や権限の拡大による重点的な地域振興を行う
3. 広域的・総合的な視点による地域基盤整備を実施する
4. 組織の効率化などで行政経費を削減する
5. 旧来のやり方にとらわれない、斬新なまちづくりや行政サービスを実施する
6. 新市の能力や権限の拡大によって、行政サービスを高度化・多様化する
7. 利用できる文化・スポーツ施設などが増え、利用しやすくなる
8. 行政窓口が増えることによって、利便性が向上する
9. 期待するものがない
10. その他 ( 具体的に )

2) 合併に際し、不安に思うことは何ですか ( は 3 つまで )

注) 合併した場合、こうなるというものではありません

1. 住民の声が行政に届きにくくなる
2. それぞれの市町村の伝統や特色が失われていく
3. 中心部だけが栄えて、周辺部が寂れてしまう
4. 市役所や役場が遠くなり、不便になる
5. これまで充実していた行政サービスの水準が落ちる
6. 地域のまとまりや連帯感が失われていく
7. 学校・施設などが統廃合される
8. 不安に思うことはない
9. その他 ( 具体的に )

3. 以下の左右の項目をご覧になって、中央の 5 つの選択肢からあなたのお考えに近いものを で囲んでください。(それぞれ は 1 つ)

<Aの考え方>	A に近い	やや A に近い	ど ちら も い え な い	や や B に 近 い	B に 近 い	<Bの考え方>
合併への動きを良く知っている	1	2	3	4	5	合併への動きを知らない
合併で生活に影響があると思う	1	2	3	4	5	合併と生活は無関係である
市町村規模は大きいほうが良い	1	2	3	4	5	市町村規模は小さいほうが良い
雇用や住環境等生活全般の改善が期待できる	1	2	3	4	5	雇用や住環境等生活全般の悪化を懸念する

4. 下の表のそれぞれの項目について、現在、どのくらい満足していますか？ また、今後どのくらい重要なものだと思いますか？ 以下の区分にしたがって、表の該当する回答欄の数字を で囲んでください。（わからない・判断できないものは回答しないでください）

項目		現状の満足度					今後の重要性					
		満足している	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといつと不満	不満である	重要である	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば不要	不要である	
産業振興やハード関連	1	農林水産業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	2	地場産業振興や企業誘致などによる製造業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	3	商店街の活性化などの商業振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	4	観光資源開発や観光産業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	5	情報産業など新しい産業や事業の育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	6	道路や橋・トンネルなどの整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	7	バスや鉄道など公共交通機関の整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	8	住宅地や公営住宅の整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	9	公園や緑地などの整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	10	上下水道や集落排水施設の整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	11	通信情報網などのIT環境の整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	12	河川や森林などの自然保護	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	13	美しい街並みや景観づくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	14	静かで落ち着いた住環境の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
ソフト・行政運営関連	15	安全で安心できる防犯・防災対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	16	地域医療体制の整備・充実・高度化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	17	生活習慣病の予防や健康づくり活動の促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	18	老人・障害者福祉施設の整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	19	老人や障害者に対する在宅サービスの充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	20	道路やバリアフリーの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	21	ごみの回収・分別・リサイクル化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	22	公害防止や省エネルギー化への取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	23	保育所や幼稚園の整備を始めとする子育て支援施策の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	24	学校教育の施設整備や教育内容の高度化・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	25	大学などの高度教育・研究機関の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	26	生涯教育などの学校教育以外の地域教育の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	27	地域の伝統継承や文化財の保護	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	28	スポーツ施設の整備充実やスポーツ振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	29	公共文化施設の整備・充実や文化振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	30	コミュニティ活動やボランティア活動の支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	31	市町村の情報公開や広報活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	32	市町村施策の企画運営に対する住民参加の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	33	プライバシーや個人情報保護	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	34	男女平等・男女参画社会の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	35	海外との交流拡大や地域の国際化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

5. 以下の設問について、該当する選択肢をそれぞれ 5 つまで選んで、その番号をそれぞれ記入してください。

1) 以下にあげる個性を表す言葉について、現在お住まいの市町村に当てはまると思うものはどれですか？また、現在どうであるかに関わらず、今後はそうありたいと思うものはどれですか？

- 1. 積極性がある    2. 協調性がある    3. 慎重である    4. 責任感がある    5. プライドが高い
- 6. リーダーシップがある    7. 人情に厚い    8. 活動的である    9. 粘り強い    10. 思慮深い
- 11. 規律性がある    12. 落ち着きがある    13. おとなしい    14. 自主性がある
- 15. チャレンジ精神がある    16. 社交性がある    17. 進取の気風がある    18. 情報に敏感である
- 19. 向上意欲がある    20. その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）

現在当てはまるもの

--	--	--	--	--

今後ありたい姿

--	--	--	--	--

2) 以下の市町村の特徴を表す選択肢について、現在お住まいの市町村に当てはまると思うものはどれですか？また、合併後の新市のあるべき姿として重要であると思うのは何ですか？

- 1. 教育や生涯学習環境の整った「人づくりのまち」
- 2. 全国的な知名度のある「有名なまち」
- 3. そこに住んでいることを誇れる「自慢できるまち」
- 4. 産業が盛んで雇用環境の整った「働きやすいまち」
- 5. 医療や健康増進に熱心な「健康・長寿のまち」
- 6. 道路や公園が整備された「都市基盤の整ったまち」
- 7. 自然が豊かで環境問題に取り組む「地球に優しいまち」
- 8. 伝統や文化財を大切にする「歴史のあるまち」
- 9. スポーツや芸術文化活動の盛んな「スポーツ・文化のまち」
- 10. 事故や災害・犯罪の少ない「安全・安心のあるまち」
- 11. 情報公開や住民参加システムが充実した「住民参加のまち」
- 12. 子育てや高齢者・障害者福祉が充実した「高福祉のまち」
- 13. その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）

現在当てはまるもの

--	--	--	--	--

新市のあるべき姿

--	--	--	--	--

3) 以下の項目は、8市町村の代表的な地域資源や特性です。このうち、あなたが今後も大切にしたいもの、維持したいものは何ですか？選択肢から番号を選んで5つまで下表の\_\_\_に番号を記入してください。また、どのような点で大切だと感じますか？その理由を下表の選択肢から一つ選んで をしてください。

- 1.信濃川などの河川      2.山岳と平野の変化に富んだ自然      3.山や森の緑  
 4.雪景色      5.田園風景(棚田含む)      6.都市景観      7.縄文・戊辰等歴史史跡  
 8.各地の寺社仏像文化財      9.手掘りずい道      10.城下町並      11.蛍の飛ぶ風景  
 12.神楽舞      13.米百俵の精神      14.花火      15.牛の角突き      16.米(米作)  
 17.酒造      18.和紙や鋸・手まり等の伝統工芸      19.各地の郷土菓子  
 20.米作以外の農業      21.錦鯉養殖      22.機械工業      23.繊維工業  
 24.機械・繊維以外の工業      25.各地の温泉      26.教育施設・環境      27.交通の利便性  
 28.その他(具体的に )

大切にしたいものは何ですか？	どのような点で大切にしたいのか？
_____	1. 地域の歴史・文化遺産だから 2. 現在の地域の人と人の結びつきを強めたり、地域の心を創るのに役立つものだから 3. 現在の地域を経済的に豊かにするなどの実生活に役立つものだから 4. 地域のこれからを創るものだから(子供たちに役立つものだから) 5. はっきりしないが、なんとなく大切に感じる
_____	1. 地域の歴史・文化遺産だから 2. 現在の地域の人と人の結びつきを強めたり、地域の心を創るのに役立つものだから 3. 現在の地域を経済的に豊かにするなどの実生活に役立つものだから 4. 地域のこれからを創るものだから(子供たちに役立つものだから) 5. はっきりしないが、なんとなく大切に感じる
_____	1. 地域の歴史・文化遺産だから 2. 現在の地域の人と人の結びつきを強めたり、地域の心を創るのに役立つものだから 3. 現在の地域を経済的に豊かにするなどの実生活に役立つものだから 4. 地域のこれからを創るものだから(子供たちに役立つものだから) 5. はっきりしないが、なんとなく大切に感じる
_____	1. 地域の歴史・文化遺産だから 2. 現在の地域の人と人の結びつきを強めたり、地域の心を創るのに役立つものだから 3. 現在の地域を経済的に豊かにするなどの実生活に役立つものだから 4. 地域のこれからを創るものだから(子供たちに役立つものだから) 5. はっきりしないが、なんとなく大切に感じる
_____	1. 地域の歴史・文化遺産だから 2. 現在の地域の人と人の結びつきを強めたり、地域の心を創るのに役立つものだから 3. 現在の地域を経済的に豊かにするなどの実生活に役立つものだから 4. 地域のこれからを創るものだから(子供たちに役立つものだから) 5. はっきりしないが、なんとなく大切に感じる

4)以下の項目は、8市町村の代表的な地域資源や特性です。あなたが優れていると思うものは何ですか？

選択肢から番号を選んで5つまで下表の\_\_\_に番号を記入してください。また、どのような点で優れていると感じますか？その理由を下表の選択肢から一つ選んで をしてください。

1. 信濃川などの河川      2. 山岳と平野の変化に富んだ自然      3. 山や森の緑  
 4. 雪景色      5. 田園風景(棚田含む)      6. 都市景観      7. 縄文・戊辰等歴史史跡  
 8. 各地の寺社仏像文化財      9. 手掘りずい道      10. 城下町並      11. 蛍の飛ぶ風景  
 12. 神楽舞      13. 米百俵の精神      14. 花火      15. 牛の角突き      16. 米(米作)  
 17. 酒造      18. 和紙や鋸・手まり等の伝統工芸      19. 各地の郷土菓子  
 20. 米作以外の農業      21. 錦鯉養殖      22. 機械工業      23. 繊維工業  
 24. 機械・繊維以外の工業      25. 各地の温泉      26. 教育施設・環境      27. 交通の利便性  
 28. その他(具体的に )

優れていると思うものは何ですか？	どのような点で優れていると思いますか？
_____	1. 経済的に役立っている(地域を物質的に豊かにしている) 2. 人と人の結びつきを強めたり、地域の心を創るのに役立つ(と思う) 3. はっきりしないが、なんとなく優れていると感じる
_____	1. 経済的に役立っている(地域を物質的に豊かにしている) 2. 人と人の結びつきを強めたり、地域の心を創るのに役立つ(と思う) 3. はっきりしないが、なんとなく優れていると感じる
_____	1. 経済的に役立っている(地域を物質的に豊かにしている) 2. 人と人の結びつきを強めたり、地域の心を創るのに役立つ(と思う) 3. はっきりしないが、なんとなく優れていると感じる
_____	1. 経済的に役立っている(地域を物質的に豊かにしている) 2. 人と人の結びつきを強めたり、地域の心を創るのに役立つ(と思う) 3. はっきりしないが、なんとなく優れていると感じる
_____	1. 経済的に役立っている(地域を物質的に豊かにしている) 2. 人と人の結びつきを強めたり、地域の心を創るのに役立つ(と思う) 3. はっきりしないが、なんとなく優れていると感じる

6. あなたがお住まいの地域の人、どんな人柄の人が多いと感じますか？以下にあげる項目について、該当すると思うところを で囲んでください。(それぞれ は1つ)

項目	まったくそうだ	だいたいそうだ	ややちがう	まったくちがう	
1	押しが強く、引っ込むことはない	1	2	3	4
2	支配的である	1	2	3	4
3	リーダータイプである	1	2	3	4
4	大胆で躊躇しない	1	2	3	4
5	考えるより行動する	1	2	3	4
6	直接的である	1	2	3	4
7	自己主張する	1	2	3	4
8	緊張する	1	2	3	4
9	情性を避けて、猛烈にやるタイプだ	1	2	3	4
10	おしゃべりなので、無口に耐えられない	1	2	3	4
11	受容性が足りないので、衝突が多い	1	2	3	4
12	強烈な印象を与えたい	1	2	3	4
13	挑発的なので支持的になれない	1	2	3	4
14	許容性が低く、他を抑えがち	1	2	3	4
15	競争心が強く、協調できない	1	2	3	4
16	指揮をとる	1	2	3	4
17	平凡ではない	1	2	3	4
18	のびのびしている	1	2	3	4
19	仕事より人を優先する	1	2	3	4
20	形式的ではない	1	2	3	4
21	計画型ではなく実行型である	1	2	3	4
22	人と距離をおかない	1	2	3	4
23	おもしろくオープンである	1	2	3	4
24	外向型である	1	2	3	4
25	感情的である	1	2	3	4
26	温かい人間である	1	2	3	4
27	理詰めでなく、さりげない	1	2	3	4
28	組織的というよりは思いつきの	1	2	3	4
29	派手である	1	2	3	4
30	自分を抑えないで敏感に反応する	1	2	3	4
31	厳格で寛容さがない	1	2	3	4
32	思考タイプである	1	2	3	4

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。



## 1 概要

### (1) 調査目的

有識者ヒアリング(取材調査)は、“地域を全体視して考えていく有識者から導かれるなりたい姿(WANT)”を引き出すものとする。

### (2) 活用方法

- ・ 地域のなりたい姿(WANT)の源泉として将来都市像構築の材料とする。
- ・ まちづくり市民会議(ワークショップ)の討議資料とする。

### (3) 調査方法

選定した有識者に対して、インタビュー調査を実施する。

### (4) 対象選定の考え方・人数

- ・ 対象となる有識者は地域振興活動等に携わっているオピニオンリーダー等
- ・ 人数は、各市町村1名以上とし、計10名前後とする。

### (5) 調査スケジュール

4月30日までにヒアリングを完了予定とする。

## 2 取材項目

### (1) 8市町村の現状について

- ・ 地域の現状や課題について  
(できるだけ具体的に、かつその背景など)
- ・ 地域の誇れる特性や今後も大切にしたいもの、および自慢できる地域資源など

### (2) 長岡地域の市町村合併について

- ・ 合併に際して期待すること、懸念すること  
(ポイントとなるもの)
- ・ 合併新市における現市町村など各地域の役割分担について

### (3) 8市町村の今後のあり方について

- ・ 地域の将来なりたい、またはあるべき姿について
- ・ 特に重要と考える新市の行政施策や行政サービス  
(個人的な評価・考え)

# 長岡地域市町村合併「まちづくりワークショップ」 ～運営計画（案）～

## 1. 開催の目的

長岡地域住民を対象として実施する＜住民アンケート調査＞＜有識者ヒアリング＞の分析結果によって、明確化した「実現したい将来像(WANT)」と「実現可能な将来像(CAN)」を再検証・確認し、「実現すべき将来像(WILL)」(地域将来構想につながるもの)を地域住民自らが検討していく場を設ける。

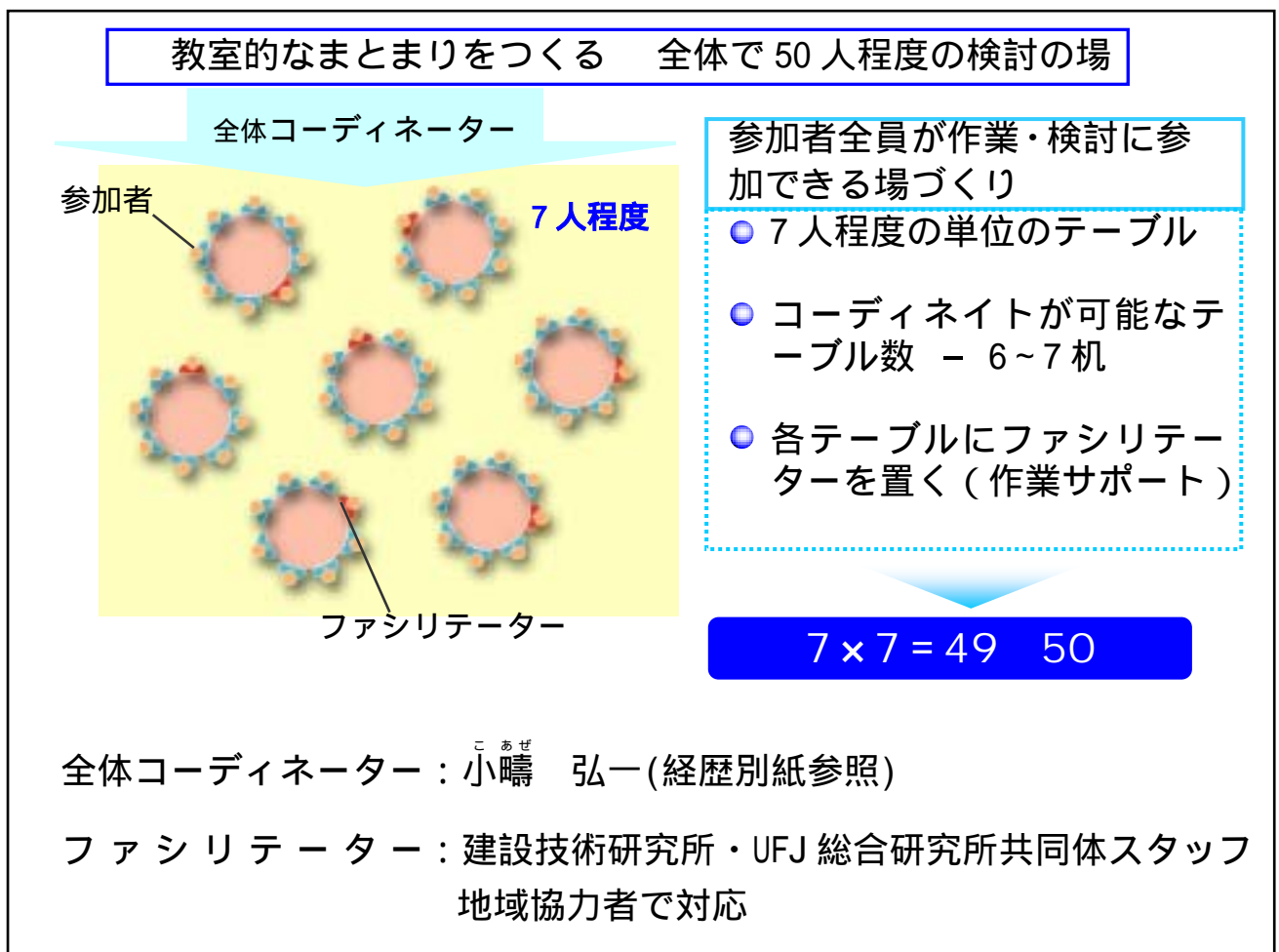
ワークショップが目指すもの

「合併するとしたらこんなまちになって欲しい」を参加者で考える。

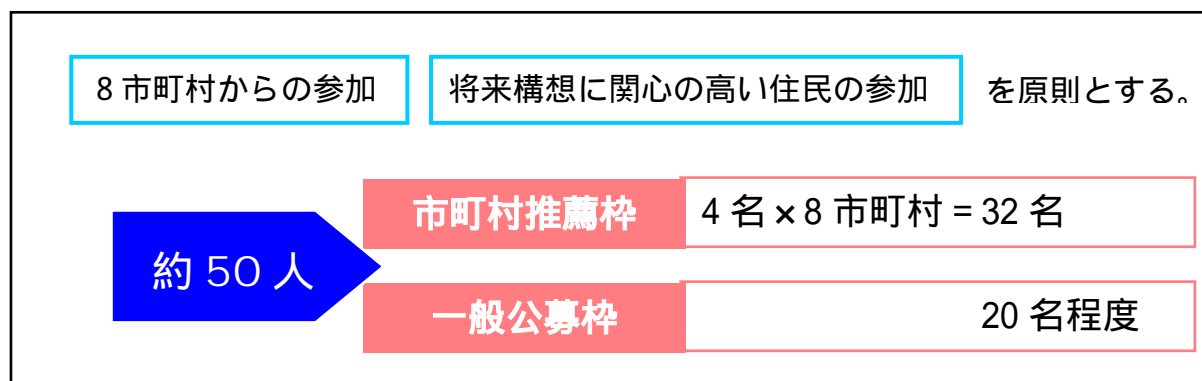
成果の活かされかた

成果は地域アンケート調査の結果とともに、さらに検討を加え、地域将来構想に反映する。

## 2. ワークショップの場のイメージ



### 3. メンバー構成



### 4. ワークショップの公開等について

#### 【ワークショップの傍聴について】

将来構想策定に向けての一般の住民による意見交換・検討(作業)を行う場として位置づけられるため、一般の傍聴は原則として行わない。

ただし、各市町村の広報等への対応として、各市町村担当者1名の入室は可能とする。

#### 【取材について】

マスコミ等による取材については、ワークショップでの協議・作業の支障にならないことを前提とし、時間を限定しての撮影を原則とする(ワークショップ開催時の全体写真等)。

また、参加者へのインタビューについては、ワークショップ終了後、メンバーの了承を得た上で対応する。

### 5. ワークショップの開催について

#### 【第1回】

- ・日時 平成15年4月17日(木) 19:00~
- ・場所 長岡市役所

#### 【第2回】

- ・日時 平成15年5月上旬予定

#### 【第3回】

- ・日時 平成15年5月中旬予定

#### 【予備開催】

- ・日時 平成15年5月下旬予定

## 小崎弘一（こあぜ こういち）略歴・業績

### 建築家

- ・ 建築設計・監理 ・まちづくり企画 ・まちなみ景観計画
- 1946年 新潟市生まれ
- 1969年 早稲田大学理工学部建築学科卒業  
卒業設計『A HUMAN CORRIDOR IN NIIGATA』により 村野賞受賞
- 1973年 早稲田大学大学院理工学研究科建築計画専修修了 工学修士
- 1976年 小崎建築設計事務所入所
- 1987年 株式会社アーバンプランニング設立
- 2001年 NPO法人「まちづくり学校」設立

### 現在

- ・ 小崎建築設計事務所所長・株式会社アーバンプランニング 代表取締役社長
- ・ 新潟大学工学部非常勤講師・長岡造形大学非常勤講師・長岡市都市景観アドバイザー
- ・ 新潟仕掛人会議 代表運営委員の一人
- ・ NPO法人「まちづくり学校」 校長（代表理事）
- ・ NPO法人「地域インフラ研究会」 副理事長
- ・ 新潟商工会議所「政令都市推進特別委員会」副委員長

### 資格

- ・ 一級建築士 大臣登録第 82、343 号・技術士 建設部門（都市及び地方計画）
- ・ タウンマネージャー（中小企業総合事業団）

### 主な業績

- ・ 建築設計関連の主なもの
    - ・ 昭和 61 年 サンケイデザイン賞 古町 5 オーバーアーケード
    - ・ 平成 7 年 新潟県建築士事務所協会作品賞 鹿瀬町奥阿賀ふるさと館
  - ・ 景観関連の主なもの
    - ・ 昭和 62 年～新潟市都市景観基本計画作成・平成 2 年～新潟県景観形成指針作成
  - ・ NPO 法人「まちづくり学校」関連の主なもの
    - ・ 平成 13 年～ 新潟駅 駅舎・駅前広場提案競技市民参加企画運営業務（新潟市）
    - ・ 平成 13 年～ まちづくりコーディネーター養成講座企画運営（新潟県、新潟市、福島県等）
    - ・ 平成 14 年～「万代橋とにいがたの街づくりを考えるワークショップ」企画運営（国土交通省新潟国道事務所）
  - ・ 国、県、市の委員会関係
    - ・ 平成 14 年～ 北陸地方の住宅整備基本方針策定懇談会委員（国土交通省北陸地方整備局）
    - ・ 平成 14 年～ 交通政策のあり方に関する懇談会委員（新潟県）
    - ・ 平成 12 年～ 万代橋協議会委員（新潟市）
- その他多数

## ワークショップ参加予定者について

市町村名	推薦者数	公募者数	合計
長岡市	4人	9人	13人
見附市	4人	2人	6人
栃尾市	4人	3人	7人
中之島町	4人	1人	5人
越路町	4人	1人	5人
三島町	4人	1人	5人
山古志村	4人	0人	4人
小国町	4人	1人	5人
合計	32人	18人	50人

平成 15 年 4 月 1 日現在

# 新市将来構想策定小委員会事業計画《案》

資料NO.7

	任意合併協議会	新市将来構想策定小委員会	住民参画関連 (ワークショップ)	アンケート関連
2月	<b>第2回任意協議会(2/3)</b> 将来構想策定手法の承認 小委員会設置の承認			
3月	<b>第3回任意協議会(3/13)</b> 小委員会構成の報告 住民参画手法の報告	<b>第1回小委員会(3/11)</b> 正副委員長の選任 将来構想についての基礎研修 住民参画手法の提案	ワークショップメンバーの募集 及び決定	<b>住民アンケートの実施 (中旬～下旬)</b>
4月	<b>第4回任意協議会(4/11)</b> 住民アンケート結果速報 現状分析結果報告	<b>第2回小委員会(4/8)</b> 現況調査結果 住民アンケート結果速報 地域アンケート検討 有識者ヒアリング まちづくりワークショップ	<b>第1回ワークショップ(4/17)</b> ワークショップの進め方 実現したい将来像、実現可能な将来像の基本的理解	<b>地域アンケートの実施 (中旬～下旬)</b>
5月	<b>第5回任意協議会(5/20)</b> ワークショップ終了報告 財政シミュレーション中間報告	<b>第3回小委員会(5/16)</b> ワークショップ結果速報 財政シミュレーションの考え 方整理 デジタルマップの考え方の整理  <b>第4回小委員会(下旬)</b> ワークショップ中間報告 有識者ヒアリング報告 地域らしさ価値の検討	<b>第2回ワークショップ(5月上旬)</b> 将来イメージの抽出のための ブレインストーミング  <b>第3回ワークショップ(5月中旬)</b> 「実現すべき将来像」のイ メージ明確化と共有  <b>追加ワークショップ(予備下旬)</b> 追加検討など	<b>有識者ヒアリング</b>   <b>地域アンケート結果とりまとめ</b>
6月	<b>第6回任意協議会</b> 地域別整備方針報告 将来像、基本理念、基本目標報 告 デジタルマップシステム報告 財政シミュレーション報告	<b>第5回小委員会(中旬)</b> 地域アンケート結果検討 財政シミュレーション検討 デジタルマップシステム検討 将来像、基本理念、基本目標 検討 <b>第6回小委員会(協議会開催後)</b> 将来構想素案概略検討		
7月		<b>第7回小委員会</b> 将来構想素案検討  <b>第8回小委員会</b> 報告書 概要版とりまとめ	<b>広報によるワークショップ・ア ンケートの結果公表</b>	<b>広報によるワークショップ・ア ンケートの結果公表</b>
8月	住民説明・周知			